

平成28年度
事業報告書



社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会

《事業報告書本編の見方》

多摩市第3次地域福祉活動計画後期計画の事業名

●事業種別→【重点】【新規】【継続】
●財源→【自主】【補助】【委託】
【自主】会費、共同募金、歳末たすけあい、収益事業、寄付金
【補助】多摩市補助金
【委託】多摩市委託金、東京都社会福祉協議会委託金

事業名	① 地域福祉推進委員会の設置・運営支援	
事業種別・財源・担当係	重点・継続	自主・補助
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 未設置2エリアにおいては、民生児童委員や自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター、老人クラブ等との連携を強化し、地域懇談会を開催するなど、設置に向けた活動を進めます。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 第10エリア（唐木田・中沢・山王下）に委員会設置 第4エリア（東寺方・和田）において地域懇談会開催
平成28年度の実施目標	第10エリアに関しては、多摩センター地域包括支援センターと共催で福祉なんでも相談や元気チェックを実施した。また、青木葉地域連絡会や北落合地区災害対策連絡協議会に出席し、自治会・住宅管理組合・青少年問題協議会、小学校等と見守りや防災についての懇談を行った。関係団体との関係性を構築しながら、委員会立ち上げを目指す。	
取組結果		

多摩市第3次地域福祉活動計画後期計画（平成26年度から平成28年度まで）の実施目標

平成28年度の実施目標

平成28年度の取組結果

総括	-----	1
重点事業報告	-----	2
新規事業報告	-----	6
I 一人ひとりにやさしい地域づくり		
1 小地域福祉活動の推進		
(1)地域住民が主体的に行う支え合いの仕組みづくり		
① 地域福祉推進委員会の設置・運営支援	-----	8
② 地域福祉推進委員会連絡会の設置	-----	9
③ ふれあい・いきいきサロン、ラウンジ活動の推進	-----	10
④ ふれあい・いきいきサロン連絡会・交流会の実施	-----	11
⑤ たすけあい有償活動の推進	-----	11
⑥ 地域住民活動組織との連携・支援強化	-----	13
2 ボランティア・市民活動の推進		
(1)運営体制の強化・拡充		
① 多種多様な幅広い市民や団体等の参画による運営	-----	14
(2)活動の場や災害時の支援体制の整備		
① 団体活動の場の整備	-----	15
② 災害ボランティアセンターの設置設備・運営体制の整備	-----	15
③ 災害時の要配慮者支援の啓発	-----	16
(3)幅広い関係者との積極的な協働関係づくりの推進		
① ボランティア・市民活動団体の登録促進・支援の充実	-----	17
② 団体同士のネットワークづくりの推進	-----	17
(4)幅広いニーズキャッチの仕組みと体制づくりの推進		
① 地域での相談体制の整備・拡充	-----	18
② 情報発信手段とコーディネート機能の充実	-----	19
(5)運営資金及び活動財源の確保		
① 財源確保に向けた事業等の実施・拡充	-----	19
II 福祉のまちづくりを支える人づくり		
1 住民意識の高揚		
(1)地域福祉活動への意識啓発		
① 福祉意識の高揚事業	-----	21
② 地域住民懇談会の開催	-----	22
2 人材育成と参加促進		
(1)活動者の発掘と参加促進		
① 市民の地域活動等への参加促進	-----	23
② 企業・大学等の地域活動等への参加促進	-----	27
III きめ細やかな相談と支援の推進		
1 地域での相談体制の整備		
(1)必要な人に必要な支援が届く相談体制の整備		
① 地域での相談の実施	-----	28
(2)生活困窮者のための相談・支援事業の実施		
① 生活安定のための相談・支援事業	-----	29
2 権利擁護事業の充実と拡充		
(1)権利擁護センターの充実		
① 地域福祉権利擁護事業等の充実	-----	30

(2)成年後見制度に関する事業の拡充

① 成年後見制度利用支援事業の充実	31
-------------------	----

IV市民とともに歩む、社協の経営

1 組織体制の見直しと強化

(1)「意思決定」の仕組みの強化

① 理事会、評議員会の活性化	32
----------------	----

(2)組織強化と人財育成

① 事務局組織の強化	33
------------	----

② 法人運営の強化	33
-----------	----

③ 人財育成	34
--------	----

(3)自主財源の確保

① 自主財源の見直しと新たな財源確保の検討と拡充	35
--------------------------	----

2 透明性のある法人経営の確立

(1)計画の進行管理及び次期計画の策定

① 計画の推進と次期計画の策定	36
-----------------	----

(2)情報提供の充実と情報管理の徹底

① 広報事業の充実	37
-----------	----

② 情報管理の徹底	37
-----------	----

3 在宅福祉サービスの再構築

(1)介護保険法に基づく事業の実施

① 南部地域包括支援センターの機能強化	38
---------------------	----

(2)地域活動支援センターの機能充実

① 地域活動支援センター I 型の機能強化	39
-----------------------	----

(3)老人福祉センター事業の実施

① 老人福祉センターの充実と地域展開	41
--------------------	----

(4)意思疎通支援事業（地域生活支援事業）の充実

① 意思疎通支援事業の充実	42
---------------	----

(5)同行援護事業の経営安定化

① 同行援護事業の充実	43
-------------	----

第3次地域福祉活動計画（後期計画）の総括について～平成28年度事業報告～

地域福祉活動計画推進委員会委員長 宮城 孝（法政大学）

平成28年度は、第3次地域福祉活動計画の最終年度となります。

多摩市社会福祉協議会第3次地域福祉活動計画（後期計画）において、評価すべき点は、平成27年度に懸案であった10のエリア全てにおいて、地域福祉推進委員会が設立された点である。当然、その活動の内容に差があるとしても、今後、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年を目前に控え、地域の状況が大きく変化することを想定すると、多摩市の全地域で、住民の皆さんが、地域の課題について真剣に考え、話し合い、相互に協力し合って取り組む体制がひとまずできあがったことは、今後に向け大きな契機になると考えられる。関係する職員や住民代表の方々のこれまでの粘り強いご努力に敬意を表したい。

サロン活動も年々数が増えており、また、新たに開始された福祉何でも相談においても多くの相談が寄せられており、権利擁護をはじめ、社会福祉協議会への相談支援ニーズが高まっていることがうかがえる。

支援の対象者が広がってきている一方、支援の担い手の確保や養成、自主財源確保の方法など、事業や活動の基盤を拡充していくことが、今後重要な課題になってくると考えられる。また、一般市民に届く広報活動のあり方や、最近課題となっている子どもの貧困や引きこもり者、生活困窮世帯などへの支援などについて、企業、社会福祉法人、生協、NPO、大学などと連携するネットワーク機能の強化が求められよう。

次の6年は、多摩市の地域福祉にとって非常に重要な期間になると考えられる。各エリアにおける地域福祉推進委員会の活動支援をベースとしながら、関係機関や団体と協働しながら、個別的な課題や地域の特徴的な課題に対応していく社会福祉協議会職員のチームによるコミュニティソーシャルワーク機能がさらに強化されることを期待したい。

重点事業報告

1 地域住民が主体的に行う支え合いの仕組みづくり

「誰もが安心して暮らせるまち」をめざし、地域住民を始め、地域で活動する多様な機関・団体に参画いただき、コミュニティづくりや居場所づくりなど地域課題の解決に向けて住民主体で運営できるようコーディネートとネットワークの構築を行った。

■地域福祉推進委員会を中心とした小地域福祉活動の推進

- ① 昨年度 10 エリアすべてに地域福祉推進委員会が設置され、参画している自治会やコミュニティセンター、専門職、専門機関との連携が強まった。住民が主体的に地域課題の解決に向け、「健康や在宅生活に関する講座」や、「世代間交流」「まちあるき」を実施するなど、地域性を活かした取り組みが各エリアで活発に行われた。
- ② コミュニティセンター等市内 8 ヶ所で、健康チェックや脳トレ、健康体操などもまじえた「福祉何でも相談」を地域包括支援センターと共催で実施する中で、相談や福祉ニーズの発掘に努めた。また、福祉何でも相談を実施していない地区では出前相談会を実施した。
- ③ 8 つのエリアにおいて地域ニーズや課題に合わせて普及啓発講座を実施し、地域課題の解決に向けた意識啓発が行われ、どのエリアも地域福祉推進委員会への参加者が増えた。
また、世代間交流を通じて近隣の小中学校や大学等との連携の拡大及び地域の事業所等の地域の社会資源との連携を深め、新しい参加者の確保や、担い手の発掘等にも努めた。またエリアを越えての事業交流も行われた。
- ④ 昨年度のサロン登録基準と助成金の見直しにより再登録サロンが増え、新規のサロンも 12 か所増えた。地域福祉推進委員会の活動をきっかけに、サロン活動が始まった地域もみられた。サロンのない地域において「出前サロン」を実施し、そこから新たなサロン活動にもつながった。
また、毎年開催している「サロン交流会」を“サロンパーティー”と称し、サロンで取り組める活動として専門職やボランティア団体等の紹介を行ったところ、既存のサロンとの活動のマッチングが活発に行われ、サロン活動の活性化にもつながった。

2 災害時の支援体制の整備

多摩社協では、大規模災害が発生した際に、被災者に対する支援活動を行う「多摩市災害ボランティアセンター」を設置・運営することになっている。

このことから、研修や設置・運営訓練などを実施した。

■災害ボランティアセンターの設置設備・運営体制の整備

- ① 11月に、昨年度未実施及び転居した正規職員、嘱託職員を対象に参集訓練を実施した。訓練を通して参集経路の確認や「多摩市社会福祉協議会災害時職員行動マニュアル」について改めて確認することができた。
- ② 11月に社協役員・職員、多摩ボラセン運営委員、ボランティアなどを対象に「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施した。
訓練後、災害ボランティア育成専門委員会にて、訓練で上がった課題等について整理・検討し、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直し作業を行い、マニュアルの改訂を行った。
- ③ 災害ボランティアセンター設置・運営に必要な資器材の整備について、災害ボランティア活動時に使用する災害ボランティアシールの作成、ベストの購入、運営に必要な事務機材や表示物、事務用品の購入等を行った。
- ④ 地域の防災組織、自治会・住宅管理組合、地域福祉推進委員会等と連携して、「要配慮者わたしたちからのメッセージ」冊子を配布して市民への周知を図った。
- ⑤ 「災害ボランティア入門講座」「災害ボランティアセンタースタッフボランティア活動体験」「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」等で、災害ボランティアセンタースタッフボランティアへの登録者拡大に向けてPRと研修を実施し、結果登録者が昨年度より増えた（36人登録）。
- ⑥ ボランティア活動に必要な資機材を拾い出し、整備をしたかったが、置き場所の確保ができず、引き続き検討することになった。

3 参加者の発掘と参加促進

多摩市には、ボランティア・NPO 団体等において活動している方以外にも、企業に勤める社員や学生、シニア世代と、地域活動の担い手となる人材が多く存在している。

地域に存在するこれらの力を地域活動への参加へつなげていくために、各種講座や地域活動の情報交換を行い、参加者の発掘と参加促進を行った。

■市民・企業・小学校・中学校・高等学校・大学等の地域活動等への参加促進

- ① 地域福祉推進委員会が地域のニーズを拾い「支えあいとプライバシー」をテーマに、多摩市との共催で全市的な普及啓発講座として「個人情報保護法の誤解と真実」の講座を企画実施し、講座の中から自治会・住宅管理組合で活用できる「見守りの事例」等の紹介も行った。

- ② 各地域福祉推進委員会では、地域性に応じた「まちあるき」が定着している地域もあり、近隣の小中学校と連携して実施するなど、自分が住んでいる地域を知り、多世代が地域活動への参画をするきっかけづくりを行った。

- ③ 「夏のボランティア体験」では、小中学生が体験に参加しやすくするため、小中学生向けの活動メニューをボランティア受入施設と協力して設けた。この他の世代に向けては、「市民活動入門講座」「災害ボランティア講座」などを実施して参加者の拡大を図った。
また、校長会で障がい者対応に関する情報を提供し、学校が実施する福祉学習において、学校と連携を図りながら、福祉機器の貸出、福祉学習へのボランティア団体・多摩ボラセン職員の派遣等を行い、裾野の拡大を図った。

- ④ ふくしだよりやボランティア通信などを通して活動者を募り、「介護予防ボランティアポイント事業」や、個人のボランティアや団体のボランティア登録を勧めて、地域の施設等からのニーズに応じてボランティア活動へつなげることで、活動者の地域活動への参加促進に努めた。

- ⑤ 社員・学生がもつ知識や経験、スキルなどの力を地域活動につなげるようにするために、ボランティア受入施設へニーズ確認のアンケート調査を実施した。アンケートを基に、「多摩地域企業等情報交換の集い」の中で、企業等の活動ニーズの確認と、企業・大学等ができる取組みについて参加者同士でワークショップを行い、企業や大学等が行う社会貢献活動への働きかけを行った。
また、企業・大学等が行う授業・研修に、講師の派遣や福祉体験機器等の貸出を行うなどの協力を行った。

4 権利擁護事業の充実と拡充

多摩市では、平成26年度に高齢化率が25%を超え、核家族化と高齢期の長期化が進み、家族の生活形態も大きく変化してきており、高齢者や知的・精神障がい者など、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の利用を必要とする市民も年々増加している。

これらのことから、地域福祉権利擁護事業等の利用契約者の増加に伴う生活支援員の増員や、成年後見制度利用者への寄り添った支援を行った。

■地域福祉権利擁護事業等の充実 ■成年後見制度利用者への支援

- ① 市民向け・事業所向け事業説明会や、市と共催で市民の方を対象とした成年後見制度の講座等を開催し、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業等の普及啓発を図るとともに利用促進に努めた。また、成年後見制度を利用する相談者に対して成年後見制度申立書類の書き方や、必要書類について対応を行った。
- ② 地域福祉権利擁護事業の利用者の増加に伴い、事業の活動者である登録型生活支援員を公募して、新規10名の登録を行った。
- ③ 成年後見人等懇談会を開催し、親族後見人による体験談などを踏まえながら後見業務等における疑問等の解決を図るとともに、後見人・保佐人・補助人及び受任予定の市民の交流を促進し、後見業務の支援を行った。
- ④ 親族後見人に対して、家庭裁判所等に提出する報告書類の事前確認やアドバイスを行った。

新規事業報告

平成 28 年度新規事業として、以下の事業を実施しました。

1 介護予防・日常生活支援総合事業「訪問型サービス B」

介護保険事業の介護予防・日常生活支援総合事業「訪問 B 型」の事業の指定を受け、5 月より指定事業者として介護認定要支援 1 及び 2 の認定を受けている方及び基本チェックリストの結果、事業対象者と認定された方を対象に、日常生活援助のサービスを提供しました。

①実施日、内容、利用料等

- ・曜日：月曜日から土曜日
- ・内容：掃除・洗濯・食事の準備・買い物 等
- ・頻度：1 週間に 1 日まで。1 回 60 分以内
- ・利用料：1, 500 円/回 ※利用者負担は 300 円（一律 2 割負担）

②利用者数

- ・実利用者数：5 人
- ・延べ利用者数：27 人

③協力員数

- ・登録者数：44 人

※協力員の活動費は、1, 100 円/回（交通費相当含む）

※詳細は、資料編 P71 参照

2 高次脳機能障害者支援促進事業（多摩市委託事業）

9 月より事業を実施しました。実施初年度として、高次脳機能障がい者等への相談支援の充実を図るため、高次脳機能障がい者及びその家族等に対する相談窓口を設置するほか、地域で切れ目のない支援ができるよう、医療機関をはじめ関係機関との連携を図りました。また、社会資源を開拓するためのアンケート調査や市民の方々に理解を深めていただくための講演会等を実施しました。

◎主な事業内容

- (1) 相談支援
- (2) 関係機関等との連携
- (3) 社会資源の把握及び開拓
- (4) 広報及び普及啓発

※詳細は、資料編 P106 参照

3 市内社会福祉法人ネットワーク連絡会

市内の社会福祉法人が相互に情報交換を行いながら、地域のニーズや課題を受け止め、社会福祉法人等の連携・協働により地域公益事業等に取り組み、多摩市民の福祉向上を図るために、多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会が7月に設置されました。多摩社協が事務局となり、市内全21法人が加入し、社会福祉法改正に伴う社会福祉法人制度改革に対する勉強会や情報交換を行いながら、各法人同士がつながりを深めたり、それぞれが連携してできる社会貢献事業（地域における公益的な事業）の取り組みについて検討しました。

平成28年度については、各法人でできる地域における公益的な活動を見える化するためにガイドブック（案）を作成しました。平成29年7月を目途に完成させ、地域福祉推進委員会及び自治会等地域団体に配布し、地域ニーズに応じて、各法人の職員等が地域に出向いたり、施設や備品等の貸出、広報協力を行うなど、具体的な取り組みを展開していくことを予定しています。

また、今後も引き続き連絡会を開催しながら、地域における公益的な取り組みについて検討していくことになっています。

◎平成28年度実施内容

1 第1回連絡会

(1)開催日 7月21日（木）14時～16時30分

(2)内容

①学習会「改正社会福祉法への対応と今後取り組むべき事項等について」

講師：社会福祉法人中心会理事長 浦野 正男氏

②今後のネットワーク連絡会の運営について

2 第2回連絡会

(1)開催日 12月13日（火）14時～16時

(2)内容

①学習会「社会福祉法の改正内容について～新しい社会福祉法人制度への移行をスムーズに行うために」

講師：辻・本郷税理士法人 佐藤智恵子氏

②地域公益活動ガイドブックについて（地域公益活動に関するアンケート結果報告含む）

③連絡会として実施する地域における公益的な活動の検討

3 第3回連絡会

(1)開催日 3月28日（火）14時～16時

(2)内容

①地域公益活動ガイドブックについて

②平成29年度事業計画について

③地域における公益的な取り組みに向けた情報提供について（生活困窮者支援の取り組み報告等）

④第4次多摩市地域福祉活動計画の策定について

※多摩市総合福祉センター7階研修室にて開催

I 一人ひとりにやさしい地域づくり

1 小地域福祉活動の推進

(1) 地域住民が主体的に行う支え合いの仕組みづくり

事業名		① 地域福祉推進委員会の設置・運営支援		
事業種別・財源・担当係		重点・継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 未設置2エリアにおいては、民生・児童委員や自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター、老人クラブ等との連携を強化し、地域懇談会を開催するなど、設置に向けた活動を進めます。 設置8エリアについては、地域特性に合わせた講座等の普及啓発事業を実施し、住民自身が地域課題に気づき、課題解決に向かうよう支援します。 世話人会による主体的運営及び、部会制の導入等による効果的な活動を支援します。 エリア毎に専門機関の連携を強化し、地域住民主体による、見守り、支え合い活動が機能するよう、重層的なネットワークの構築を推進します。 自治会等の小単位で行われる集会等に積極的に出向き、活動内容や必要性をより分かりやすく説明するとともに、ホームページ等の活用により、広く住民に周知します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域特性に合わせた普及啓発講座の実施 世話人会へ提供する情報の充実および部会設置支援 地域特性に合わせた支え合いに関する事業の検討、実施 ホームページを活用した委員会活動の周知 自治会役員会等への出席等周知活動の強化 		

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 第2、3、4、5エリアにおいて、近隣大学の教授や医療関係者を講師に健康や生活習慣、医療等に関する講座を実施。 第2エリアでは委員会をテーマごとの小グループに分けて、それぞれで議論を深めた結果、各グループ参加者主体で地域の大学、学校との連携や交流イベント、子育て支援イベント等の取り組みが進んだ。 その他のエリアでは、まち歩きや子どもの見守り、防災に関する取組み等、関係機関や地域の小・中学校や地域団体との新たなネットワークの構築が図れ、地域との連携に結び付いた。
------	---

事業名		② 地域福祉推進委員会連絡会の設置			
事業種別・財源・担当係		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">継続</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">自主・補助</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">まちづくり推進係</td> </tr> </table>	継続	自主・補助	まちづくり推進係
継続	自主・補助	まちづくり推進係			
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 各地域福祉推進委員会の世話人が、定期的に情報交換・共有することにより、他のエリアの活動や取り組み状況等について理解を深めるとともに、各委員会活動の活性化に結び付くよう支援します。 全市的に共通する課題に関する情報を共有することにより、各委員会が一体となって課題解決に向けた取り組みが行えるよう支援します。 			
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 委員会活動を行う上での課題や法制度の改正等の委員会に関わるテーマを定めて1回以上開催 各委員会での好事例の取組み紹介等を行うことにより、全市的な地域福祉を推進 			
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 平成28年9月27日に第1回連絡会を実施し、「食べる。しゃべる。遊ぶ。それぞれの地域みがき」をテーマに各委員会の多様な活動の紹介を行うとともに、情報交換を行った。(参加者29人) 平成29年3月8日に第2回連絡会を実施し、「地域活動の参加者を増やす～キラリと光る担い手たち～」をテーマに委員会に参加したきっかけに焦点を当てて意見交換を行い、今後の課題についての整理を行った。(参加者30人) 			

事業名		③ ふれあい・いきいきサロン、ラウンジ活動の推進		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等の小単位で、個別の説明会や体験型の「出前サロン」を実施するなど、サロンの必要性を訴える機会を積極的に設けます。 わかりやすい内容のチラシやパンフレットを作成し、地域の施設に設置するなど、地域住民がサロン活動に目を向けやすい環境をつくります。 老人クラブやPTA、青少年問題協議会等と連携し、子育て世代から高齢者まで幅広い世代を対象に、サロン活動を周知します。 地域福祉推進委員会の設置エリアにおいては、委員会参加団体と連携・協力しながら、エリア内でサロンが無い地区での立上げを支援します。 民生・児童委員や地域包括支援センターと連携し、サロン参加者の個別的な課題の解決につなげます。 市内におけるサロン活動がより活発に展開されるよう、サロン登録要件やサロン立上げ支援、活動を継続させるための支援等の内容を見直し、登録サロン活動の拡充に努めます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> サロン・ラウンジ登録数を80以上にする。 既存のサロンや自治会、子育て関係団体等と連携し、各エリアの状況に応じてサロン活動のない地域にて「出前サロン」の開催を実施 幅広い世代にサロン活動の周知を目指し、サロンの要綱改正によるサロン支援の充実も含めたPR活動を強化 サロン補助金の期限の延長により、継続したサロン活動を支援する 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> サロン・ラウンジ登録数は、新規サロン12ヶ所を含む64登録サロンの他、ラウンジ活動等も含め合計74サロンが活動中。 サロン説明会を2回開催（7月：参加者4人 2月：参加者4人） 出前サロンを2エリアで実施（7月：関戸地区33人参加、2月：愛宕地区20人参加） 地域福祉推進委員会や民生委員、地域包括支援センターと連携をとり、サロン参加者に福祉情報を提供することで、認知症の方の見守り等緩やかな支援につながった。 サロン通信4回発行。（6月、9月、11月、2月） <p>※詳細は資料編参照</p>		

事業名		④ ふれあい・いきいきサロン連絡会・交流会の実施		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • エリア毎に行うサロン連絡会において、活動者が定期的に情報交換することにより、各サロンの連携及び活動の活性化を促進する機会とします。 • サロン活動の課題でもある、担い手不足や財源不足、プログラム企画などの課題に対し、地域内のサロンが連携し助け合うことで、サロン活動を継続していく仕組みを作ります。 • 市内全サロンを対象としたサロン交流会を開催します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 地域福祉推進委員会等を通して、各エリアのサロン同士の連携と交流を推進。 • サロン交流会を1回以上実施 		
取組結果		<p><コミュニティエリア別></p> <ul style="list-style-type: none"> • 9月30日に永山地域のサロン交流会を開催。エリア内のサロン同士の交流や情報交換を行うとともに、住民が主体となって進めていく居場所づくりの重要性を共有する機会となった。(9団体23人が参加) <p><全市></p> <ul style="list-style-type: none"> • 2月1日にサロン交流会を実施。ボランティア団体の協力のもと出前講座などの体験を行い、サロン同士の交流に加えて、日頃のサロン活動に有用な情報の発信と交換をすることができた。(39サロン59人が参加) 		

事業名		⑤ たすけあい有償活動の推進		
事業種別・財源・担当係		継続	自主	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 相談件数や協力員が少ないエリア（主に既存地域）では、自治会等の小単位で個別的な説明会を開催し、事業の周知に努めます。 • 地域福祉推進委員会の設置エリアにおいては、参加の地域住民の方に協力いただき、隠れたニーズや協力員として活動できる人材を発掘します。 • 相談内容の多様化に対応するため、外部講師の活用などにより、研修内容を初心者研修とステップアップ研修な 		

実施目標	活動計画	<p>どに分けて実施し、協力員のスキルアップを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生・児童委員や地域包括支援センター、ケアマネジャー等の専門職・機関との連携を強化し、支援が必要な人たちを、必要な機関にコーディネートします。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等における説明会の実施 サロンや地域福祉推進委員会での広報活動 協力員初心者研修、ステップアップ研修を各 1 回実施 ニーズ把握等について地域包括支援センターなど関係機関と連携 【新規】多摩市介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービス訪問型サービスBの事業を実施し、要支援 1, 2 等の方を中心に家事援助のサービスを提供する。 訪問型サービスBの事業開始にあたり、協力員の体制整備とたすけあい有償活動との両立をする 訪問型サービスB事業の開始にあたり、たすけあい有償活動も含めた事業管理のためのシステムの導入を検討する ※サービス従事者になるには市の研修受講が必須。
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 〈たすけあい〉協力員説明会開催時には協力員の少ない地域へは重点的にチラシを配布し、開催した。(関戸・永山・諏訪・落合地区に約 2,000 枚配布) 〈たすけあい〉たすけあい有償活動について、サロン訪問時に事業PRを行い、希望のあった住宅管理組合へパンフレットを配布した際に住宅管理組合から居住者のサービス利用についての相談ケースもあり。 〈たすけあい〉初任者研修として、7/5 に「認知症サポーター養成講座」を基幹型包括支援センターと連携し、実施。(14人参加) ステップアップ研修として、12/12 に「たすけあい有償活動および日常生活に役立つ介助の方法」を天本病院の理学療法士を講師に招き実施。(19人参加) 〈訪問B〉5 月より、多摩市より指定を受け、訪問型サービスBの事業を開始。年間で5件ケースの活動に入った。 〈訪問B〉多摩市が行なう訪問B型の協力員研修について、たすけあいめーるや説明会・懇談会の実施の際に情報提供し、協力員へ研修を受けていただくよう促した。また、新規協力員増員のため市の研修実施時は参加し、事業所のPRを行った。(新規登録協力員 45 人)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ <共通>新規のニーズ発掘や、支援ケースについて地域包括支援センターや地域活動支援センター等関係機関と連携を図り対応をしている。 ・ <共通>事業管理のため、新システムの導入を検討し、導入を図った。
--	---

事業名		⑥ 地域住民活動組織との連携・支援強化
事業種別・財源・担当係		継続 自主・補助 まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティセンター及び自治会・住宅管理組合等と連携し、地域住民に対し、より身近な福祉情報の提供に努めるとともに、地域住民同士の顔の見える関係づくりや地域活動へ参加するきっかけづくりに取り組みます。 ・ 自治会・住宅管理組合の福祉活動を支援する手法を見直し、住民自治活動の活性化に努めます。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民間のつながりが強化できるよう自治会・住宅管理組合にふくし活動助成金を周知し住民活動につなげる。助成件数のさらなる増加を図り、地域活性化への貢献と地元との連携を強化する。 ・ 自治会・住宅管理組合、老人クラブ、コミュニティセンター等の事業にコーディネーターとして参加し、地域と社会福祉協議会が互いに顔の見える関係をつくっていく。
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ・ 71団体の自治会・住宅管理組合へ申請に基づき助成金を交付した。(助成金申請内容を見直し、平成29年度から更に助成金交付団体と協力・連携強化を図っていく) ・ コミュニティセンター等事業へ参加し、社協事業のPRや各種体験コーナーの実施等を通して、コミュニティセンター運営協議会や地域団体、住民との連携強化を図った。(聖蹟さくらまつり、ゆう桜ヶ丘夏まつり、愛宕かえで館まつり、貝取こぶし館まつり、関戸つむぎ館まつり、地域ふれあいフォーラムTAMA、トムハウスまつり、からきだ菖蒲館まつり) ・ 自治会・住宅管理組合等事業へ参加、協力を行った。(落合ふるさと夏祭り、馬引沢・諏訪地区合同防災訓練、聖ヶ丘小・中・連光寺小学校周辺地区合同防災訓練)

2 ボランティア・市民活動の推進

(1) 運営体制の強化・拡充

事業名		① 多種多様な幅広い市民や団体等の参画による運営		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い分野で活動している関係者や思いをもった市民などの参加が、これまで以上に得られるように、運営委員会規程を見直します。 常に化するニーズや課題に対応するため、各種専門委員会を再編・設置しながら、解決に向けた検討を行い、運営委員及び専門委員と一体となって、市民に開かれた、市民に必要とされる多摩ボラセンの運営を推進していきます。 ボランティアコーディネーターの専門性を高める研修等を実施します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会規程の見直し・改正に向けた検討 外部委員を積極的に活用し、各種専門委員会を充実 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会で運営委員会はボラセン全体として取り組む事項へ、専門委員会はボラセンが特に取り組む必要がある事業について検討する役割へと明確にして、4つの専門委員会（企業等連携強化専門委員会、災害ボランティア育成専門委員会、財源確保検討専門委員会、センター機能強化専門委員会）を開催した。また、各専門委員会にその分野の活動者や専門家等を外部委員（専門委員）として参画して、専門委員会の充実を図った。 ボランティアセンター職員としての専門性の向上を図るため、東京ボランティア・市民活動センターの主催する研修（中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾、災害ボランティアコーディネーター養成講座、企業&社員のための社会貢献セミナー等）を受講した。 		

(2) 活動の場や災害時の支援体制の整備

事業名		① 団体活動の場の整備		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 永山分室閉鎖後に活動団体が円滑に移転できるように、センター機能強化専門委員会において、本センター（ヴィータ・コミュニネ）や総合福祉センター分室の有効活用を含めて検討していきます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 本センターの施設活用方法の見直し 永山分室閉鎖後の新たな拠点の確保に向けて、情報収集と要望の検討 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 拠点確保に向けて、多摩市の関係部署との情報収集を重ねながら、今後の方向性・具体的要望について内部で検討した。また、市に拠点確保の要望者を提出し、拠点確保の必要性を訴えた。 		

事業名		② 災害ボランティアセンターの設置設備・運営体制の整備		
事業種別・財源・担当係		重点・継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター、まちづくり推進係、総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に多摩社協職員として必要な行動をとり、速やかに災害ボランティアセンターを設置するため、役職員等を対象とした参集訓練等を行うとともに、適宜「多摩市社会福祉協議会災害時職員行動マニュアル」の見直しを行います。 災害ボランティアセンターの円滑な運営のため、役職員、多摩ボラセン運営委員、ボランティアなどを対象に実践的な設置・運営訓練を行うとともに、適宜「多摩市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」の見直しを行います。 災害ボランティアセンターを設置・運営するために必要な資機材等について整理し、不足するものをリストアップする中で市と調整し、整備を進めます。 		

実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 大災害時の地域におけるニーズの把握や、要配慮者対応にボランティアを結びつけられるよう、地域福祉推進委員会等において地域防災の普及啓発活動を行うとともに、地域防災組織との連携強化を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> 各種訓練や研修会等を通じ、災害ボランティアセンターの設置・運営のためのスタッフとして、災害ボランティアの育成・登録を推進します。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 参集訓練を1回以上実施 センター設置・運営訓練を1回以上実施 市と資機材等を協議し、不足する資材等の整備 災害ボランティアの育成
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 11月に昨年度未実施及び転居した職員を対象に職員参集訓練を実施。今後も必要に応じて実施しながら、災害時職員行動マニュアルを適宜見直していく。 災害ボランティアセンタースタッフボランティア育成専門委員会で実施内容を検討した上で、災害ボランティアセンタースタッフボランティア活動体験を10月14日、10月27日に実施。11月27日に災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施した。その後今回の訓練から得た課題を次年度に向けて検討した。 市と資機材の保管場所について協議し、多摩市総合福祉センター内で確保することとなった。また、当面必要と考えられる資材のリストの作成を行い、災害ボランティア用シールや表示物、ピブスなどを制作した。

事業名	③ 災害時の要配慮者支援の啓発		
事業種別・財源・担当係	重点・継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター、障がい者支援係、まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進委員会等、地域の組織・団体などを通じ、冊子「要配慮者からのメッセージ」や「ヘルプカード」などの活用により、災害時要配慮者支援の必要性を啓発し、理解者を増やしながらか、「避難支援者」の育成につながるよう努めます。 	
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 「要配慮者からのメッセージ」を活用した啓発活動の実施 ヘルプカードの広報及び活用事業の実施 	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 「要配慮者からのメッセージ」を改訂した（新規に障害者差別解消法、市の避難行動要支援者の支援、多摩市コミ 		

	<p>ユニケーション支援ボード)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「要配慮者からのメッセージ」を市総合防災訓練や自治会や小中学校で実施される防災訓練などで配布し、啓発を促した。 ・ヘルプカードのポスターをセンター内に掲示する他、窓口にてヘルプカードを配布・周知に努めた。
--	--

(3) 幅広い関係者との積極的な協働関係づくりの推進

事業名		① ボランティア・市民活動団体の登録促進・支援の充実		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市の強みである市民の力を活動に結び付けるため、活動団体に対する立ち上げ支援を強化しながら、ボランティア・市民活動の活性化及び振興を図ります。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・団体登録及び助成金交付の周知の強化 ・登録団体数 75 団体以上 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ・団体登録基準及び助成金要綱をボランティア通信やホームページにて周知。助成事業を登録団体より募集し、助成金交付額499,600円(全14団体)を交付した。また助成金要綱を見直し、次年度より、登録団体でなくても助成申請と同時に登録することで対象になるように変更した。 ・登録団体数64団体 		

事業名		② 団体同士のネットワークづくりの推進		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で活動しているボランティア・市民活動団体などによる活動紹介や、団体間の交流の機会の場づくりのため、ボランティアまつり及び多摩ボラセン登録団体等連絡会の充実を図ります。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回ボランティアまつりの開催 参加67団体以上 ・多摩ボラセン登録団体等連絡会 加入40団体以上 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年1月28日(土)に第8回ボランティアまつりを開催。協賛企業や団体など39団体の協力を得た。また 		

	<p>当日は35名のボランティアが運営に協力。なお、ボランティアまつりの開催に向け、平成28年7月から実行委員会を立ち上げ、市民やボランティア団体などと企画・運営に係る検討・準備を進めた。平成29年2月（反省会）までに計8回実行委員会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩ボラセン登録団体等連絡会の周知・加入について、団体登録時に連絡会の説明に努めた。 <p>加入団体数 25団体</p>
--	--

(4) 幅広いニーズキャッチの仕組みと体制づくりの推進

事業名		① 地域での相談体制の整備・拡充		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 本センターの休館日及び夏のボランティア体験やボランティア保険更新時期に合わせ、各地域で臨時の出張相談窓口を設置し、ボランティア相談員を配置し、相談受付等の充実を図ります。 地域住民をボランティア相談員として養成し、地域でのニーズ把握に努め、課題解決につなげていきます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 出張相談窓口の設置場所検討・設置および周知 ボランティア相談員育成のための講習会実施 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 3、4月にボランティア保険加入手続き、「にゃんともTAMAるボランティアポイント」登録手続きのため、6月、7月に夏のボランティア体験の参加申込のため、ひじり館、貝取こぶし館、愛宕かえで館、トムハウス、総合福祉センター、ベルブ永山にて出張相談を実施した。ボランティア相談員の講習会は実施できなかったが、出張相談には相談員も参加し、ボランティア希望者などの相談に応じた。 		

事業名		② 情報発信手段とコーディネート機能の充実		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • ボランティア通信の充実を図り、市内各駅や公共施設などに配架します。 • メールマガジンを通じて、最新の情報を配信します。 • 本センター（ヴィータ）内の情報コーナースペースを充実し、ボランティア・市民活動に関する情報提供、相談、コーディネート機能の充実を図ります。 • 埋もれたニーズを発掘していくための手法を検討し、ニーズ把握に努め、活動メニューを充実させることにより、活動者の拡大を図ります。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • ボランティア通信配架先の見直し検討・実施 • 様々な情報媒体を活用した、幅広い世代に向けたボランティア・市民活動の効果的な情報発信方法の検討 • メールマガジン登録数 660人以上 • 専門委員会においてニーズ発掘手法の検討・実施 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> • ボランティア通信は、事業報告などの記事を減らし、ボランティア募集記事を拡大した。また、ボランティア通信配架先の検討はできなかったが、ボランティアポイントでは、登録者だけでなく対象施設等にもボランティア通信を発送し、活動先の周知を広く図った。 • メールマガジン登録者数 632人 		

（５）運営資金及び活動財源の確保

事業名		① 財源確保に向けた事業等の実施・拡充		
事業種別・財源・担当係		継続	自主	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 各種チャリティ事業収入、広告料収入、ボランティア・市民活動の振興のための指定寄附金の増収を図ります。 • 基金の活用について検討します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 専門委員会において財源確保につながる事業企画を検討 • 多摩ボラセン 30 周年記念マスコットキャラクター活用による財源確保に向けた検討 • 企業情報交換の集い等において広告の効果の説明するなど、地域のネットワークを活用した広告主獲得へ向けた取り組みの強化 		

	<ul style="list-style-type: none"> • ホームページやボランティア通信等を通じて指定寄附の使用内容（具体的な用途）等についての説明 • 運営委員会において基金活用の考え方を検討
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> • 財源確保検討専門委員会にて、チャリティ事業について検討・実施した。市内大学と協働での「お正月飾りづくり」のイベント以外に、ボランティアまつりや国土舘大学の学園祭出店により、自主財源確保に努めた。 • 基金活用については、多摩ボラセンの運営全体にかかわる課題でもあり、平成28年度より、専門委員会から運営委員会の場において検討することにした。 <p> チャリティ事業収入 180,050円 ボランティアまつり協賛金 308,000円 ボランティア基金新規積立額 15,285円 事業費寄附金額 279,947円 （商品券寄附 100,000円を含む） </p>

Ⅱ 福祉のまちづくりを支える人づくり

1 住民意識の高揚

(1) 地域福祉活動への意識啓発

事業名		① 福祉意識の高揚事業
事業種別・財源・担当係		継続 自主・補助 まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • NPOや地域包括支援センター等、関係機関と連携・協働しながら、防災や防犯、健康、歴史等の様々な内容の普及啓発講座等を実施し、住民自身が地域課題に気づき、課題解決に向けての活動に取り組めるよう支援します。 • 各事業でワークショップを取り入れ、住民の「気づき」を促し、住民が地域でできることを自ら発見し、様々な地域活動に参画するきっかけを作ります。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 各地域福祉推進委員会の世話人等の住民を中心に福祉課題を考える機会として啓発事業を企画・実施し、担い手を発掘や住民の意識高揚を目指す
取組結果		<p>《関戸地区》まち歩きやホテル狩り交流会等のイベントを通じて、幅広い世代の方を取り込んでの事業展開ができた。また、出前サロンをきっかけにサロン立ち上げに繋がった。</p> <p>《連光寺・聖ヶ丘地区》近隣大学の教授による健康に関する講演会や住民交流イベント、近隣大学と連携して地域防災訓練において、「地域住民の防災意識アンケート」を実施した。また、コミセン・児童館・学童と連携して、子ども祭りを開催。</p> <p>《桜ヶ丘地区》昨年度から引き続き、「いつまでも住み慣れたまちで暮らしていくために」をテーマに、地域における医療と介護についての市内の医師を講師に招き、講演会を実施した。</p> <p>《百草団地周辺地区》地域の自主防災組織と連携し、地域交流を目的に防災イベントを実施。「いつまでも住み慣れた地域で暮らしていくために」をテーマに医師による講演会を実施した。</p> <p>《愛宕地区》近隣大学から講師を招き、安心して暮らせる地域づくりについての講座や、コミュニティの向上を目指し、エリア内の4ヶ所にて「おむすびプロジ</p>

	<p>エクト」を実施した。</p> <p>《馬引沢・諏訪地区》多摩市健幸まちづくり推進室長を招き、健幸都市に関する意見交換会を開催した。また、地域の防犯パトロール等の情報を集約した「地域パトロールマップ」を作成した。マップ作成をきっかけに、見守りウォーキングがスタートした。</p> <p>《永山地区》地域の医療関係者を講師に招き「痛活セミナー」や「認知症セミナー」を実施した。また、委員会内で試行的に体操に関する取組みを行ったことをきっかけに、定例での「体操サロン」が立ち上がった。永山小・中地区で合同防災訓練、瓜生小地区で避難所運営訓練を昨年度に引き続き実施した。</p> <p>《貝取・豊ヶ丘地区》多摩市ニュータウン再生方針について、多摩市ニュータウン再生課長からの情報提供と意見交換を行った。</p> <p>市内の大学とエリア内の中学校と連携し、HUG（避難所運営ゲーム）を実施した。</p> <p>《鶴牧・落合・南野》「東京防災をひも解く」をテーマに、多摩市防災安全課からの説明やエリア内の管理組合からの活動報告を行った。</p> <p>《唐木田・中沢・山王下等》からきだ菖蒲館と共催で、「唐木田・中沢・鶴牧・山王下桜まつり」を実施した。</p>
--	--

事業名		② 地域住民懇談会の開催		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実情の把握と課題の抽出を行います。 地域住民懇談会を開催することにより、多くの住民が地域課題に気づき、地域活動の第一歩につなげるようにします。 地域住民懇談会で出たニーズについては、地域福祉推進委員会等において解決に向けた活動を支援します。 		
実施目標	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進委員会設置エリアにおいて、委員会及び各事業を通じて地域ニーズを把握し、課題解決に向けた取り組みを検討 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に全エリアで委員会が立ち上がったため、住民懇談会の開催はなし。 各エリアの委員会において、グループワーク等の手法を取り入れ、参加者の意見交換を活発にし、地域ニーズの把握やグループ毎での課題解決に向けた取り組みを検討した。 			

2 人材育成と参加促進

(1) 活動者の発掘と参加促進

事業名		① 市民の地域活動等への参加促進		
事業種別・財源・担当係		重点・継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター、まちづくり推進係、高齢者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の地域に対する関心を高めるため、福祉分野に限らず、防災や防犯、健康や介護、環境など、その地域に住む方が関心のもてる、生活全般に関するジャンルの普及・啓発事業を行います。 地域福祉推進委員会等においては、地域に目を向け、課題に気づき、自ら参加できる活動に一步踏み出すためのきっかけづくりとして、興味のもてる、役に立つ情報を提供するとともに、まち歩きやマップ作りなど一般住民向けのワークショップ等の活動を行い、多くの地域住民の参加を促します。 たすけあい有償活動やふれあい・いきいきサロンについて、自治会等の小地域単位で個別的な説明会や体験型の「出前サロン」などのきっかけづくりを実施します。 地域福祉推進委員会の世話人やサロン活動者が、立上げプランと一緒に計画する等、サロンを立上げる支援をします。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進委員会において普及啓発に関する事業等を実施 協力員説明会を2回以上開催 出前サロンの実施 ふれあい・いきいきサロン説明会を2回以上開催 自治会や地域の催し物等に出向いた際に、たすけあい有償活動やふれあい・いきいきサロン、地域福祉推進委員会等、地域福祉活動についての説明を実施 		

実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 小中学生から高齢者まで様々な世代が地域活動等に参加するきっかけとなるよう、ボランティア体験や市民活動入門講座、地域出前事業などの「地域活動等参加促進プログラム」を充実し、活動者の裾野を広げていきます。 • 技術や経験、知識が豊富な高齢者の力や、趣味や特技を活かして活動している個人やサークルなどの力を地域活動等につなげるために、隠れたニーズを把握し、自分の出来る活動が見つかるよう、活動メニューを効果的に周知します。 • 参加機会のきっかけづくりの一つとして、新たに多摩市で取組む介護予防ボランティアポイント制度等を通じ、老人福祉センターの利用者など、技術や経験、知識が豊富な高齢者の力を、地域活動等につなげるよう、コーディネートを推進します。 <p>※介護予防ボランティアポイント制度</p> <p>介護予防を推進する目的で、介護保険施設等でボランティア活動に取り組む高齢者の活動実績を「ポイント」として評価し、そのポイントを換金等して交付する制度。元気な高齢者が地域に貢献出来るような取り組み。 （多摩市では「にゃんともTAMAるボランティアポイント事業」として平成26年12月より事業開始）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 趣味や特技を活かして活動している個人やサークルなどの力を、地域活動等につなげられるように、多摩ボラセンへの登録を促進していきます。 <p>災害時に市民の力を結集して、迅速かつ円滑に災害時の対応ができるように、平常時から災害ボランティアセンターの運営に必要なスタッフボランティアの育成を図ります。</p>
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 活動者増を目的とした各種講座及び地域出前事業の実施 ボランティア登録者数 350人以上 ボランティア体験者数 340人以上 • 災害ボランティア養成講座を1クール以上開催 災害ボランティア登録者数 30人以上 小中高向けのプログラムの作成

取組結果

- 関戸地区でまち歩きの実施(2回延べ46人参加)、永山地区でまち歩き(11回延べ354人参加)、さんぽ会(月2回)実施した。
- 連光寺・聖ヶ丘地区で健康講座を実施(70人参加)。
- 桜ヶ丘地区で地域における医療と介護についての講演会を実施した。(68人参加)
- 和田地区百草団地周辺エリアでは《和田地区》防災イベントを実施した。(65人参加)
- 愛宕地区では、健康講座(95人参加)や、おむすびプロジェクト(220人参加)を実施した。
- 馬引沢・諏訪地区では、スマートウェルネスシティに関する勉強会と意見交換を実施した。
- 永山地区では「痛活セミナー」(45人参加)を、認知症セミナー(52人参加)も実施した。また、エリア内のサロンや居場所を対象に「永山地区サロン交流会」を実施した。(10団体22人参加)
- 貝取・豊ヶ丘地区では HUG(避難所運営ゲーム)を実施した。(66人参加)
- 地域の見守り活動と改正個人情報保護法についての講演会を多摩市文書法制課と共催で全市向けの普及啓発事業として実施した。(76人参加)
- 鶴牧・落合・南野地区では、「東京防災をひも解く」をテーマに事例報告と情報交換を実施した。
- 唐木田・中沢・山王下等地区ではからきだ菖蒲館と共催で、「唐木田・中沢・鶴牧・山王下桜まつり」を実施した。

取組結果

- たすけあい有償協力員研修会・説明会を各2回開催（研修会計 33 人参加、説明会計 33 人参加）
- 出前サロンを関戸地区（11 月）、愛宕地区（3 月、20 人参加）で実施
- ふれあい・いきいきサロン説明会 2回開催（計 8 人参加）
- 新規サロン(12 サロン)の立ち上げ
- 市民活動入門講座（IT 編）「テキストデータ制作ボランティア養成講座」や夏のボランティア体験等の実施の他、企業・学校・団体への地域出前事業（総合的学習、高齢者疑似や車椅子体験など）を実施し、活動者の発掘・育成・支援に努めた。
ボランティア登録者数 535人
ボランティア体験者数 252人
- 介護予防ボランティアポイント事業では、登録者説明会や研修会を7月「ボランティア活動を楽しんで行う為に～高齢者施設が求めている事～」、8月「ボランティア きちんと理解、ギモン解決」、3月「ボランティアへの期待やお願いごと・ワンポイントアドバイス」を実施し、事業の周知および啓発を行った。
- 市民活動入門講座（災害ボランティア編）を9月に開催し、防災や災害ボランティアへの意識を高めるきっかけとなった。
- 災害ボランティアセンタースタッフボランティア活動体験を10月に開催し、災害ボランティアスタッフの役割の再確認と技術の向上を図るとともに、災害ボランティアセンタースタッフボランティアの登録呼びかけを行った。
災害スタッフボランティア登録者数 36人

事業名		② 企業・大学等の地域活動等への参加促進		
事業種別・財源・担当係		重点・継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 企業や大学等が行う社会貢献活動を後押し、仕事や大学の研究等で培った知識や経験、スキルや学生の若い力を地域活動等につなげていくため、福祉分野に限らず、さまざまな活動メニューを構築・提供し、企業・大学・団体・施設などが定期的に情報交換できる場を設けるなど、連携を深めながら「たまボランティアギフト」をさらに推進していきます。 「企業情報交換の集い」を開催し、活動参加へのコーディネートを推進していきます。また、「企業情報交換の集い」の充実に向け、その開催の方法等について企業等連携強化専門委員会にて検討を進めます。 大学等の学校との連携を深め、学校及び学校職員等の地域活動等への参加促進を支援します。 企業との連携に積極的なVCの視察や活動の研究を行い、企業等との連携強化に努めます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> たまボランティアギフトの参加範囲の拡大とプログラムの見直し 「企業情報交換の集い」の1回以上開催 大学との連携・協力による事業等の企画・実施 企業との連携が活発なVCの視察・研究 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 3月28日に「第6回多摩地域企業情報交換の集い」を開催。事業所、大学、団体等の合計26団体、30名が参加した。活動に向けて必要なニーズの確認や今後取り組んでみたいこと等をワークショップ型式で実施し、参加者同士の情報共有を行った。 恵泉女学園大学の協力のもと（学生が指導、材料提供）、昨年度に引き続き、今年度もチャリティクリスマスリース作りを12月3日に実施した。 ボランティアギフトを活用して市内2社の社員および多摩市社会福祉協議会共済会がボランティア活動を行った。ボランティアギフト額 98,600円（61名分） 第8回ボランティアまつりに参加・協賛団体は72団体あった。 		

Ⅲ きめ細やかな相談と支援の推進

1 地域での相談体制の整備

(1) 必要な人に必要な支援が届く相談体制の整備

事業名		① 地域での相談の実施		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 権利擁護センターや地域活動支援センター、多摩ボランティア・市民活動支援センターなど専門相談機関と連携し、総合的な相談に対応できるよう相談体制を再構築します。 地域福祉推進委員会やふれあい・いきいきサロン等のネットワークを活用し、支援の必要な人を発掘し、支援につなげられるよう積極的に働きかけます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 権利擁護センターや地域活動支援センター、地域包括支援センター等と連携し、テーマ性を持った福祉なんでも相談を実施 地域住民が足を運びやすいように脳トレ等を実施し、地域住民の潜在的ニーズを把握 各エリアのコミュニティセンターや自治会等と連携し、福祉なんでも相談の周知を図る 福祉なんでも相談を実施していない地域のサロンや老人福祉館等で出張相談の実施を検討 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター等と連携し、市内8箇所にて計83回開催した。 相談体制の周知および相談者を呼び込むための工夫として、エリアにより各種事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> (a) 地域包括支援センターと連携し、認知症予防として脳トレ講座・転倒予防体操等を実施した。 (b) 権利擁護センターと連携し、権利擁護相談を実施した。 (c) 障がい者支援係と連携し、障がいに関する相談を実施した。 		

(2) 生活困窮者のための相談・支援事業の実施

事業名		① 生活安定のための相談・支援事業
事業種別・財源・担当係		新規・継続 補助・受託 総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金等の貸付事業は、関係機関と連携しながら制度の周知を図るとともに、きめ細やかな相談事業を実施します。 生活困窮者自立支援事業については、関係機関の実施状況等を確認しながら検討します。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 貸付・相談事業の実施 生活困窮者自立支援事業（学習支援等）について検討 生活困窮者支援団体と連携した支援事業（フードバンク事業等）の実施
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 1 生活福祉資金 <ul style="list-style-type: none"> (1)相談総件数 1,628 件（昨年度同期 1,446 件） (2)貸付 52 件（昨年度同期 34 件） 2 小口資金 * 社協独自事業 <ul style="list-style-type: none"> (1)相談件数 764 件（昨年度同期 869 件） (2)貸付件数 26 件（昨年度同期 36 件） <p>生活福祉資金（資金別では特に教育支援資金）の相談件数・貸付件数が増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩市内企業、市民から食糧寄贈を受け、貸付等相談者の状況に応じて配布した。また、生活協同組合と連携し組合員に食糧寄付（フードドライブ）を呼掛け、提供をいただいた。市生活福祉課及び民生委員を通じて配布した。 市内で生活困窮者支援活動を行っている団体等のネットワークに参加し、情報共有や支援活動の検討を進めた。

2 権利擁護事業の充実と拡充

(1) 権利擁護センターの充実

事業名		① 地域福祉権利擁護事業等の充実
事業種別・財源・担当係		重点・継続 自主・補助・ 受託 権利擁護センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用対象者が急増する中、成年後見制度と役割を分担しながら、市民が必要とした時、適切に利用できる持続可能な事業体制を図ります。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 市内全自治会、管理組合などへパンフレットを活用し事業のPRを実施。 地域のサロンなどで事業の出前説明会を実施。 地域包括支援センター、ケアマネージャー、介護保険事業所へ事業説明を行い、利用についての連携を実施。 地域福祉権利擁護事業のサービスの担い手として、また、市民協働で事業を実施するため、登録型生活支援員の育成と新規10名の登録を目指す。
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援件数 5,004件 地域福祉権利擁護事業等新規契約者数 26件、累計 282件(平成12年度～平成28年度) 市民向け・関係機関等向け事業制度説明会 3回実施、参加者 38名 生活支援員情報連絡会の開催 2回 参加者 52名 生活支援員新規登録者 10名 総登録者数 38名

(2) 成年後見制度に関する事業の拡充

事業名		① 成年後見制度利用支援事業の充実		
事業種別・財源・担当係		重点・継続	補助	権利擁護センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度の利用方法について、さらに多くの市民の方々に周知するため、引き続き窓口での相談のほか、各種広報活動、出前説明会や講座を開催します。 申立てに関する相談、申立書の配布、記載方法の説明等を実施し利用支援を図ります。 利用相談の個々のケースに応じ多摩南部成年後見センター扱いとなるケースについては多摩市とその他のケースについては弁護士等専門職団体と連携した利用支援を実施します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 親族等の申立が必要な市民の方に、申立てに関する相談、申立書の配布、記載方法の説明等を実施。 地域包括支援センター等関係機関と連携し、親族による後見業務についての説明会を実施。 地域のサロンにおいて、成年後見制度の啓発を実施。 制度の利用相談や講座などによる啓発活動を実施。 個々のケースに応じた利用支援を実施。 		
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 親族後見人及び社会貢献型後見人（市民後見人）が後見業務を行う中で、後見人等活動の支援が必要となるため、後見業務についての疑問等の解決を図る懇談会を開催します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 親族後見人及び社会貢献型後見人（市民後見人）を対象とした懇談会を実施 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 成年後見相談件数 134件 成年後見申立支援件数4件、累計58件(平成12年度～平成28年度) 講座等の実施件数8回、150名参加 後見人懇談会開催2回、20名参加 		

IV 市民とともに歩む、社協の経営

1 組織体制の見直しと強化

(1)「意思決定」の仕組みの強化

事業名		① 理事会、評議員会の活性化		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 理事会、評議員会の審議案件に至るまでの間、部会、部会連絡会及び委員会を積極的に開催し議論を深めるとともに、役員の間わりも深くなることで、組織の活性化を図ります。 • 各部会等の役割等を見直しながら再編に向けた取り組みを行います。 • 地域からの意見を事業に反映するため、評議員の推薦枠を再考するとともに、欠員が生じないようにします。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 部会等の開催 • 部会等の検証 • 評議員選任基準の見直し検討・制定 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> • 定期的に各部会、部会連絡会、各委員会を開催し、それぞれの所掌事項について検討を行った。 • イベント推進部会の会議内容の見直しを行った（部会では各イベントの方向性を検討し、企画・運営については、実行委員会を設置して行った）。 • 社会福祉法の改正に伴い、各種規程等を総務部会及び部会連絡会で見直し検討し、定款変更、評議員選任・解任委員会規程及び評議員選出規程を制定した。 		

(2) 組織強化と人財育成

事業名		① 事務局組織の強化
事業種別・財源・担当係		継続 自主・補助 総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい財政状況が続き、将来的な財源確保が不確定でもあることから、限られた財源及び職員数で事業運営を行うためには、各事業の効率性等を検証しながら組織の見直しも適宜必要になると考えます。よって、適切な時期に組織改正が行えるよう、事業評価を行いながら組織改正についても検討します。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局再編の検討、実施
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度からの第2層生活支援体制整備事業の受託について市と協議を重ねながら、事務局内に組織体制検討会議を設け、組織及び職員体制の再編、所掌事項の整理等を検討し、小地域福祉活動の推進及び法人運営の強化を図るための体制づくりを行った。

事業名		② 法人運営の強化
事業種別・財源・担当係		新規・継続 自主・補助 総務係、まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩社協の広報媒体や各種事業において、広報活動を強化しながら認知度を上げる取り組みを継続します。 ・ 多摩社協に対する支援者・協力者（サポーター）を増やすことが法人運営の強化につながるため、会員制度の見直しを実施しながら会員の増強に取り組めます。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉協力店の拡充を図り、サポーターを増やししながら、広報活動強化及び会員増強を推進 ・ 【新規】多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会を設置し、各法人同士がつながり、連携してできる社会貢献事業の取り組みを検討 ・ 会員データ管理に関するシステムの検討、導入
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉協力店にアンケート調査を実施し、現状及びニーズ把握を行った。結果、新規協力内容として、「車いすの貸出」「災害用自動販売機の設置」を追加した。同時に、市内企業、事業所の会員増強に取り組み、会員を

	<p>増やすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年7月に、市内の社会福祉法人全21法人で構成された「多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会」を発足した。地域公益活動、法人間連携事業についての検討及び社会福祉法人制度改革に関する研修、情報交換などをテーマに3回連絡会を開催した。 <p>各法人でできる地域における公益的な活動を見える化するためにガイドブック（案）を作成した。平成29年度に完成させ、地域福祉推進委員会及び自治会等地域団体に配布し、ニーズに対応した活動を展開していく。</p> <p>また、連絡会として実施可能な地域公益活動を検討していく。</p>
--	--

事業名		③ 人財育成		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進事業に必要な人財については、全ての事業において求められるコミュニティワークや、相談事業に必要な専門知識等を習得できる研修を構築します。 関係機関と連携を図りながら研修を実施することで、職員のスキル向上を図り、人財育成に努めます。 法改正や事業の見直し等による必要な研修は適宜実施します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 人財育成計画及び研修体系の構築・検証・見直し 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 事務局内にプロジェクトを設置・検討し、目指すべき職員像、職員研修体系などを明確にした人材育成方針、研修体系を構築した。 		

(3) 自主財源の確保

事業名		① 自主財源の見直しと新たな財源確保の検討と拡充		
事業種別・財源・担当係		継続	自主	総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 今まで実施してきた各種事業については、事業内容の検証を行い、経費の削減を図りながら継続実施し、自主財源の確保に努めます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業実施 福祉事業支援制度への申請等新たな財源確保の検討、実施 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 6月にチャリティゴルフ大会を開催し、632,413円（昨年度 650,342円）、10月及び2月に福祉バザーを開催し、669,921円（昨年度 638,645円）の収益をそれぞれ得ることができた。チャリティゴルフ大会については、協賛内容が協賛金から協賛品に変更となった企業もあり、昨年度比微減となった。 東社協地域公益活動推進協議会より社会福祉法人のネットワーク化推進に関する助成金（50,000円）を受け、研修会の開催や法人ガイドブックの作成を行った。 自己財源の増収を図るため、福祉協力店へ災害対応型自動販売機の設置協力の意向調査アンケートを実施した。また、後援名義申請団体に対して、事業実施時における募金箱の設置協力依頼を行った。 		

2 透明性のある法人経営の確立

(1) 計画の進行管理及び次期計画の策定

事業名		① 計画の推進と次期計画の策定		
事業種別・財源・担当係		継続	自主	総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 新たに事業評価指標を策定し、今後の事業評価システムを構築します。 次期計画の策定については、地域福祉計画の改定状況を勘案しながら策定作業を進めます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業評価票の見直し検討、構築 地域福祉活動計画推進委員会の開催 第4次地域福祉活動計画策定を検討し、多摩市地域福祉計画と一体的に策定 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> PDCA がわかるように、前年度地域福祉活動計画兼単年度事業評価表の見直しを行ったため、継続して活用した。 地域福祉活動計画推進委員会を2回開催し、計画の進捗状況及び第4次地域福祉活動計画策定の内容を踏まえた次年度計画の確認を行った。 事業評価表に基づき現事業の評価や課題を明らかにするとともに、前年度実施したニーズ調査結果や多摩市で実施した各調査報告、各地域福祉推進委員会での検討課題等を検証し、平成29年3月に第4次地域福祉活動計画を策定した。計画期間は6年間であるが、地域の動向の変化等を鑑み、前期実施計画（3年）、後期実施計画（3年）とし、後期実施計画は、前期実施計画の進捗状況等を踏まえながら、平成31年度に策定することとした。 策定委員会は、昨年度に設置し、7回開催した。また、事務局内に主査以上で構成された幹事会、主任以下で構成された作業部会にて、計画の基本理念、基本目標、具体的な取り組み内容を検討し策定委員会に提案した。 <p>多摩市地域福祉計画との整合性を図るため、事務局間で定期的な協議や、市地域福祉計画策定市民委員会と合同の策定委員会を開催するなど連携・共通理解に努めた。</p>		

(2) 情報提供の充実と情報管理の徹底

事業名		① 広報事業の充実		
事業種別・財源・担当係		継続	自主	総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ホームページのリニューアルを実施したことによる効果等を把握し、検証を行いながら充実を図るとともに、既存媒体等の活用も再考します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業の情報を充実させるため、ホームページのページを増大 新たな広報媒体への取り組み検討・実施 ふくしだよりの紙面の充実 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進委員会、サロン活動、たすけあい有償活動などの小地域福祉活動の情報を多く発信できるようにホームページ内に新たな記事階層を構成した。各地区の取り組みを見える化し、ホームページのアクセス数も増えた。 災害ボランティアセンター設置運営訓練時にフェイスブックを活用し、試行的に情報発信を行った。また、視覚障がい者支援の一環としてふくしだよりのデイジー化を検討し、次年度より実施していく。 ふくしだより全号において全面カラーで発行し、見やすくなるよう取り組んだ。 		

事業名		② 情報管理の徹底		
事業種別・財源・担当係		新規	自主	総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 取扱いマニュアル等の作成を行うとともに、関係規程の見直しを検討しながら、情報管理の徹底を図ります。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 情報管理の徹底を図るために、マイナンバーの取扱研修などを実施 マイナンバーの情報管理を含めた個人情報保護に関するマニュアルの検討・策定 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護法改正の研修会に参加した。法改正の動向を確認しながら、次年度マニュアルを策定していく。 平成28年分の税務処理を行うにあたり、講師等のマイナンバーの写し提出のためのルールを定め、取扱いの説明を行い、適切に処理することができた。 		

3 在宅福祉サービスの再構築

(1) 介護保険法に基づく事業の実施

事業名		① 南部地域包括支援センターの機能強化		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・受託	高齢者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの構築を目指し、南部地域包括支援センターの機能強化を図ります。 地域住民の自助力向上を目指し、地域住民や地域団体に対して、介護予防教室等の事業を推進します。また、地域住民と専門機関が気軽に集い、交流できる“場”として「南なん亭」を開催し、地域住民の健康増進と自助力の向上を目指すとともに、相互の“壁”を低くし、連携を密にしながら共助力の向上につなげます。 住民主体の互助力強化を目指し、地域福祉推進委員会との連携を強化するとともに、従来の民生・児童委員やサロン代表者、コミュニティセンター運営協議会等だけでなく、平成 25 年度に多摩市高齢支援課で養成された介護予防リーダーと連携した事業展開を図りながら、地域の小・中学生やその保護者等の若い世代への認知症サポーター養成講座を実施し、高齢者を地域で支える包括的な体制づくりを目指します。 地域の関係機関を含む共助力の向上のために、まちづくり推進係と連携しながら地域づくりを進めるとともに、権利擁護センターや地域活動支援センターと連携し、相談機能の強化を目指します。 		
	事業計画	<p>多摩市において、平成 28 年 4 月から、地域包括支援センターの機能強化のため、基幹型包括支援センターを新たに設置するとともに、現在 6 か所の包括支援センターエリアを 5 か所に再編されることとなった。これに伴い、多摩社協では、多摩市と協議の上、平成 24 年 4 月より運営してきた南部地域包括支援センターについて平成 28 年 3 月末をもって廃止し、新たに設置される基幹型包括支援センターの一員として多摩市版地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。</p>		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 基幹型として、各地域包括支援センターが抱える困難ケース等について、関係機関と連携して対応にあたった。 		

	<ul style="list-style-type: none"> 多摩市内の認知症対策に係る各機関のネットワーク「オレンジの会」を立ちあげ、ネットワーク会議を毎月開催した。 地域課題解決のための地域ケア会議を随時開催した。認知症初期集中治療チームの活動状況、課題等を情報共有することで今後の展開を検討した。今後、現在実施できていない地域への展開について取り組んでいく。
--	--

(2) 地域活動支援センターの機能充実

事業名		① 地域活動支援センター I 型の機能強化		
事業種別・財源・担当係		継続	受託・自主	障がい者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 計画相談支援をスムーズに行うため、市やサービス提供事業所等との連携を深めるとともに、相談支援専門員のスキルアップを図ります。 相談支援事業の充実を図るため、まちづくり推進係や高齢者支援係と連携しながら、福祉なんでも相談やふれあい・いきいきサロン等にて専門職員を活用した身近な相談の機会を増やし、福祉サービスを受けずに埋もれている潜在的な相談ニーズを把握するとともに、家族・支援者などからの相談に留まらず、障がいの有無に関係なく誰もが気軽に相談できる場所・共生できる地域社会を目指します。 地域活動支援センターあんの事業を多くの方に知ってもらうために、様々な機会や媒体を活用して、利用者にとってわかりやすい福祉情報の発信や提供を行います。 ヘルプカードを様々な立場の人に対し、様々な場面で周知をしていくことで、日ごろから声をかけあえる関係づくりを支援していきます。 指定一般相談支援事業についての検討を行います。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 相談ケースの増加に伴う多種多様なケースに対応するため、職員のスキルアップを目的とした勉強会や研修に積極的に参加 計画相談支援の充実（サービス等利用計画の作成を市と調整し実施） 新規110ケース実施 専門職や関係機関と連携を図り、地域の方が身近に利用できるコミセン等で相談会を実施 民生委員をはじめ地域住民からの相談に対し、関係機関と連携を図り、適切な支援を行う 		

	<ul style="list-style-type: none"> •パンフレット等の配布や回覧、ホームページの定期的な更新等により、地域活動支援センターあんの周知を図るとともに、センター利用者を拡大 •ヘルプカードの継続的な配布 •【新規】高次脳機能障がい者の相談窓口として、関係機関と連携し支援の充実を図れるよう調整 •パンフレット等の配布や回覧、ホームページの定期的な更新等により、地域活動支援センターあんの周知を図るとともに、センター利用者を拡大 •ヘルプカードの継続的な配布
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> •相談員のスキルアップのため、各種研修への参加と職員間の情報共有を行った。 •計画相談支援契約者数は177人（内平成28年度新規契約者数は40人）、計画・モニタリング更新の計画作成数は345件を実施。 •地域の方が身近に相談できるよう、コミセンで実施している福祉なんでも相談（8か所）に相談員が同席し、相談窓口のPRと情報収集、高次脳機能障がいについてミニ講座を行った。 •高次脳機能障害者支援促進事業オープニング講演会「高次脳機能障害を知っていますか」を実施し、医師や家族による講演や関係機関の紹介などにより、事業の周知と障害理解を行った。 •「発達障がい」をテーマに講演会を実施し、発達障がいに対する理解と普及啓発、相談機関など役に立つ情報の提供ができた。 •福祉フェスタや多摩市防災訓練など市民が多く集まる機会にて地域活動支援センターあんのリーフレットを配布し、周知を図ることができた。また、事業案内のチラシを公共施設や関係機関へ設置することで利用者拡大につなげることができた。

(3) 老人福祉センター事業の実施

事業名		① 老人福祉センターの充実と地域展開		
事業種別・財源・担当係		継続	受託	高齢者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センターの機能を充実させ、高齢者の生きがいつくり、健康増進や活動を支援していきます。 認知症など健康状態の変化や孤立化等について、早期の支援につなげていけるよう、各包括支援センターと連携していきます。 講座や同好会をきっかけに、地域活動の担い手として高齢者が活躍できるよう事業を展開していきます。 サロンやコミセンで行われている講座や催し、単位老人クラブの活動内容等の地域情報を提供し、参加を促していくために、まちづくり推進係や多摩ボランティア・市民活動支援センター、多摩市老人クラブ連合会との連携を強化していきます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり推進係や多摩ボラセンと連携し、ラジオ体操などの講座や同好会活動を生かした地域活動への取組を推進する。 ラジオ体操講座、2 エリア 2 講座開講 寿大学の開講 ※新規参加者増員の取り組みを強化 新規講座を 2 講座開講し、新たな参加者の募集を募る。 講座は、過去 5 年間の受講歴から未受講者を優先して受講決定する。 文化・教養講座；10種12講座（英会話、書道、陶芸、キーボード、料理、オカリナなど） パソコン講座；7種23講座（初めてのパソコンと文字入力、ワードで文書編集など） 健康推進講座；9種12講座（気功、自彊術体操など） 講演講座(南なん亭)の実施（年6回） 同好会活動の支援 春の発表会の実施 センターだよりの発行（月1回） 福祉情報の提供手段の充実 		

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> • 同好会 1 団体は、老人福祉施設に出向き、年 2 回のボランティア活動を実施した。施設と調整の上、定期的にボランティア活動を継続することとなった。 • 老人福祉センター利用者（同好会活動者含む）に対し、地域福祉推進委員会の発行する各広報誌の配布閲覧やボランティアポイントの事業チラシを積極的に配布するなど、地域活動・ボランティア活動に関する広報を強化した。今後も継続して取り組んでいく。 • より多くの市民に老人福祉センターを利用・事業参加してもらうため、新規講座を開講するなどの事業展開を図った。 • 認知症サポーター養成講座や認知症ケアパスの配布・周知を図るなど認知症に関する啓発事業に取り組んだ。 • 振り込め詐欺や平成 29 年度道路交通法改正内容、高齢者消費者被害などについて多摩中央警察署等関係機関と連携して周知・防止活動に取り組んだ。 • 総合福祉センター指定管理事業者と連携し、将棋大会や南なん亭事業を実施することにより、より広く市民に総合福祉センターを周知するとともに、世代間交流等につなげた。
------	---

（４）意思疎通支援事業（地域生活支援事業）の充実

事業名		① 意思疎通支援事業の充実		
事業種別・財源・担当係		継続	受託	障がい者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 多摩市と連携し、手話通訳者並びに要約筆記者の人材の確保を図ります。 • 多様化する利用者のニーズに対応できるよう手話通訳者並びに要約筆記者の技術の向上を目指します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 多摩市と連携し手話通訳者・要約筆記者の人材を確保 • コーディネート担当者研修会等参加 • 医療や福祉サービス利用時における手話技術や、要約筆記技術の向上について、通訳者及び筆記者の意見を取り入れながら実施（スキルアップ研修の実施） 		
取組結果		<p>【派遣実績】</p> <p>○手話通訳者派遣件数 1, 048 件(前年度比 112 件減) (市登録手話通訳者派遣 923 件・都登録手話通訳者派遣；125 件)</p> <p>○要約筆記者派遣件数；106 件(前年度比 20 件増)</p>		

	<p>(市登録要約筆記者派遣；80件・都登録要約筆記者派遣；26件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩市地域生活支援事業運営要綱に基づく意思疎通支援事業を引き続き受託、実施した。 ・手話通訳者1人・要約筆記者6人が新規登録。 ・手話通訳者研修は手話技術研修・事例検討・場面通訳などを実施、要約筆記者研修は要約筆記技術研修・関連制度などを実施し、実際の通訳・要約筆記場面に役立てることができた。 <p>手話通訳者研修：外部講師6回 聴協講師等9回 開催 要約筆記者研修：外部講師4回 内部研修等3回 開催</p>
--	--

(5) 同行援護事業の経営安定化

事業名		① 同行援護事業の充実		
事業種別・財源・担当係		継続	自主	障がい者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・同行援護事業所として従事者の拡充を図ります。 ・近隣市の社協や関係機関と交流や情報交換を行うことにより、運営内容の充実を図ります。 ・利用者の多様なニーズに対応できるよう、内部研修を実施し、従事者の技術向上を目指します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしだより等へ登録者募集の掲載を行うと同時に、同行援護従事者養成研修所等への働きかけを行い、従事者を拡充 ・同行援護連絡会・フォローアップ研修等参加 年2回以上 ・スキルアップ研修の実施 年1回 ・従事者懇談会の実施 年1回 		
取組結果		<p>【派遣実績】</p> <p>○利用者契約者数 41人（前年度比3人減）</p> <p>○同行援護従事者登録者数 27人（前年度比3人減）</p> <p>○同行援護従事者派遣回数 月平均169.6回 （前年度比17回減）</p> <hr/> <p>○派遣時間 月平均549.9時間 （前年度比52.9時間回減）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同行援護従事者の確保については、募集チラシを作成し、都内同行援護従業者養成研修所やしごと相談会にて配布、ふくしだよりで登録募集するなど広報活動を行うことができた。 ・近隣市の社協との情報交換のため、同行援護事業所連絡会に参加し、事業所としての運営内容の向上を図り、内部研 		

修の検討・実施に役立てることができた。

- 外部講師による公共交通機関における支援方法の研修を11月・従事者懇談会を2月に開催し、適切な支援技術の習得と課題解決のための情報共有を行い、支援の向上に役立てることができた。
- サービス内容の充実を図るため、サービス担当者会議に出席、必要に応じて関係機関へ身体状況の報告を行い、利用者へのサービスのあり方の相談や支援方法の確認を行うことができた。

また、必要に応じて利用者宅を訪問し、利用者ニーズの把握を行い、支援方法を検討・実施することができた。

1. 組織運営		
(1) 三役会の開催	45
(2) 理事会の開催	45
(3) 評議員会の開催	45
(4) 監査の概要	47
(5) 各委員会の活動報告	48
(6) 各部会の活動報告	48
(7) 後援名義の使用許可状況	49
2. 連絡調整		
(1) 実習生の受入れ状況	50
(2) 講師の派遣	50
3. 普及・啓発		
(1) 会報「ふくしだより」の発行	51
(2) 福祉バザー	51
(3) 福祉フェスタ	52
(4) 福祉大会	52
4. 組織強化活動		
(1) 会員賛助金の状況	53
(2) チャリティーゴルフ大会	53
(3) 寄付金の状況	53
5. 助成事業		
(1) 収支の状況	54
(2) 福祉団体補助	54
(3) 老人クラブ連合会事業費補助金	54
(4) 自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金	55
6. 地域福祉活動の推進事業		
(1) 収支の状況	56
(2) 相談事業「福祉なんでも相談」	56
(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業	57
(4) 小地域福祉活動推進事業	63
7. たすけあい有償活動事業		
(1) 概要	69
(2) 収支の状況	69
(3) たすけあい有償活動実施状況	70
(4) 過去5年間の状況	70
(5) たすけあい有償活動協力員研修会	70
(6) たすけあい有償活動協力員懇談会	71
(7) たすけあい有償活動協力員説明会	71
訪問型サービスB		
(1) 概要	71
(2) 収支の状況	72
(3) 訪問型サービスB実施状況	72

8. ボランティア・市民活動推進事業

(1) 収支の状況	73
(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催	73
(3) ボランティア育成事業	74
(4) 地域出張相談事業	78
(5) 協力事業	78
(6) 地域出前事業	79
(7) ボランティア活動等振興助成金交付事業	81
(8) 関係機関との連携	81
(9) ボランティア基金・寄附金状況	82
(10) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況	82
(11) 多摩ボランティア・市民活動支援センター(ヴァイタ)利用登録者状況	82
(12) ボランティア相談状況	83
(13) 活動室・会議室利用状況及び機材貸出状況	83
(14) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況	84

9. 介護予防ボランティアポイント事業（多摩市受託事業）

(1) 概要	85
(2) 契約状況等	86
(3) 収支の状況	86
(4) 事業実施状況	86

10. 福祉サービス利用援助事業

(1) 概要	88
(2) 地域福祉権利擁護事業（東社協受託事業）	88
(3) 東京都福祉サービス総合支援事業（市補助事業）	89
(4) 成年後見制度利用支援業務（市補助事業）	89
(5) 実施事業	90

11. 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金（東社協受託事業）	93
(2) 小口資金	93
(3) 緊急援護事業	94
(4) その他（フードバンク事業）	94

12. 収益事業の実施

	95
--	----

13. 老人福祉センター事業（市受託事業）	
(1) 概要	96
(2) 契約状況等	96
(3) 収支の状況	97
(4) 利用状況	97
14. 障がい者地域活動支援センター事業（市受託事業）	
(1) 概要	100
(2) 契約状況等	101
(3) 収支の状況	101
(4) 利用登録状況	102
(5) 実施状況	102
15. 同行援護事業	
(1) 概要	108
(2) 収支の状況	108
(3) 同行援護活動実績	108
16. 意思疎通支援(手話通訳者派遣)事業（市受託事業）	
(1) 概要	110
(2) 契約状況等	110
(3) 収支の状況	111
(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績	111
17. 意思疎通支援(要訳筆記者派遣)事業（市受託事業）	
(1) 概要	112
(2) 契約状況等	112
(3) 収支の状況	113
(4) 要約筆記者の活動実績	113
18. 共同募金関係	
(1) 赤い羽根共同募金	114
(2) 歳末たすけあい運動募金	114
19. その他の事業	
(1) 車椅子貸出事業	115
(2) 東日本大震災復興支援事業	115
(3) その他の復興支援活動	116

1 組織運営

(1) 三役会の開催

第1回 (H28. 4. 7)	第7回 (H28. 10. 6)
第2回 (H28. 5. 6)	第8回 (H28. 11. 4)
第3回 (H28. 6. 2)	第9回 (H28. 12. 1)
第4回 (H28. 7. 7)	第10回 (H29. 1. 6)
第5回 (H28. 8. 4)	第11回 (H29. 2. 3)
第6回 (H28. 9. 1)	第12回 (H29. 3. 2)

平成 29 年 3 月 31 日現在の役員・評議員の状況

	理 事	監 事	評議員
定 数	1 5	2	4 0
現員数	1 5	2	3 9

(2) 理事会の開催

第1回 (H28. 5. 19)	出席者 14 名 (内 2 名欠席連絡票)
第2回 (H28. 6. 16)	出席者 14 名 (内 1 名欠席連絡票)
第3回 (H28. 9. 15)	出席者 14 名 (内 2 名欠席連絡票)
第4回 (H28. 11. 17)	出席者 15 名 (内 2 名欠席連絡票)
第5回 (H29. 1. 19)	出席者 14 名 (内 1 名欠席連絡票)
第6回 (H29. 2. 17)	出席者 13 名 (内 2 名欠席連絡票)
第7回 (H29. 3. 16)	出席者 15 名 (内 4 名欠席連絡票)

(3) 評議員会の開催

第1回 (H28. 5. 20)	出席者 25 名
< 審議事項 >	
第1号議案	経理規程の一部を改正する規程の制定について
第2号議案	第4次多摩市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
第3号議案	平成27年度事業報告について
第4号議案	平成27年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業区分資金収支計算書について
第5号議案	平成27年度社会福祉事業区分老人福祉センター運営受託事業拠点区分資金収支計算書について
第6号議案	平成27年度社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支計算書について
第7号議案	平成27年度社会福祉事業区分応急小口資金貸付事業拠点区分資金収支計算書について
第8号議案	平成27年度社会福祉事業区分歳末たすけあい運動事業拠点区分資金収支計算書について
第9号議案	平成27年度公益事業区分介護保険事業拠点区分資金収支計算書について
第10号議案	平成27年度収益事業区分自動販売機設置運営事業拠点区分資金収支計算書について

第11号議案	平成28年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算(第1号)について
第12号議案	平成28年度社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支補正予算(第1号)について
第13号議案	平成28年度公益事業区分介護保険事業拠点区分資金収支補正予算(第1号)について
第14号議案	第22期理事の選任について
第2回(H28.6.23) 出席者34名	
<審議事項>	
第15号議案	平成28年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算(第2号)について
第3回(H28.9.23) 出席者31名	
<審議事項>	
第16号議案	同行援護事業従事者設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
第17号議案	平成28年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算(第3号)について
第18号議案	平成28年度社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支補正予算(第2号)について
第19号議案	平成28年度公益事業区分介護保険事業拠点区分資金収支補正予算(第2号)について
第4回(H28.11.24) 出席者21名	
<審議事項>	
第20号議案	定款変更について
第21号議案	役員選任規程の一部を改正する規程の制定について
第22号議案	評議員選出規程の制定について
第23号議案	評議員選任・解任委員会運営規程の制定について
第24号議案	委員会規程の一部を改正する規程の制定について
第25号議案	部会規程の一部を改正する規程の制定について
第26号議案	会員規程の一部を改正する規程の制定について
第27号議案	苦情解決規程の一部を改正する規程の制定について
第28号議案	情報公開規程の一部を改正する規程の制定について
第29号議案	ヘルプカード作成等検討委員会設置要綱の廃止について
第30号議案	生活福祉資金調査委員会規程の廃止について
第31号議案	心身障害者(児)通所施設等緊急整備費交付要綱の廃止について
第32号議案	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の受託について
第33号議案	平成28年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算(第4号)について
第34号議案	平成28年度社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支補正予算(第3号)について

第5回 (H29. 1. 27)		出席者 28 名
< 審議事項 >		
第 35 号議案	小口資金貸付事業の不納欠損処理について	
第 36 号議案	平成 28 年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算 (第 5 号) について	
第 37 号議案	平成 28 年度社会福祉事業区分老人福祉センター運営受託事業拠点区分資金収支補正予算 (第 1 号) について	
第 38 号議案	平成 28 年度社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支補正予算 (第 4 号) について	
第6回 (H29. 3. 23)		出席者 28 名
< 審議事項 >		
第 39 号議案	多摩市第 2 層生活支援体制整備事業の受託について	
第 40 号議案	定款変更について	
第 41 号議案	役員選任規程の一部を改正する規程の制定について	
第 42 号議案	役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の制定について	
第 43 号議案	常務理事の職務等に関する規程の制定について	
第 44 号議案	常務理事の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の制定について	
第 45 号議案	評議員の費用弁償に関する規程の制定について	
第 46 号議案	部会規程の一部を改正する規程の制定について	
第 47 号議案	地域福祉活動計画推進委員会要綱の一部を改正する要綱の制定について	
第 48 号議案	平成 28 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算 (第 6 号) について	
第 49 号議案	第 4 次多摩市地域福祉活動計画の策定について	
第 50 号議案	平成 29 年度事業計画について	
第 51 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支予算について	
第 52 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分老人福祉センター運営受託事業拠点区分資金収支予算について	
第 53 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支予算について	
第 54 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分応急小口資金貸付事業拠点区分資金収支予算について	
第 55 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分歳末たすけあい運動事業拠点区分資金収支予算について	
第 56 号議案	平成 29 年度公益事業区分介護保険事業拠点区分資金収支予算について	
第 57 号議案	平成 29 年度収益事業区分自動販売機設置運営事業拠点区分資金収支予算について	

(4) 監査の概要

第 1 回 (平成 27 年度決算監査) (28. 5. 10) 出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。

第 2 回 (平成 28 年度中間決算監査) (28. 11. 7) 出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。

(5) 各委員会の活動報告

地域福祉活動計画推進委員会			
開催状況	第1回 (28. 11. 22)	出席者	4名
	第2回 (29. 3. 22)	出席者	5名

第4次多摩市地域福祉活動計画策定委員会			
開催状況	第1回 (28. 4. 26)	出席者	13名
	第2回 (28. 7. 25)	出席者	12名
	第3回 (28. 9. 30)	出席者	10名
	第4回 (28. 11. 9)	出席者	12名
	第5回 (29. 1. 18)	出席者	12名
	第6回 (29. 2. 24)	出席者	14名

多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会			
開催状況	第1回 (28. 4. 13)	出席者	12名
	第2回 (28. 5. 25)	出席者	9名
	第3回 (28. 7. 26)	出席者	11名
	第4回 (28. 8. 23)	出席者	9名
	第5回 (28. 8. 31)	出席者	9名
	第6回 (28. 10. 3)	出席者	10名
	第7回 (28. 10. 24)	出席者	6名
	第8回 (28. 11. 29)	出席者	9名
	第9回 (29. 1. 24)	出席者	9名
	第10回 (29. 3. 3)	出席者	10名

権利擁護センター運営委員会			
開催状況	第1回 (28. 5. 23)	出席者	5名
	第2回 (28. 10. 24)	出席者	5名
	第3回 (28. 12. 19)	出席者	6名
	第4回 (29. 2. 23)	出席者	5名

役員選考委員会			
開催状況	第1回 (28. 5. 13)	出席者	5名

(6) 各部会の活動報告

総務部会			
開催状況	第1回 (28. 4. 25)	出席者	7名
	第2回 (28. 5. 27)	出席者	7名
	第3回 (28. 7. 22)	出席者	8名
	第4回 (28. 11. 1)	出席者	7名
	第5回 (28. 12. 16)	出席者	9名
	第6回 (29. 2. 25)	出席者	9名

広報広聴部会			
開催状況	第1回 (28. 4. 18)	出席者	8名
	第2回 (28. 8. 8)	出席者	9名
	第3回 (28. 10. 4)	出席者	9名
	第4回 (28. 12. 6)	出席者	8名
	第5回 (29. 2. 9)	出席者	7名
	第6回 (29. 3. 29)	出席者	10名

イベント推進部会				
開催状況	第1回	(28. 9. 2)	出席者	8名
	第2回	(28. 11. 9)	出席者	8名
	第3回	(29. 1. 31)	出席者	8名

地域福祉まちづくり部会				
開催状況	第1回	(28. 7. 13)	出席者	13名
	第2回	(28. 9. 9)	出席者	13名
	第3回	(28. 12. 8)	出席者	14名
	第4回	(29. 3. 6)	出席者	13名

部会連絡会				
開催状況	第1回	(28. 5. 26)	出席者	5名
	第2回	(28. 11. 7)	出席者	7名

(7) 後援名義の使用許可状況

年度	24	25	26	27	28
後援名義使用許可件数	36件	33件	36件	33件	23件

2 連絡調整

(1) 実習生の受入れ状況

年度	人数	期間	学校名
23	3	H23. 8. 18～9. 8 (16日) 1人	大妻女子大学
		H24. 2. 1～3. 6 (24日) 1人	大妻女子大学
		H24. 2. 1～3. 9 (25日) 1人	桜美林大学
24	2	H25. 2. 1～3. 8 (24日) 1人	大妻女子大学
		H25. 2. 1～2. 13 (8日) 1人	桜美林大学
25	5	H25. 8. 1～9. 10 (24日) 1人	大妻女子大学
		H25. 8. 1～9. 10 (24日) 1人	聖徳大学
		H26. 2. 3～3. 7 (24日) 2人	大妻女子大学
		H25. 8. 1～8. 9 (7日) 1人 (社会教育実習)	立教大学
26	5	H26. 8. 1～9. 12 (24日) 2人	大妻女子大学
		H27. 1. 29～3. 6 (24日) 1人	大妻女子大学
		H27. 2. 16～2. 24 (8日) 2人	大妻女子大学
27	6	H27. 8. 3～9. 11 (24日) 2人	大妻女子大学
		H27. 8. 3～9. 1 (18日) 1人	大妻女子大学
		H27. 10. 2～11. 10 (24日) 1人	明星大学
		H28. 2. 1～3. 7 (24日) 2人	大妻女子大学
28	5	H28. 8. 1～9. 8 (24日) 2人	大妻女子大学
		H28. 10. 3～11. 15 (24日) 2人	明星大学、武蔵野大学
		H29. 2. 1～3. 8 (24日) 1人	大妻女子大学

(2) 講師の派遣

年度	日数	テーマ	学校名
23	1	社会福祉協議会の仕事と専門職の役割	大妻女子大学
24	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
25	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課	
26	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課	
	1	社会福祉協議会の役割とボランティア通信での連携について	多摩大学(中村その子ゼミナール)
	1	ふくしだよりを通じた社会福祉協議会の活動について	
27	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	
28	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	

3 普及・啓発

(1) 会報「ふくしだより」の発行

単位：円

年度	発行数	配布方法	内 容	広告収入	発行経費
23	年6回発行 (5・7・9・ 11・1・3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞折り込み（一部ポスティング） ・公共施設、郵便局、駅、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付（録音テープを視覚障がい者に送付） 	タブロイド版 51,700部	262,000	3,218,202
24				354,000	2,671,059
25		<ul style="list-style-type: none"> ・ポスティングによる全戸配布（平成25年度から実施） ・公共施設、郵便局、駅、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付 	タブロイド版 72,000部	399,000	3,386,234
26				タブロイド版 70,000部	375,000
27			543,000		4,601,876
28			397,000		3,674,987

(2) 福祉バザー

単位：円

年度	日時	場所	バザー等収入	バザー経費	収益額	備考
24	24.11.4(日) 10:00 ～15:00	東永山複 合施設	556,479 (443,650)	739,145	△182,666	協力：10団体 参加：22団体
25	26.2.22(土) 11:00 ～15:00	総合福祉 センター	519,815 (335,315)	135,890	383,925	協力：10団体 参加：24団体 ※2.19～21までプレバ ザー実施
26	27.1.24(土)、 2.18(水) ～21(土) 10:00 ～15:00	ヴィータ 及び総合 福祉セン ター・ア クアブル ー多摩	470,362 (404,870)	88,599	381,763	ボランティアまつり、春 の発表会、福祉大会の開 催日に合わせて実施
27	27.10.18(日)、 28.2.24(水) ～27(日) 10:00 ～15:00	総合福祉 センター	678,401 (643,711)	41,256	638,645	福祉フェスタ、春の発表 会、福祉大会の開催日に 合わせて実施
28	28.10.16(日)、 29.2.22(水) ～25(土) 10:00 ～15:00		734,905 (570,365)	64,984	669,921	

※バザー等収入額は、バザー出店参加費、飲み物販売、寄附金等その他収入を含む。

()内の数字はバザーのみの収入額

(3) 福祉フェスタ

年度	日時	場所	来場者数	内容	備考
27	27. 10. 18(日) 10:00 ～16:30	総合福祉センター およびアクアブル一多摩	約 4,000 人	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施） ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん ・東日本大震災復興支援フェア ・特別企画「被災地復興の現状について」（講演：石巻元気復興センター）、「ライブ 手話ソング」（出演：水戸真奈美氏） 	協賛・協力：32 団体 参加：54 団体 協力者（ボランティア） 74 人
28	28. 10. 16(日) 10:00 ～15:30	総合福祉センター およびアクアブル一多摩	約 4,500 人	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施） ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん 	協賛・協力：27 団体 参加：63 団体 協力者（ボランティア） 62 人

(4) 福祉大会

年度	日時	場所	内容	参加者
24	25. 2. 24(日) 13:00 ～15:15	総合福祉センター3階 多目的フロア	第1部 式典（表彰状：個人 18 人、感謝状：個人 2 人・11 団体） 第2部 多摩テュッティ弦楽合奏団「ストリングスコンサート」	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 25 人 ・来賓者 16 人 ・来場者 60 人 ・出演者 54 人（関係者含む）
25	26. 2. 22(土) 9:30 ～10:10		式典（表彰状：個人 15 人、感謝状：個人 3 人、17 団体） ※法人化 40 周年記念福祉大会として記念誌を作成し、配布	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 24 人 ・来賓者 21 人 ・来場者 40 人
26	27. 2. 21(土) 10:00 ～16:30	総合福祉センターおよびアクアブル一多摩	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表等 ・式典（表彰状：個人 27 人、感謝状：個人 9 人、11 団体） ・多摩市長による講演会「多摩市版地域包括ケアシステムについて」・社協会長との対談 協力：2 団体、参加：30 団体、協賛：6 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 31 人 ・来賓者 18 人 ・来場者 3,000 人
27	28. 2. 27(土) 10:00 ～16:30		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表、無料映画上映会 ・式典（表彰者：個人 20 人、感謝状：個人 5 人、18 団体）（東京都共同募金会多摩地区協力会感謝状：4 団体） ・多摩市医師会会長（田村豊氏）による講演「医療と福祉の連携～いつまでも元気で楽しく暮らしていくには～」 協力：1 団体、参加：21 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 38 人 ・来賓者 19 人 ・来場者 1,800 人
28	29. 2. 25(土) 10:00 ～16:00		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表 ・式典（表彰者：個人 30 人、6 団体）感謝状：個人 8 人、14 団体） ・映画「無念」チャリティ上映会 協力：1 団体、参加：32 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 39 人 ・来賓者 20 人 ・来場者 1,800 人

4 組織強化活動

(1) 会員賛助金の状況

区分・単価 (円)	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
	件数	会費(円)	件数	会費(円)	件数	会費(円)	件数	会費(円)	件数	賛助金(円)
個人会員 @500以上	2,916	1,458,000	2,534	1,267,000	2,559	1,279,500	3,497	2,377,547	3,320	2,287,211
団体会員 3,000以上	96	327,000	111	374,000	126	428,500	134	463,500	151	504,000
賛助会員 1,000以上	846	1,020,500	806	968,000	793	961,000				
特別会員 10,000以上	82	1,010,000	72	845,000	86	975,000	95	1,075,000	102	1,245,000
合計	3,940	3,815,500	3,523	3,454,000	3,564	3,644,000	3,726	3,916,047	3,573	4,036,211

(2) チャリティーゴルフ大会

単位：円

年度	日にち	場所	参加者	参加費 収入	協賛 収入	大会 経費	収益額	備考
24	24.6.25 (月)	桜ヶ丘 カントリー クラブ	171人	522,000	676,730	506,520	692,210	協賛： 42団体、個人3人
25	25.6.24 (月)		157人	480,000	605,651	453,296	632,355	協賛： 41団体、個人4人
26	26.6.23 (月)		176人	455,000	587,498	381,696	660,802	協賛： 45団体、個人3人
27	27.6.29 (月)		143人	302,000	417,200	68,768	650,342	協賛： 40団体、個人5人
28	28.6.27 (月)		162人	332,000	371,400	70,987	632,413	協賛： 41団体、個人4人

(3) 寄付金の状況

単位：円

区分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
一般寄付		970,195	1,332,287	6,467,146	1,209,746	2,028,021	2,699,502
指定 寄付	ボランティア 基金	147,169	168,734	50,000	68,810	61,000	15,285
	ボランティア・ 市民活動支援	-	150,000	466,794	365,377	595,245	181,347
	小地域 福祉活動	-	-	11,122	100,000	95,000	18,687
合計		1,117,364	1,651,021	6,995,062	1,743,933	2,779,266	2,914,821

5 助成事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,805,000	4,540,550	94.5	4,599,000	4,100,000	89.1

② 支出の状況

単位：円

区分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,805,000	4,047,550	84.3	4,599,000	3,878,972	84.3

(2) 福祉団体補助

①平成28年度実績

目的	団体へ補助することで、地域福祉の充実と発展を図る。	
補助団体	14団体	
	① おしゃべりノササゲの会	(パーキンソン病患者と家族の会)
	② くぬぎ	(知的障がい児者と保護者の会)
	③ サンクラブ多摩	(精神障がい者の家族会)
	④ 多摩市失語症友の会こだま	(失語症当事者の会)
	⑤ 多摩市視覚障害者福祉協会	(視覚障がい者当事者の会)
	⑥ 多摩市手をつなぐ親の会	(知的障がい児者と保護者の会)
	⑦ 多摩市遺族会	(遺族会)
	⑧ 多摩市身体障害者福祉協会	(身体障がい者当事者の会)
	⑨ 多摩市手をつなぐ育成会	(全日本手をつなぐ育成会加入団体)
	⑩ 多摩市聴覚障害者協会	(聴覚障がい者当事者の会)
	⑪ 多摩草むらの会	(精神障がい者と家族の会)
	⑫ 多摩やまばと会	(原爆被爆者の会)
	⑬ プレイルームゆづり葉の家	(知的障がい児者の会)
⑭ ほほえみ	(母子家庭の会)	
補助金額	総額 2,464,440円 (内訳) ①事業費 2,270,000円 (14団体) ②平和式典参加費 194,440円 (1団体)	

②過去5年間の状況

単位：円

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
補助団体	14団体	14団体	14団体	14団体	14団体
補助総額	2,821,160	2,821,160	2,801,927	2,406,958	2,464,440

(3) 老人クラブ連合会事業費補助金

連合会が行う事業に要する経費の一部を補助することにより、高齢者間の交流や親睦、連合会の活動の活発化を図る。

補助団体：多摩市老人クラブ連合会

補助金額：150,000円(年額) ※会報紙に充当

(4) 自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金

自治会・住宅管理組合が行う地域での福祉活動（地域のまつり、敬老事業、防災・文化活動等）に関する事業に対して助成することで、地域の福祉の振興を図る。

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
対象団体	自治会	95団体	94団体	94団体	94団体	93団体
	管理組合	97団体	100団体	101団体	101団体	105団体
	計	192団体	194団体	195団体	195団体	198団体
助成団体	自治会	18団体	19団体	26団体	31団体	36団体
	管理組合	24団体	30団体	31団体	34団体	35団体
	計	42団体	49団体	57団体	65団体	71団体
助成総額		840,000	980,000	1,117,700	1,286,750	1,407,550

単位：円

※上限額：1団体2万円

※申請受付期間：4月1日～6月30日（交付決定8月）

6 地域福祉活動の推進事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,797,000	3,157,585	65.8	4,203,000	2,905,086	69.1

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,797,000	2,892,285	60.3	4,203,000	2,445,373	58.1

(2) 相談事業「福祉なんでも相談」

①平成28年度実績

開催会場 開催日時	①愛宕かえで館 第2木曜日 (午後2時～4時・10回実施) ②ひじり館 第3金曜日 (" "・10回実施) ③貝取こぶし館 第1月曜日 (午後1時～3時・12回実施) ④わいわいショップ第2火曜日 (" "・11回実施) ⑤百草団地 第4水曜日 (" "・10回実施) ⑥トムハウス 第2火曜日 (12時30分～午後1時30分・9回実施) ⑦からきだ菖蒲館 第3火曜日 (午後2時～4時・10回実施) ⑧桜ヶ丘(サロン内) 第4木曜日 (午後2時～4時・11回実施)
内 容	地域住民の身近な相談を関係する団体等と適切につなぐことで、問題の早期発見と予防に努めるとともに、本協議会や福祉サービスの情報提供及びPRを図る。 多摩ボランティア・市民活動支援センター及び権利擁護センターと連携し、専門相談への対応を図る。
対 象 者	市民全般
相談件数	相談件数58件(高齢47件、障がい6件、その他5件) 事業参加者235人 *前年度同期99件(高齢62件、障がい5件、その他32件) 事業参加者229人
連 携 者 (団体)	コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター 多摩ボランティア・市民活動支援センター、権利擁護センター 地域活動支援センターあんど、消費生活センター

②過去5年間の状況

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
相談件数	69	68	114	99	58

(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業

①平成28年度実績

内 容	小地域福祉活動推進にあたり、住民主体で行う地域でのサロン活動の推進と支援を行う。 登録団体への支援内容 <活動方法・内容等の相談、情報提供、人材紹介、保険料の負担> <活動費の補助・・・1年目2万円、2年目1万円、3年目以降5千円> ※要綱改正により、平成28年度から登録6年目以降のサロンに対して助成金を交付し、サロン活動の継続支援を行っている。 ・保険加入団体63団体 保険料総額 486,800円
対象団体	市内の任意の市民団体
連携者 (団体)	サロン活動団体、地域包括支援センター、多摩市、民生・児童委員

②過去5年間の状況

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
登録団体数	43	46	43	52	63
助成団体数	22	25	20	23	54
助成総額 (単位：円)	240,000	200,000	175,000	275,000	475,000

③ふれあい・いきいきサロン説明会

開催日時	第1回 平成28年 7月26日(火) 午前10時～11時30分 第2回 平成29年 2月14日(火) 午前10時～11時30分
会 場	第1回 関戸公民館 第1会議室 第2回 永山公民館 視聴覚室
内 容	ふれあい・いきいきサロンの概要、登録の流れについて説明 サロン活動体験談 第1回 一ノ宮けやきサロン 第2回 おしゃべり広場
対象者	多摩市民
参加者	第1回 4人 第2回 4人

④サロン交流会

開催日時	平成29年 2月 1日(水) 午後2時～4時
会 場	総合福祉センター 多目的フロア、研修室
内 容	平成29年度サロン登録および助成金申請の手続きに関する説明 サロン交流会(サロンで出前講座等を行う団体の紹介・体験、情報交換)
対象者	多摩市民
参加者	サ ロ ン 39団体 59人 協力団体 8団体 20人 地域包括支援センター 4箇所 5人

平成28年度ふれあい・いきいきサロン等活動状況一覧

◎本協議会登録サロン

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
1	第① エリア	サロン河原倶楽部	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第2土曜日	H21	無
2		この指とまれ	ポロン(関戸4丁目)	毎月第1~4月曜日、 第1火曜日、第3木 曜日、第1土曜日	H21	有
3		関戸みのり会	関戸第一クラブ集会所 (関戸5丁目)	隔月第1木曜日	H25	無
4		関戸さくら会	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第1週1回	H27	有
5		一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所	毎月第3水曜日	H27	有
6		にぎやか喫茶	個人宅(関戸2丁目)	毎月第3木曜日	H28	有
7		たまりばらんど	個人宅(一ノ宮4丁目)	毎月第3火曜日	H28	有
8	第② エリア	連光寺志学サロン	連光寺志学サロン (連光寺2丁目)	毎月5日・20日	H20	有
9		京王一ノ宮サロン	京王一ノ宮集会所 (連光寺4丁目)	毎月第4木曜日	H21	有
10		にじの会	向ノ岡集会所 (連光寺1丁目)	毎月10日	H21	有
11		ふれあいサロン 「すずめのお宿」	エステート聖ヶ丘-3集 会所	毎月第3木曜日	H22	有
12		都営聖ヶ丘1丁目ふれ あいサロン	都営聖ヶ丘1丁目アパー ト自治会集会所	毎月1回(不定期)	H12	有
13		聖ヶ丘2丁目東サロン ”気まま会”	エステート聖ヶ丘2丁目 東団地集会所	毎週月・火・水・金・ 土・日曜日	H22	有
14		聖ヶ丘灯火サロン	聖ヶ丘4丁目集会所	毎月第4土曜日	H23	有
15		サロン ボンジュール	聖ヶ丘2丁目集会所	不定期	H24	有
16		いきいきローズ	木の実公園集会所 (連光寺3丁目)	毎週水曜日	H27	有
17		木の実サロン	木の実公園集会所 (連光寺3丁目)	毎月第2火曜日	H27	有
18		ハマナスの会	聖ヶ丘3丁目南集会所	毎月第3金曜日	H27	有
19		日の出サロン	木の実公園集会所 (連光寺3丁目)	第3・4木曜日	H28	有
20	第③ エリア	にこにこサロン	桜ヶ丘集会所 (桜ヶ丘1丁目)	毎週木曜日	H24	有

N0	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
21	第④エリア	三方の森ふれんど広場	三方の森コミュニティ会館	毎月第2土曜日	H28	有
22	第⑤エリア	いきいきサロン和田	和田集会所 (和田3丁目)	毎月第4日曜日	H22	有
23		もえぎサロン	貝取クラブ集会所 (貝取1丁目)	毎月第1金曜日	H16	有
24		サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取2集会所	毎月第2土曜日	H23	有
25		愛宕第一住宅サロン	愛宕第一住宅集会所(愛宕1丁目)	毎週水・土曜日	H26	有
26		愛宕村いどばた会	愛宕2丁目住宅管理組合集会所	毎月第3木曜日	H26	有
27		三友の会	愛宕3丁目集会所	毎月第2・4火曜日	H28	有
28		夢サロン	愛宕4丁目都営団地集会所	毎月第4火曜日	H28	有
29	第⑥エリア	ひまわりの会	個人宅(諏訪2丁目)	毎月第2木曜日	H26	有
30		F棟みまもりサポート	諏訪2-4F棟	毎月第3木曜日	H28	無
31	第⑦エリア	永山3-1ふれあい	永山3-1集会所	毎月第3木曜日	H15	無
32		健康麻雀友の会	東永山複合施設・落合複合施設	毎週火・木・土・日曜日	H17	無
33		エステート永山-3 “ふれあいサロン”	エステート永山3集会所	毎週金曜日	H19	無
34		瓜生サロン	瓜生集会所 (永山6丁目)	毎月第3火曜日、毎月5日	H21	有
35		いきいきサロン・メゾネット永山	メゾネット永山5団地集会所	毎月第1火曜日	H24	有
36		サロン5-21	タウンハウス永山5集会所	毎月第3週1回	H27	有
37		ネットワーク永山「体操サロン」	東永山複合施設	毎月第2火曜日	H28	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
38	第⑧ エリア	月曜会	グリーンメゾン貝取2 集会所	毎月第1・3月曜日	H11	有
39		豊ヶ丘5-3懇話会	豊ヶ丘5-3集会所	毎月第1週1回	H9	有
40		豊ヶ丘4-1 ふれあいおしゃべりサ ロン	豊ヶ丘4-1集会所	毎月第3水曜日	H16	有
41		ふれあいサロン 『木の葉』	豊ヶ丘5-1集会所	毎月第3週1回	H18	有
42		碁楽会	豊ヶ丘市民ホール	毎週月・水・金・土 曜日	H15	有
43		みのりの会	都営貝取2丁目団地集 会所	毎月第1木・第3金 曜日	H18	無
44		豊ヶ丘3-3 ふれあ い会	豊ヶ丘3-3集会所	毎月第1月曜日	H19	有
45		ふれあいサロン貝取4 -4	貝取4-4集会所	毎月第2土曜日	H21	有
46		ご近所ふれあいの会	貝取5丁目UR集会所	毎月第2火曜日	H23	有
47		サロン・コスモ	コスモフォーラム多摩 カルチャールーム(豊 ヶ丘3丁目)	毎月第3金曜日	H24	有
48		茶ロン つむぎ	エステート貝取-2 住宅管理組合集会所	1か月前にスタッフ 会議でその都度決 める	H25	有
49		南野カフェ	パルシステム東京 多摩セ ンター交流ルーム	毎月第3月曜日	H28	有
50		いきいきサロン「げん き会」	貝取・豊ヶ丘集会所	毎月第3土曜日	H28	有
51		第⑨ エリア	グリーンメゾン鶴牧3 環の会	グリーンメゾン鶴牧3 集会所	毎週木曜日	H15
52	三々五々の会		落合3-3集会所	毎月第1水曜日	H19	有
53	ぷろむな〜ど・サロン		プロムナード多摩中央 団地集会所 (落合5丁目)	毎月第3水曜日	H20	有
54	落合4の3園芸有志会		落合4-3集会所	毎月第1・3土曜日、 第2・4・5日曜日	H22	無
55	鶴三会		タウンハウス鶴牧3集 会所	毎月第3木曜日	H24	有
56	木曜サロン		落合3-4集会所	毎週木曜日	H25	有
57	鶴5東町会親睦会		鶴牧5丁目集会所	毎月第2月曜日	H26	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
58	第⑨ エリア	落合4の3おはなし会	落合4-3集会所	毎月第2・4火曜日	H27	有
59		「喫茶くすのき」	タウンハウス鶴牧4集会所	毎月第4木曜日	H27	有
60		ふれあい サロン 結	落合4-4集会所	毎月第3水曜日	H27	有
61		おしゃべり広場	グリーンコープ落合団地集会所	毎月1回(不定期)	H28	有
62		南野3丁目ふれあいサロン	南野3丁目集会所	毎月第2土曜日+平日1日	H28	有
63	第⑩ エリア	ハイライズ親睦の会	鶴牧6-16集会所	毎月第2日曜日	H19	有

*登録サロンについては、サロン保険の保険料を本協議会にて全額負担

◎連携サロン(社協サロン登録をおこなわず活動しているサロン。社協は、サロン活動における相談支援・サロン交流会などにおける情報交換の機会の提供などの連携を図っている)

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	④	百草井戸端サロン	UR 第二集会所	第2水曜日	H15	
2	⑥	カレーの日(馬引沢団地ボランティアクラブ)	馬引沢団地自治会集会所	第2水曜日	H9	
3		ホームタウン諏訪1-71 やまももの会	ホームタウン諏訪集会所	奇数月最終土曜日	H16	元社協登録サロン
4		歌の輪サークル	グリーンメゾン集会所	第2火曜日	H23	元社協登録サロン
5	⑨	落合3-2自治会ふれあいサロン	落合3-2自治会集会所	毎週火曜日	H8	

◎諏訪支部によって実施されているサロン

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
1	第⑥エリア	茶話会（諏訪2丁目）	諏訪2丁目住宅管理組合集会所	第1月曜日	H17	無
2		茶話会（諏訪5丁目）	諏訪5丁目自治会集会所	第1木曜日	H18	有
3		茶話会（諏訪1丁目）	永山ハウス	第3木曜日	H20	無
4		茶話会（諏訪4丁目）	諏訪4-1 談話室	第4木曜日	H24	有

◎ラウンジ

（サロン活動の中で、毎週1回以上の開催、小イベントの実施など一定の条件を満たす活動）

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	第⑥	諏訪4丁目 ふらっとラウンジ	諏訪4丁目自治会 談話室とその周辺	毎週月曜日、 第1・3・5金曜日、 第2・4土曜日	H19	
2		諏訪5丁目 ぶらっとラウンジ	諏訪5丁目集会所と その周辺	毎週土曜日	H21	

(4) 小地域福祉活動推進事業

地域住民ニーズの把握や住民自らが福祉課題を共有化し、それぞれの地域の個別課題の解決に向けて協議する場として、コミュニティエリア内の自治会・住宅管理組合、民生委員、地域包括支援センター、福祉団体ボランティア、コミュニティセンター運営委員会や社協役員とともに「地域住民懇談会」を開き、適宜「地域福祉推進委員会」の設置など地域の組織化につなげていく。また、地域福祉推進委員会を通じて、地域住民がさまざまな地域課題解決に取り組めるよう支援する。

①平成28年度実績（小地域福祉活動状況）

エリア名	小地域福祉活動の進捗状況
<p>第1エリア (関戸・一ノ宮)</p>	<p><関戸エリア> ■まち育てネットワーク・関戸 *委員会：6回開催 ：延べ68団体100人参加 *世話人会：6回開催 [定例の委員会内での取り組み] ※定例の委員会では、事業の進捗確認と情報交換を実施 [委員会企画事業] ・多摩中学校宿泊訓練への参加協力[5月] ・関戸まち歩き一ノ宮コース実施[6月]：13人参加 ・ホテル狩り交流会[7月]：15人参加 ・スポーツ吹矢体験交流会[7月]：つむぎ館との連携。20人参加 ・男のサンピンメシ[7月]：4人参加、世話人4人 ・関戸3丁目出前サロン～まちの縁側～[7月]：33人参加 ・関戸の伝統文化を体験しよう[10月]：多摩中との連携。29人参加 ・つむぎ館まつり出展[10月]：まちの縁側 ・関戸まち歩き百草・和田編[11月]：33人参加（愛宕エリアとの交流企画） ・地域ふれあいフォーラム TAMA 出展[1月]：まちの縁側 ・せきどしゃべり Ba[3月]：井上正吉氏の関戸今昔物語。32人参加 *広報紙：「まちネット・関戸だより」 第4号 [8月] 600部発行 第5号 [1月] 600部発行 *多摩第一小学校放課後教室ボランティア協力：12回実施 多摩第一小学校 PTA との打ち合わせ：1回実施 *サロン登録：「にぎやか喫茶」 *連携サロン：「3丁目かわせみ会」 <一ノ宮エリア> *サロン登録：「たまりばらんど」</p>
<p>第2エリア (連光寺・聖ヶ丘)</p>	<p>■連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会 *委員会：6回開催 ：延べ146団体246人参加 *世話人会：11回開催 [定例の委員会内での取り組み] ・2016年度テーマ「世代間交流」を進めるために4グループに分かれて、討議・活動（イベント企画、多摩大連携、子育て支援、高齢者支援） <イベント企画グループ> ・お花見 [4月] 33人参加 ・世代間交流バーベキュー [11月] 46人参加 <多摩大連携グループ> ・プレゼミ「地域マップ作成プロジェクト」 [10月] 8人参加(他多摩大学生14人) ・防災意識アンケート調査 回収数約300</p>

	<p>(聖ヶ丘中学校・聖ヶ丘小学校・連光寺小学校) 各防災訓練で実施 <子育て支援グループ> ・「連光寺・聖ヶ丘子ども祭り～みんなで遊ぼう昔遊び～」実施 [3月] 62人参加 (幼児2人・小学生34人・大人25人) <高齢者支援グループ> ・聖ヶ丘小学校全児童との地域清掃活動 [10月] 40人参加</p> <p>*各部会の活動 ○広報部会 ・広報紙「ふくしポスト」 第13号 [5月] 3,000部発行 第14号 [9月] 4,000部発行 第15号 [1月] 3,500部発行</p> <p>○事業部会 ・テーマ「星先生によるピンピンコロリの健康講座」 [12月] 参加者 70人</p> <p>*聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施 (ひじり館) 10回実施</p> <p>*サロン登録：「日の出サロン」「都営聖ヶ丘1丁目ふれあいサロン」</p>
<p>第3エリア (桜ヶ丘)</p>	<p>■桜ヶ丘まちネット *委員会：2回開催 ：延べ25団体46人参加</p> <p>*世話人会：11回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ※定例の委員会では情報交換・地域課題討議等を実施 〔委員会企画事業〕</p> <p>*普及啓発講座の実施：昨年度からの継続講座として「いつまでも住み慣れた地域で暮らしていくために～第2弾」テーマで、あいクリニック中沢の院長 亀谷氏を講師に迎え、地域住民を対象に講座を実施 (68人参加) [10月]</p> <p>*広報紙：「さくらの丘だより」 第8号 [4月] 2,500部発行 第9号 [8月] 2,500部発行 第10号 [12月] 2,700部発行 (拡大号として発行・参加団体の活動を掲載)</p> <p>*集会所でサロン活動 (毎週木曜) 45回開催 延べ約1,390人参加</p> <p>にこにこサロン ・福祉なんでも相談の実施 (にこにこサロン内)：10回実施 (連携奇数月：西部地域包括支援センター)</p> <p>*桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 ・「ゆう桜ヶ丘夏祭り」への運営の協力 ・普及啓発講座の共催実施 [10月]</p>
<p>第4エリア (東寺方、和田、百草、落川)</p>	<p><百草団地周辺エリア> ■三方の森ふれんど *委員会：6回開催 ：延べ55団体117人参加</p> <p>*世話人会：10回開催 〔委員会企画事業〕</p> <p>*防災イベントの実施：(多摩市百草団地自治会自主防災組織、百草団地防災対策委員会共催) (65人参加) 防災イベントをきっかけに地域交流となるよう炊き出し試食会も行った。</p> <p>*普及啓発講座の実施：「いつまでも住み慣れた地域で暮らしていくために」 講師：めぐみ会田村クリニック理事長 田村 豊氏 対象：多摩市および近隣市住民 (78人参加) [10月]</p>

	<p>*広報紙：「三方の森ふれんど広場だより」を3月創刊</p> <p>*三方の森でサロン活動 <u>三方の森ふれんど広場</u> (第2土曜日) 8回実施 延べ参加人数238人</p> <p>*その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施(三方の森コミュニティ会館)：10回実施 (連携：西部地域包括支援センター) ※高齢者を対象の脳トレ、「おたっしや21」、「認知症について」「地域活動支援センターあんど」紹介(高次脳機能障がいミニ講座) <p><東寺方エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会夏祭り参加、東寺方福祉館の元気アップ体操参加
<p>第5エリア (愛宕・乞田)</p>	<p><愛宕エリア></p> <p>■ほほえみネットワーク・愛宕</p> <p>*委員会：3回開催 ：延べ20団体131人参加</p> <p>*世話人会：10回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害時に役立つ福祉用具展示・体験会」[9月] ・「ピンピンコロリのコロリを極める」-首都大学東京 名誉教授星旦二氏による講座- [2月] ・「今年度の振り返りと来年度の取り組みについて」テーマ：愛宕の「そこから」再発見 [3月] <p>[委員会企画事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おむすびプロジェクト 4会場にて実施[6月7月] ※おむすびを一緒に作り、顔見知りを増やすコミュニティ向上を意図したイベント 220人参加 ・出張サロン「ほほネットサロン」を五番街集会所で開催[3月] 20人参加 <p>*広報紙：「ほほえみ通信」 第2号 [9月] 3,500部発行</p> <p>*愛宕コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施：10回実施 ・かえで館まつりへの参加[10月] ※後藤はり・きゅう整骨院の協力により、痛活セミナーを実施 ・かえで館利用者懇談会出席[2月] <p>*その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたご連協夏祭り[7月] ・あたご連協運営委員総会 出席[5月] ※地域での取り組みについて事業報告 ・あたご地区自治連合協議会「新年情報交換会」出席[1月] ※地域での取り組みについて事業報告 <p>*サロン登録：「三友の会」「夢サロン」</p> <p>*他委員会との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1エリア(関戸・一ノ宮)まちネット・関戸「まちあるき」に世話人が参加し親睦を深める[11月]

<p>第6エリア (馬引沢・諏訪)</p>	<p>■馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会 *委員会：6回開催 ：延べ75団体132人参加 *世話人会：12回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 *本年度のテーマ「地域パトロールマップ作成とまち歩き」 ・「これからの多摩市はどうなるの？健幸都市(スマートウェルネシティ)ってなに？」～多摩市健幸まちづくり推進室長に聞く！～ [4月] ・地域パトロールマップ作成ワーク・まち歩きルート検討[6月] [8月] ・「防犯まち歩きで地域再発見」[10月] ・見守ウォーキングスタート説明・広報紙紙面検討 [12月] ・平成 29 年度に向けて取組み案検討ワーク「子ども」に関して地域で出来ることは… [2月] *広報紙：「ささえ愛」 臨時号 [8月] 3,500部発行 第5号 [2月] 4,500部発行 *サロン登録：「F棟見守りサポート」</p>
<p>第7エリア (永山)</p>	<p>■福祉のネットワーク永山 *委員会：6回開催 ：延べ103団体167人参加 *世話人会：12回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ・おたっしや健診の紹介とネットワーク永山体操サロンの開始に向けて[5月] ・青少年問題協議会活動紹介と防災食「パッキング」体験[7月] ・永山地区の犯罪被害の実態と防犯のポイント[9月] ・中部地域包括支援センター移転と中部高齢者見守り相談窓口について[11月] ・永山の縮図「福祉亭の現状」 [1月] ・1年間の振り返りと 29 年度に向けたグループワークを実施「居場所」「地域交流」「見守り」「健康と介護予防」[3月] 〔委員会企画事業〕 ・「永山地区サロン交流会」開催[9月] 10団体22人参加 ・「認知症セミナー」実施[12月]：認知症専門医杉山医師による講座をケアプラザ多摩みのるホールにて実施 52人参加 ・「痛活セミナー」実施[2月]：馬引沢後藤整骨院後藤院長による「運動を通じて痛みと上手に付き合う」講座と体操体験実施 45人参加 *交流 ・「まち歩き」開催（毎月第2火曜日：11回開催） 354人参加 ・「さんぽ会」（毎月第1・3水曜日） 瓜生小PTA子どもの安全体験教室、避難訓練（集団下校付添）参加 *見守り ・見守りウォーキング（毎月第2・4月曜日） *広報紙：「ふくしのネットワーク永山だより」（季刊発行） 春号 [4月] 2,500部発行 夏号 [6月] 1,500部発行 秋号 [10月] 1,600部発行 冬号 [12月] 1,800部発行 *ネットワークづくり ○「瓜生小地区防災組織担当者連絡会」8回開催 ・避難所運営訓練実施[11月]：14団体246人参加 ○「永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会」6回開催 ・永山地区合同防災訓練実施[10月]：10団体146人参加</p>

	<p>*その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉のネットワーク永山お花見懇親会開催[3月] ・福祉なんでも相談の実施(永山商店街 わいわいショップ)：11回実施 (連携：中部地域包括支援センター) ※脳トレの実施：延べ80人参加 <p>*サロン登録：「ネットワーク永山 “体操サロン”」</p>
<p>第8エリア (貝取・豊ヶ丘)</p>	<p>■ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ121団体215人参加</p> <p>*世話人会：10回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕</p> <p>*本年度のテーマ 「ここで暮らせる貝取・豊ヶ丘～明日へつなげる地域づくり～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域でつながる居場所づくり」ネコサポステーション貝取、どんぐりパン、京王ほっとネットワークの取り組みを紹介。[5月] ・「多摩市ニュータウン再生方針について」多摩市役所ニュータウン再生担当課長より再生方針の概要について説明。「暮らしつづけられるまちにするために」をテーマにグループワークを実施。[7月] ・「防災基礎講座～日常の備えと地域の備え～」と題し、東京防災をもとに日頃から取り組むことができる防災に関する講座を実施。地域内での災害時における地域支え合いについて情報交換を行った。[9月] ・青陵中学校を会場に「避難所運営ゲーム（HUG）」を実施。講師・ファシリテーターとして国士舘大学に協力を得た。[12月] ・「地域のお宝人材～私はこうして活動を始めた～」地域活動に携わっている方をインタビュー形式で紹介。地域で担い手を発掘していくためのヒントや方法について意見交換を行った。[2月] ・「平成28年度総括と平成29年度に向けて」平成29年度の取り組み内容について、参加者を交えて意見交換を実施[3月] <p>*貝取コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（貝取こぶし館）：12回実施 (連携：中部地域包括支援センター) ※冒頭30分で「ちょこっと講座」を実施：延べ50人参加 ・元気チェックの実施（貝取こぶし館）：12回実施 (連携：中部地域包括支援センター、河北医療財団、市内訪問看護ステーション) ※体操・レクリエーションの後に血圧・握力・酸素飽和度の測定を実施 ：延べ277人参加 <p>*サロン登録：「南野カフェ」「いきいきサロンげんき会」</p>
<p>第9エリア (鶴牧・落合・南野)</p>	<p>■ふれあいトムとも</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ155団体 259人参加</p> <p>*世話人会：9回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいトムともの活動、多摩センター地域包括支援センターの役割、鶴牧・落合・南野地域の社会福祉資源の紹介 [6月] ・「東京防災をひもとく」、「鶴牧・落合・南野地域の防災について」[8月] ・エステート鶴牧4・5住宅管理組合の防災に関する取組みと災害時の居住者把握について[9月] ・「コミュニティから始まる見守り」グリーンメゾン鶴牧-3住宅管理組合～環

	<p>の会の取組みから～ [11月]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンから始まる見守り活動 [1月] ・介護保険・元気塾・たすけあい有償活動・地域のたすけあい [3月] ※毎回前半に上記の話聞き、後半グループ別フリートーク <p>*広報紙：「トムともだより」 第6号[8月] 2,500部発行 第7号[12月] 2,000部発行</p> <p>*鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（トムハウス）：9回実施 （連携：多摩センター地域包括支援センター、地域活動支援センターあんど） ※脳トレ等の実施 ・トムハウス主催の食事懇談会で福祉なんでも相談&脳トレ用紙配布をPR ・トムハウスまつりへの参加[10月] ※多摩センター地域包括支援センターと連携して、脳トレを実施 <p>*サロン登録：「おしゃべり広場」「南野3丁目ふれあいサロン」</p>										
<p>第10エリア (唐木田・中沢・山王下)</p>	<p>■唐木田・中沢・山王下等地区地域福祉推進委員会</p> <p>*委員会：6回開催：延べ66団体99人参加</p> <p>[委員会企画事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営に関する情報交換会（国士舘大学訪問）[5月] ・避難所所運営ゲームの実施 [8月] ・からきだ菖蒲館まつり地域福祉推進委員会のお店出店[10月] ・唐木田・中沢・鶴牧・山王下地区桜まつり実施（鶴牧西公園での花見イベント） [3月] <p>*PR チラシ：「お住いの地域のことを一緒に語り合いませんか？」 3,000部[10月]</p> <p>*唐木田コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（からきだ菖蒲館）：10回実施 （連携：多摩センター地域包括支援センター） ・菖蒲の会（高齢者食事会）脳トレ・レクリエーション指導[5月] ・からきだ菖蒲館 第6回地域連絡会出席[12月] ・菖蒲館まつりへの参加 <p>※多摩センター包括、多摩ボラセンと連携して脳トレ・高齢者疑似体験を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜まつりの共催実施 [3月] <p>*青木葉地域連絡会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会、マンション管理組合、青少年問題協議会、小学校からなる青木葉地域連絡会（開催：4回）に出席し、管理組合が抱える課題を情報共有 ・「落合ふるさと夏祭り」にて熊本地震復興支援の協力実施（参加主体は青木葉地域連絡会有志） 										
<p>※地域住民懇談会・地域福祉推進委員会の主なメンバー（民生委員、地域包括支援センター、自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター運営協議会、老人クラブ、青少年問題協議会地区委員会、地域防犯・防火活動組織など）</p>											
<p>地域福祉推進委員会情報交換会 (地域福祉推進委員会連絡会)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="454 1720 606 1798">開催日時</td> <td data-bbox="606 1720 1461 1798">第1回：平成28年9月27日(火) 第2回：平成29年3月8日(水)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1798 606 1854">会 場</td> <td data-bbox="606 1798 1461 1854">多摩市総合福祉センター 7階研修室</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1854 606 1933">内 容</td> <td data-bbox="606 1854 1461 1933">第1回：食べる。しゃべる。遊ぶ。それぞれの地域みがき 第2回：地域活動の参加者を増やす～キラリと光る担い手たち～</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1933 606 1989">対 象 者</td> <td data-bbox="606 1933 1461 1989">各地域福祉推進委員会世話人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1989 606 2085">参 加 者</td> <td data-bbox="606 1989 1461 2085">第1回：29人 第2回：30人</td> </tr> </table>	開催日時	第1回：平成28年9月27日(火) 第2回：平成29年3月8日(水)	会 場	多摩市総合福祉センター 7階研修室	内 容	第1回：食べる。しゃべる。遊ぶ。それぞれの地域みがき 第2回：地域活動の参加者を増やす～キラリと光る担い手たち～	対 象 者	各地域福祉推進委員会世話人	参 加 者	第1回：29人 第2回：30人
開催日時	第1回：平成28年9月27日(火) 第2回：平成29年3月8日(水)										
会 場	多摩市総合福祉センター 7階研修室										
内 容	第1回：食べる。しゃべる。遊ぶ。それぞれの地域みがき 第2回：地域活動の参加者を増やす～キラリと光る担い手たち～										
対 象 者	各地域福祉推進委員会世話人										
参 加 者	第1回：29人 第2回：30人										

地域福祉普及啓発講座	開催日時	平成29年2月20日(月)
	会 場	永山公民館 ベルブホール
	内 容	住民目線でひも解く 改正個人情報保護法
	対 象 者	多摩市民
	参 加 者	76人

7 たすけあい有償活動事業

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	<p>住民同士の支えあいの仕組みづくりも含めた地域福祉の観点から、地域ニーズに柔軟に対応できるサービス提供をめざしている。</p> <p>生活援助サービス・・・家事全般、簡単な身の回りの世話、手続き代行、薬の受取、趣味活動などの外出補助 (1時間900円、時間外1,100円)</p> <p>介助サービス・・・車イス、通院の付き添いなどの身近介助 (1時間1,000円、時間外1,200円)</p> <p>その他のサービス・・・換気扇掃除、窓拭き、草むしり、簡単な模様替えなど (1時間900円、時間外1,100円)</p> <p>時間外・・・早朝(7時～8時) 夜間(17時～20時) 及び日曜・祝日は割増料金</p>
対象者	多摩市在住で、上記内容を本人または家族ができない方
連携者 (団 体)	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	6,627,000	5,812,479	87.7	6,275,000	4,628,721	73.7

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	6,627,000	4,076,497	61.5	6,275,000	4,424,351	70.5

(3) たすけあい有償活動実施状況

単位：人

	利用者	協力員			利用状況			
	人数	月末登録者数	新規登録者	活動者数	援助		介助	
					日中	時間外	日中	時間外
4月	82	188	1	54	74	1	7	0
5月	83	191	3	55	79	5	7	1
6月	90	211	23	55	83	0	6	1
7月	79	208	5	54	70	2	6	1
8月	85	205	0	56	76	3	6	0
9月	85	206	1	58	76	2	6	1
10月	95	207	1	64	88	0	7	0
11月	87	208	1	59	80	1	5	1
12月	91	205	0	61	86	0	5	0
1月	84	205	0	53	78	0	6	0
2月	79	212	7	51	74	1	4	0
3月	77	212	0	52	68	1	7	1
月平均	84.8		204.8	56	77.7	1.3	6	0.5
昨年度月平均	71.2		189.1	47.5	66.9	1.3	4.8	0.5

(新規利用者：68人 新規登録協力員：42人)

(4) 過去5年間の状況

単位：人

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数(月平均数)		73.1	65.0	68.2	71.2	84.8
協力員	登録者数	175	181	195	215	212
	うち新規登録者数	23	46	50	54	42
	活動者数(月平均数)	56.9	50.5	48.1	47.5	56

(5) たすけあい有償活動協力員研修会

開催日時	第1回 平成28年 7月 5日(火) 午前9時30分～11時30分 第2回 平成28年12月12日(月) 午後2時～4時
会場	第1回 永山公民館 視聴覚室 第2回 関戸公民館 第1・2学習室
内容	第1回 「認知症サポーター養成研修」(初任者研修) 第2回 「日常生活にも役立つ介助のポイント」(ステップアップ研修)
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	第1回 14人 第2回 19人
連携者(団体)	第1回 高齢支援課(多摩市基幹型包括支援センター) 第2回 社会医療法人 河北医療財団天本病院

(6) たすけあい有償活動協力員懇談会

開催日時	第1回 平成28年9月7日(水) 午前10時～12時 第2回 平成29年2月23日(木) 午前10時～11時30分
会場	第1回 関戸公民館 第1学習室 第2回 永山公民館 視聴覚室
内容	懇談することにより、協力員がお互いに情報を共有し、日頃の活動における疑問や課題を解決する機会とする。
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	第1回 18人 第2回 14人

(7) たすけあい有償活動協力員説明会

開催日時	第1回 平成28年6月15日(水) 午前10時～11時 第2回 平成29年2月9日(木) 午前10時～11時
会場	第1回 関戸公民館 第2学習室 第2回 永山公民館 視聴覚室
内容	たすけあい有償活動事業説明 協力員登録手続き
対象者	18歳以上の市民及び近隣地区住民
参加者	第1回 24人 第2回 9人

訪問型サービスB

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内容 利用料金	多摩市介護予防・日常生活支援総合事業において多摩市社会福祉協議会で実施する訪問型サービス。(平成28年5月より指定) たすけあい有償活動の協力員登録者のうち、多摩市が実施する研修を受けた協力員が担い手となる。地域包括支援センターもしくはケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、介護予防支援のため生活支援を実施するもの。 内容・・・掃除・洗濯・食事の準備・買い物 等 頻度・・・1週間に1日まで。1回60分以内 利用料・・・1,500円/回 ※利用者負担は300円(一律2割負担) 活動費・・・1,100円/回 ※交通費相当含む キャンセル料・・・当日キャンセルの場合1,100円
対象者	多摩市在住 介護保険の認定が要支援1、2 もしくは事業対象者の認定がある方。
連携者 (団体)	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

(2) 収支の状況

① 収入の状況 単位：円

区 分	平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,886,000	111,000	5.9

② 支出の状況 単位：円

区 分	平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,886,000	94,930	5.0

(3) 訪問型サービスB実施状況

単位：人

	協力員			利用状況		
	月末登録者数	新規登録人数	活動者数	相談数	新規利用者数	利用者数
4月						
5月	29	29	0	4	0	0
6月	29	0	0	0	0	0
7月	39	10	0	1	0	0
8月	39	0	2	1	2	2
9月	39	0	2	0	0	2
10月	39	0	2	1	0	2
11月	45	6	3	1	1	3
12月	44	0	4	0	1	4
1月	44	0	5	4	1	5
2月	44	0	5	1	0	5
3月	44	0	4	3	0	4
月平均		39.5	2.5	1.5		2.5
昨年度 月平均						

(新規利用者： 5人 新規登録協力員： 45人)

8 ボランティア・市民活動推進事業（多摩ボランティア・市民活動支援センター）

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	13,913,000	13,256,732	95.3	12,116,000	11,979,469	98.9

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	13,913,000	9,679,935	69.6	10,669,000	8,061,523	75.6

(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催

委員会名	委員数	開催日	出席者数
運営委員会	12名	H28. 4. 18	12名
		H28. 5. 25	9名
		H28. 7. 26	11名
		H28. 8. 23	9名
		H28. 8. 31	9名
		H28. 10. 3	10名
		H28. 10. 24	6名
		H28. 11. 29	9名
		H29. 1. 24	9名
		H29. 3. 3	10名
センター機能強化検討専門委員会	5名	H28. 7. 27	3名
		H28. 9. 12	3名
		H28. 11. 14	5名
		H29. 2. 20	3名
財源確保検討専門委員会	5名	H28. 7. 22	5名
		H28. 9. 7	4名
		H28. 10. 21	5名
		H28. 12. 22	4名
		H29. 2. 28	2名
企業等連携強化専門委員会	6名	H28. 8. 10	5名
		H29. 9. 27	4名
		H28. 11. 11	4名
		H28. 12. 12	6名
		H29. 1. 13	4名
		H29. 2. 27	4名
		H29. 3. 21	5名
災害ボランティアセンタースタッフボランティア育成専門委員会	8名	H28. 6. 2	6名
		H28. 6. 28	5名
		H28. 7. 27	7名
		H28. 11. 10	6名
		H28. 12. 13	6名
		H29. 1. 12	5名

(3) ボランティア育成事業

① 市民活動入門講座（IT編）

「テキストデータ製作ボランティア養成講座」（全4回）

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
① H28. 10. 28	21人	関戸公民館 大会議室	①テキスト化の流れ「テキスト化の意義とその可能性」	①講師：日本点字図書館録音製作課電子書籍制作室 澤村潤一郎氏 ②～④講師：全国音訳ボランティアネットワーク 古屋裕子氏
② H28. 11. 11			②(1)読むことのできない文字から読むことのできる形にする (2)図や写真、グラフなどの視覚情報の処理について	
③ H28. 11. 18			③(1)基本凡例に基づいた校正作業の基礎 (2)活字読み取りソフトの操作方法	
④ H28. 11. 25			④視覚障がい者のお話 視覚障がい者の情報収集および読書環境について	

② ボランティア体験

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 5. 3、4、5、22、6. 19、7. 10、24、31、8. 11、24、9. 18、25	延べ 73人	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり2016 及び東京ヴェルディホームゲーム会場等全3箇所	東京医療学院大学学生ボランティア体験	東京ヴェルディ男性ボランティア会議
H28. 5. 24、26	33人	市内・近隣の福祉施設等全7箇所	三菱東京UFJ銀行 新任研修におけるボランティア体験	市内・近隣の高齢者、障がい者施設・団体
H28. 7. 21～8. 31	164人	市内・近隣の福祉施設等全83箇所	夏のボランティア体験2016	市内・近隣の高齢者、障がい者施設・団体、保育園、児童館、学童クラブ、NPO・ボランティア団体、コミュニティセンター

③ 災害ボランティア育成

ア) 市民活動入門講座（災害ボランティア編）

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 9. 15	25人	関戸公民館 大会議室	災害ボランティア活動の種類や心構え、安全管理や注意すべき点などを学ぶ。	一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

イ) 災害ボランティアセンタースタッフボランティア活動体験（全3回）

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 10. 24	45 人	多摩市総合福祉センター7階研修室	・災害ボランティアセンターとは ・多摩市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについて	国土舘大学防災・救急救助総合研究所
H28. 10. 27	43 人	多摩市総合福祉センター7階研修室	災害ボランティアセンター設置・運営ロールプレイング	災害救援ボランティア推進委員会
H28. 11. 27	88 人	多摩市総合福祉センター	多摩市災害ボランティアセンター設置・運営訓練	

※上記参加者には社協職員を含む（職員研修を兼ねているため）

※スタッフボランティアとして 36 人が登録

④ ボランティア相談員連絡会

実施日	参加者	場所	内容
H28. 6. 6	6 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター	・夏のボランティア体験受付について ・出張相談窓口担当について
H28. 11. 21	5 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター	・出張相談窓口担当について ・連絡網について ・新規加入団体の紹介

⑤ 第6回多摩地域企業等情報交換の集い

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29. 3. 28	30 人	多摩市総合福祉センター7階研修室	ワークショップと交流会	・企業 13 社 ・大学 3 校 ・関係団体等 10 団体 ※企画・運営：多摩ボラセン企業等連携強化専門委員会

⑥ チャリティイベント（お正月飾りをつくろう）

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 12. 3	20 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター打合せコーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ドア等に飾るお正月飾り作り。 ※参加費をボランティア・市民活動の振興の財源に充てる。 チャリティ金 20,000 円	協力：恵泉女学園大学 ※企画運営：財源確保検討専門委員会

⑦ 第 8 回ボランティアまつり

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29. 1. 28	来場者 3,500 人	関戸公民館 7 階・8 階、 さくら広場 多摩ボランティア・市民活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画：映画「みんなの学校」の上映、市内 4 中学校の生徒（多摩中学校・東愛宕中学校・和田中学校・鶴牧中学校）によるトークセッション「私のボランティア体験」 ・各種発表（キッズダンス、吹奏楽、和太鼓、合唱等） ・各種体験（福祉体験、創作体験、ハンドマッサージ体験、鉄道模型運転体験、バルーンアート体験等） ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額 127,500 円 ・協賛金額 308,000 円 ・復興支援関係売上（収益は被災地へ寄附）37,200 円 	協賛企業等 39 団体、ボランティア 35 人（実行委員 10 人、財源確保専門委員会委員 4 人含む） ※企画運営：第 8 回ボランティアまつり実行委員会

⑩ 第 12 回地域ふれあいフォーラム TAMA

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29. 1. 29	来場者 5,000 人	関戸公民館 7 階・8 階 さくら広場 多摩ボランティア・市民活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・各種体験（鉄道模型運転体験）の実施 	東京都ボランティアリーダー会グループ

⑫ コミュニティ起業塾

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29. 2. 18, 3. 4、11、18、 25 (全 5 回)	20 人	関戸公民館 8 階大会議 室	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネスの 先行事例から学び、成功 するための必要性を理 解する ・自分のアイデアを具体化 する ・地域資源の活用法 ・コミュニティビジネスの 実現に向けた事業計画 の作成 ・PC活用による情報発信 	多摩CBネットワー ク、人材育成コンサル タント ※関戸公民館との共 催

3. 11 東日本大震災復興支援チャリティコンサート

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29. 3. 11	来場者 220 人	関戸公民館 8 階ヴィータ ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・入場料 1,000 円(前売券) ・チケット販売 236 枚 (前売券完売) ・チケット売上額 236,000 円 ・支援金募金箱 35,179 円 ※収益の一部(193,570 円)を東日本大震災ふ くしまこども寄附金へ 寄附 	※企画運営：多摩ボ ランティア・市民活 動支援センター運営 委員会 ※関戸公民館との共 催

⑮ 施設ボランティア受入れ担当者情報交換会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 9. 7	16 人	多摩総合福 祉センター 7 階研修室	「ボランティアの上手な 受け入れと長く続くコ ツとは」 ～ボランティアの普及と 定着のために必要なこ と～	あい介護老人保健 施、どんぐりパン、 りすのき保育園

⑯ たまボランティアギフト

マッチングギフト合計金額 98,600 円

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 4. 18～ 4. 24	延べ 61 人	聖蹟桜ヶ丘駅、 永山駅、多摩セ ンター駅	熊本地震街頭募金	東京海上日動シス テムズ(株) 多摩信用金庫 多摩市社会福祉協 議会職員共済会
H28. 5. 3～5. 5		多摩センター 駅	ガーデンシティ多摩セ ンターこどもまつり 2016	
H28. 5. 13～ 5. 15		宮城県石巻市 小網倉	被災地復興支援活動	

H28. 7. 21～ 8. 31		市内の福祉施設やボランティア団体など	夏のボランティア体験	
H28. 10. 1		多摩センター駅	赤い羽根共同募金街頭募金	
H28. 10. 29・30		多摩センター駅	ハロウィンまつり	
H28. 11. 19・20		国士舘大学多摩キャンパス	国士舘大学多摩祭出店	
H28. 12. 5		聖蹟桜ヶ丘駅	歳末たすけあい運動街頭募金	
H29. 1. 28		関戸公民館	第 8 回ボランティアまつり	
H29. 3. 11		関戸公民館 ヴィータホール	3. 11 東日本大震災復興支援チャリティコンサート	

(4) 地域出張相談事業

実施日	来所者	場所	内容	協力団体等
H28. 4. 11～ 7. 8 全 10 日	延べ 34 人	市内コミュニティセンター10 箇所、	平成 28 年度ボランティア保険加入受付、夏のボランティア体験申込受付、ボランティア・市民活動の情報提供、相談等	市内コミュニティセンター運営協議会、ボランティア相談員 延べ 9 人
H29. 3. 16～ 3. 30 全 5 日	延べ 18 人	市内コミュニティセンター4 箇所、永山公民館	平成 29 年度ボランティア保険加入受付、にゃんともTAMARボランティアポイント登録受付。ボランティア・市民活動の情報提供、相談等	市内コミュニティセンター運営協議会、ボランティア相談員 延べ 5 人
毎月 第 1・3 月曜日 全 21 日	延べ 13 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター総合福祉センター分室	ボランティア・市民活動の情報提供、相談対応、ボランティア保険受付、夏のボランティア体験申込受付等	ボランティア相談員 延べ 9 人

(5) 協力事業

	団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	多摩ボランティア・市民活動支援センター パソコン研修室利用登録団体(4 団体)	H28. 4. 1～ H29. 3. 31	・パソコン教室の開催 (全 392 回) ・パソコン研修室の貸出、 広報	
2	東京ヴェルディ 1969 フットボールクラブ (株)	H28. 4. 10～ 11. 12	・東京ヴェルディホーム ゲームでの車イス来場 者の付添、会場案内等 (参加者申込受付、広報)	

3	第35回せいせき桜まつり実行委員会	H28. 4. 3	・東日本大震災復興支援フェア出店	石巻元気復興センター、多摩市災害復興支援ボランティアの会
4	多摩市災害復興支援ボランティアの会	H28. 5. 13 ～5. 15	・石巻市災害復興ボランティア活動支援(参加者申込受付、備品貸出等)	石巻市小網倉16行政区
5	聖まじっくサロン	H28. 6. 18	・福祉マジック・チャリティ公開講座(広報、参加者申込受付)	
6	多摩市手話サークル「クローバー」	H28. 7. 26～ 7. 28 (全3回)	・夏休み手話教室(参加者申込受付、永山分室会議室の貸出、広報)	
7	多摩市要約筆記サークル	H29. 1. 29、 2. 5(全2回)	・手話はじめての一步(広報、参加者申込受付)	
8	国土舘大学	H29. 3. 11	・災害ボランティアセンター設置・運営訓練	
9	[おもちゃ病院] kebo	H29. 3. 25、 3. 26(全2回)	・おもちゃ・家庭用小物の修理に携わる者の養成・研修広報、参加者申込受付)	

(6) 地域出前事業

	学校・団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	東京医療学院大学	H28. 4. 11	講師派遣 ①ボランティア・市民活動についての話 ②多摩ボランティア・市民活動支援センターの取り組みについて	
2	三菱東京UFJ銀行	H28. 5. 27	講師派遣 ・新任研修での社員のボランティア活動報告に対する講評とアドバイス	
3	永山高校	H28. 6. 8	①ボランティア・市民活動についての話 ②夏のボランティア体験2016の説明	
4	多摩市老人クラブ連合会	H28. 8. 9	車いす講習会	男性ボランティア会議
5	永山小学校	①H28. 12. 5 ②H28. 12. 6	①視覚障がい者の方のお話 ②聴覚障がい者理解、手話体験	①多摩市視覚障害者福祉協会 ②多摩市手話サークル「クローバー」
6	南鶴牧小学校 おやじの会	H28. 9. 24	「エコスポ祭り」内での子ども向け車イス利用体験、高齢者擬似体験、視覚障がい者体験	男性ボランティア会議

7	南鶴牧小学校	①H28. 11. 29 ②H29. 2. 18	①聴覚障がい者理解、手話体験 ②視覚障がい者の方のお話	①多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」 ②多摩市視覚障害者福祉協会
8	東落合小学校	①H28. 10. 24 ②H28. 10. 26 ③H28. 10. 31	①障がいのある方(車いす利用者) への理解についての話、車椅子体験 ②視覚障がい者理解 ③点字体験	①多摩市身体障害者福祉協会、男性ボランティア会議 ②視覚障がい者当事者 ③多摩市点字サークル「トータス」
9	豊ヶ丘小学校	①H28. 10. 6 ②H28. 10. 14	①視覚障がい者理解、点字体験 ②聴覚障がい者理解、手話体験	①パソコン点字サークルこがめ ②多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
10	多摩第二小学校	H28. 10. 21	聴覚障がい者理解、手話体験	多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
11	東京海上日動システムズ(株)	H28. 11. 10	社員向け障がい者理解講座 ・視覚障がいについてのお話 ・ガイドヘルプ体験	・東京都盲人福祉協会 ・多摩市視覚障害者福祉協会
12	北諏訪小学校	①H28. 10. 5 ②H28. 11. 8	①視覚障がい者理解、点字翻訳、 ②聴覚障がい者理解、手話体験	①多摩市点字サークル「トータス」 ②多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
13	多摩市立子育て総合センター たまっこ	H28. 11. 25	講師派遣 「平成 28 年度 子育て・子育て支援者養成講座」での市民活動の紹介と役割について	

(7) ボランティア活動等振興助成金交付事業

① 平成 28 年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
マジックエコー	新人会員募集のための講習会	30,000
特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター	多摩市手話講習会開講 40 周年記念講演会	30,000
TAMA 人形げきまつり実行委員会	人形づくりワークショップ	30,000
南京玉すだれ多摩お江戸隊	南京玉すだれの演技を通してのボランティア活動を継続・推進するための支援	20,000
傾聴ボランティア「福寿草」	傾聴入門講座	20,000
うたごえランド実行委員会	「うたごえランド」の開催	30,000
多摩市手話サークル「クローバー」	手話に関する講演会	30,000
[おもちゃ病院] kebo	おもちゃ・家庭用小物の修理に携わる者の養成・研修	10,000
多摩市災害復興支援ボランティアの会	東日本大震災で被災した宮城県石巻市小網倉浜での漁業支援活動	100,000
多摩市要約筆記サークル	聞えにくい人のためのサポート方法を知ろう！要約筆記付きミニ手話入門講座	30,000
NPO 法人アピユイ	学習障害や生活上の課題を抱える小中学生に対し、学習支援・居場所づくり	100,000
えんたま（多摩実演芸術家社会貢献事業連絡会）	赤ちゃん、障がいのある子ない子、大人まで楽しめる音楽コンサート	30,000
たま介護会	お弁当会での血圧測定	9,600
風船隊バルバル	バルーンアート専門講師による研修会	30,000
合計（14 団体）		499,600

② 過去 5 年間の状況

	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
登録団体数	57	67	64	69	64
助成団体数	14	11	12	17	14
助成総額(円)	483,310	500,000	417,500	651,642	499,600

(8) 関係機関との連携

会議名	実施回数	備考
ヴィータ係長会議	月 1 回	構成：多摩市（関戸公民館、TAMA 女性センター、聖蹟桜ヶ丘駅前出張所）、多摩市社協（多摩ボランティア・市民活動支援センター、まちづくり推進係）
多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体代表者会議	H28. 4. 28	30 団体、28 人参加(平成 28 年度多摩ボランティア・市民活動支援センターの事業や活動室の利用について)
多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体等連絡会	月 1 回	構成：26 団体

たま食ねっと。	7回	構成：多摩市（児童青少年課、健幸まちづくり推進室、子育て支援課、文化・市民協働課）、子ども食堂等の活動をしている市民団体、恵泉女学園大学等
市区町村ボランティア・市民活動センター長会議	年4回	
市区町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会	年4回	
市区町村災害ボランティア担当者会議	年3回	
市区町村社協南多摩ブロック職員の会ボランティア担当者会議	年3回	構成：八王子市、町田市、日野市、稲城市、多摩市の5市社協 ※東京ボランティア・市民活動支援センターがオブザーバー参加 ※会議の他、メーリングリストを作成し、情報交換を行っている。

(9) ボランティア基金・寄附金状況

① ボランティア基金（平成29年3月末現在高 10,067,565円）

単位：円

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
寄附金額	168,734	50,000	68,810	61,000	15,285

※平成28年度寄附金のうち、1,111,571円はふるさとTAMA応援寄附金。次年度4月期に基金への積立を行うため平成29年3月末現在高には含まれず。

② 指定寄附金（ボランティア・市民活動推進）

単位：円

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
寄附金額	150,000	466,794	365,377	595,245	181,347

※ 商品券による寄附 100,000円を含む

※ 平成25年度の寄附金のうち、30,000円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成26年度の寄附金のうち、26,000円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成27年度の寄附金のうち、91,200円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成28年度の寄附金のうち、98,600円は「たまボランティアギフト」による寄附金

(10) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
個人登録者数	219人	153人	304人	475人※1	505人※1
団体加盟者数	1,904人	3,220人	2,764人	3,023人※2	2,296人※2
V保険登録者数	3,352人	3,485人	2,787人	3,002人	3,012人
登録団体数	57団体	67団体	64団体	69団体	64団体

※1 個人登録者数のうち、255人は介護予防ボランティアポイント登録者

また、災害ボランティアやヴェルディボランティアで重複あり

※2 延べ人数。複数の団体に所属して活動しているボランティアがいるため

(11) 多摩ボランティア・市民活動支援センター（ヴィータ）利用登録者状況

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
個人利用登録者数	298人	562人	732人	890人	955人
来館者数	6,237人	15,571人	18,152人	12,800人	12,704人

※平成24年11月1日より個人利用登録受付開始

(12) ボランティア相談状況

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ボランティア希望	124	143	153	159	158
ボランティア要請	76	105	111	96	97
*マッチング(紹介)	56	89	66	75	87
情報提供	90	86	77	63	46
協力依頼	69	59	38	34	29
その他	—	—	1	4	11
計	359	393	380	356	341

※ボランティア希望の数字には介護予防ボランティア登録者の数は含まない。
 ※マッチング(紹介)は、ボランティア要請に対しての紹介数のため、合計数に含まず。

(13) 活動室・会議室利用状況及び機材貸出状況

① 活動室利用状況

ヴィータ(本センター) 打ち合わせコーナー 定員30人
 総合福祉センター ボランティア活動室 定員15人
 永山分室 ボランティア活動室 定員20人 会議室 定員50人
 ()内は前年度

利用月	ヴィータ(本センター)		総合福祉センター分室		永山分室	
	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数
H 28. 4	32 (46)	178 (320)	24 (18)	206 (171)	63 (57)	636 (986)
H 28. 5	28 (33)	156 (219)	17 (17)	144 (113)	49 (48)	685 (879)
H 28. 6	39 (45)	193 (247)	18 (16)	158 (118)	75 (53)	1,190 (959)
H 28. 7	38 (40)	226 (282)	18 (13)	159 (104)	65 (60)	1,081 (532)
H 28. 8	37 (36)	211 (219)	18 (20)	160 (147)	48 (32)	616 (368)
H 28. 9	32 (31)	169 (212)	15 (17)	143 (133)	62 (58)	943 (969)
H 28.10	28 (32)	135 (392)	22 (18)	177 (142)	56 (58)	896 (973)
H 28.11	30 (45)	147 (385)	20 (12)	142 (93)	61 (76)	879 (959)
H 28.12	31 (37)	239 (262)	22 (19)	161 (148)	52 (43)	807 (793)
H 29. 1	23 (26)	130 (174)	14 (15)	127 (144)	49 (38)	735 (561)
H 29. 2	21 (47)	144 (426)	20 (16)	176 (156)	55 (64)	877 (870)
H 29. 3	31 (45)	189 (237)	16 (17)	136 (151)	74 (79)	998 (857)
合計	370 (463)	2,117 (3,375)	224 (198)	1,889 (1,620)	709 (666)	10,343 (9,706)

② 機材貸し出し状況

印刷機、コピー機(白黒・カラー)、拡大コピー機、メールボックス、ロッカー、車いす、高齢者疑似体験セット、視覚障がい体験セット、アイマスク、白杖、点字練習器、図書等、ボランティア・市民活動に必要な機材・用具の貸出を行った。(一部有料)

貸出機材	貸出件数合計 ()内は前年度
ロッカー	33 (33)
メールボックス	15 (15)
多目的ボックス	33 (38)
車いす	25 (25)
高齢者疑似体験セット	11 (20)
視覚障がい体験セット	2 (8)
アイマスク	7 (9)
点字練習器	3 (4)
女性センターライブラリー図書	47 (50)

(14) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況

① 「ボランティア通信」発行状況（月1回発行）

発行部数(月別)	総発行部数	設置・送付箇所数	主な設置・送付場所
2,400部	28,800部	292箇所	市内公共施設（コミュニティセンター含む）、市内郵便局、駅構内、市内企業・店舗（福祉協力店含む）、学校等

② 多摩ボランティア・市民活動支援センター専用ホームページ開設状況

（ ）内は前年度の数

ア) 平成28年度実績

月	訪問者数	一日平均アクセス数
H28. 4	1,887(3,146)	63(105)
H28. 5	1,438(2,063)	46(67)
H28. 6	2,067(2,515)	69(84)
H28. 7	2,078(2,377)	67(77)
H28. 8	1,541(1,590)	50(51)
H28. 9	1,376(1,638)	46(55)
H28.10	1,342(1,332)	43(43)
H28.11	1,430(1,209)	47(28)
H28.12	1,245(1,127)	40(37)
H29. 1	1,296(1,387)	42(45)
H29. 2	1,118(1,159)	40(40)
H29. 3	1,218(1,211)	39(39)
合計	18,036(20,754)	49(56)

イ) 過去5年間の状況

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
訪問件数	11,713	15,969	18,652	20,754	18,036
一日平均アクセス件数	32	44	51	56	49

③ 多摩ボランティア・市民活動支援センターメールマガジン配信状況

ア 配信日：第1木曜日。その他、不定期に配信。

イ 登録件数：632人（平成29年3月末日現在）

ウ 配信回数：15回

エ 過去5年間の状況

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
登録件数	402	615	648	611	632

※メールマガジン配信サービスは、平成24年11月より実施

9 介護予防ボランティアポイント事業（多摩市受託事業）

（1）概要

目的	多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱に基づき、介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の45第1項第1号に規定する介護予防事業として、高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取り組みを推進することを目的とする。
事業開始	平成26年7月7日（受託事業開始）
事業概要	<p>（1）事業内容</p> <p>①制度根拠：介護保険法第115条の45第1項第1号、地域支援事業実施要綱、多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱</p> <p>②介護予防ボランティア：多摩市在住の介護保険第1号被保険者（あらかじめ管理機関へ登録が必要）</p> <p>③介護予防ボランティア活動（多摩市長が指定する介護予防ボランティア事業及び活動）</p> <p>ア）事業 ●介護保険対象施設 ●多摩市が実施する地域支援事業（介護予防事業）</p> <p>イ）活動 ●レクリエーション等の指導、参加支援 ●お茶だしや食堂内の配膳・下膳などの補助 ●散歩、外出、館内移動の補助 ●模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露などの行事の手伝い ●話し相手 ●その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動（例—草刈、洗濯物の整理、シーツ交換など） ●その他</p> <p>④活動実績の把握：介護予防ボランティアが持参する介護予防ボランティア手帳に活動確認スタンプを押印。</p> <p>⑤評価ポイントの付与：介護予防ボランティア手帳に押印されたスタンプの数に応じて最大5,000ポイントの評価ポイントを付与。</p> <p>⑥評価ポイント転換交付金：介護予防ボランティア手帳を添えて、評価ポイント活用を申し出る。交付額は年間最大で5,000円。</p> <p>⑦その他：介護保険料の未納又は滞納の場合、適用しない。</p> <p>（2）業務内容</p> <p>①介護予防ボランティア登録対象者向け説明会・研修会及び受入機関向け説明会の実施</p> <p>②受入機関の登録に関する事務</p> <p>③介護予防ボランティアの登録及び介護予防ボランティア手帳の交付に関する事務</p> <p>④介護予防ボランティア活動評価ポイントの付与及び管理に関する事務</p> <p>⑤介護予防ボランティアポイント交付金交付申請に関する事務</p> <p>⑥介護予防ボランティアポイント登録者に対する受入機関及び活動内容等の紹介に関する事務</p>

(2) 契約状況等

単位：円

	平成27年度
契約年月日	平成27年4月1日
契約金額	1,906,000円

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	平成28年度		
区分	予算現額	収入済額	執行率(%)
合計	1,906,000	1,906,000	100.0

② 支出の状況

単位：円

	平成28年度		
区分	予算現額	支出済額	執行率(%)
合計	1,906,000	1,633,578	85.7

(4) 事業実施状況

① ボランティア登録者数

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
登録者数	—	—	91人	187人	187人

② 登録施設数

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
登録施設数	—	—	35	36	39

※多摩市高齢支援課を施設数に含む

③ 登録者向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28.7.14	2人	関戸公民館大会議室	・にゃんともTAMAるボランティアポイントについて ・登録手続きについて	
H29.3.29	26人	関戸公民館大会議室	・にゃんともTAMAるボランティアポイントについて ・登録手続きについて	

④ 研修会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28.7.14	8人	関戸公民館大会議室	「ボランティア活動を楽しんで行う為に」～高齢者施設が求めている事～	愛生苑
H28.8.25	25人	関戸公民館大会議室	ボランティア きちんと理解、ギモン解決	日本ボランティアコーディネーター協会

H29. 3. 29	45 人	関戸公民館大会議室	ボランティアへの期待やお願いごと・ワンポイントアドバイス	多摩市和光園 デイケアセンター
------------	------	-----------	------------------------------	--------------------

⑤ 施設向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
H29. 2. 1	1 施設 1 人	関戸公民館第1学習室	<ul style="list-style-type: none"> ・にゃんともTAMAるボランティアポイントについて ・登録手続きについて 	

⑥ 受入期間連絡会

実施日	参加者	場所	内容	備考
H28. 12. 22	4 施設 4 人	関戸公民館第2学習室	・介護予防ボランティアポイント事業に関する意見交換	

10 福祉サービス利用援助事業

(1)概要

目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うことにより、安心して自立した生活が送れるようにする。
対象者	1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者 2 支援が必要な高齢者、身体障がい者
内容	①福祉サービス利用援助(情報提供、手続き援助、利用料の支払い等) ②日常的金銭管理サービス(年金や手当の受領手続き、日常生活上の支払い手続き、払い戻し等) ③書類等の預かりサービス(年金証書、預貯金通帳、権利証、実印等) ④成年後見制度に関する相談及び利用支援

(2)地域福祉権利擁護事業(東京都社会福祉協議会受託事業)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
相談件数	3,359	3,754	4,325	4,620	3,998
契約件数	17	17	21	24	19
解約件数	11	7	7	18	10
年度末契約件数	47	57	71	77	86

収支状況(人件費を除く)

収入の状況

単位:円

区分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,200,000	4,293,127	102.1	2,663,000	2,579,125	96.9

支出の状況

区分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,200,000	3,812,393	90.6	2,663,000	2,190,438	82.3

(3)東京都福祉サービス総合支援事業(多摩市補助事業)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
相談件数	875	1,028	992	1,088	980
契約件数	6	9	3	4	7
解約件数	4	3	5	7	6
年度末契約件数	20	26	24	21	22

福祉サービス利用援助事業 平成28年度末契約総数 108件 (86件+22件)

収支状況(人件費を除く)

収入の状況

単位:円

区分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,854,000	1,850,675	99.8	1,890,000	1,862,532	98.5

支出の状況

区分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,854,000	1,561,302	84.2	1,890,000	1,211,584	64.1

(4) 成年後見制度利用支援業務

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
相談件数	220	224	397	224	134
申立支援件数	8	4	4	5	4

※平成21年10月1日より業務開始

※申立支援件数は、(2)および(3)の契約者に対して申立支援を行った件数。

収支状況(人件費を除く)

収入の状況

単位:円

区分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	827,000	827,000	100.0	908,000	908,000	100.0

支出の状況

区分	平成28年度			平成27年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	827,000	749,217	90.6	908,000	772,362	85.1

(5)実施事業

広報・説明会	1 社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。 2 社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。 ① 市民向け事業説明会 平成29年5月27日(金) 10人、平成29年2月18日(土) 14人 ② 事業所向け事業説明会 平成28年9月16日(金) 14人 ③ 生活支援員募集事業説明会 平成28年7月22日(金) 3人、平成28年8月8日(月) 16人、平成28年9月23日(金) 4人 平成28年10月21日(金) 2人、平成29年2月13日(月) 2人 合計27人
ふくし法律 相談	実施日:毎月、第3木曜日 午後1時30分～3時30分 場 所:総合福祉センター内 弁護士:第二東京弁護士会所属 弁護士 増田径子氏 対象者:高齢者、障がい者及びその家族等 相談人数および件数:19人、25件 相続について(8件) 財産管理について(6件) 遺言について(2件) 借金返済について(3件) 老後の生活について(1件) その他(5件)
講演会	事業名:「司法書士による任意後見制度と遺言について」(2回シリーズ) 日 時:①平成28年6月8日(水)、②平成28年6月9日(木)いずれも午前10時～12時 場 所:関戸公民館 大会議室 講 師:司法書士 相田浩和氏 目 的:市民を対象に任意後見制度と遺言についての普及啓発を行う。 講演会を通じて権利擁護業務に必要な司法書士との連携の充実を図る。 内 容:司法書士より任意後見と遺言の制度概要や活用方法について連続して講演を行った。 参加者:延べ43人 事業名:「市民のための成年後見講座」 日 時:平成28年7月2日(土) 午前10時～12時 場 所:消費生活センター 講座室 講 師:弁護士 藤野大介氏 目 的:市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。 内 容:成年後見制度の活用(基礎編)について講演を行った。 参加者:15人 事業名:「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」 日 時:平成28年7月11日(月) 午前10時30分～12時30分 場 所:消費生活センター 講座室 講 師:社会福祉士 吉田栄氏 目 的:「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。 内 容:高次脳機能障がい者の成年後見活用について講演を行った。 参加者:13人

事業名：「司法書士による市民のための成年後見相談会」
日 時：平成28年7月11日（月）午後1時30分～4時40分
場 所：消費生活センター 講座室
相談員：（公社）成年後見センターリーガルサポート東京支部所属 司法書士3名
中村伸介氏、他2名
目 的：市民を対象に成年後見制度や遺言等の普及啓発を図る。
内 容：司法書士による成年後見制度や遺言に関する相談会を行った。
相談者数：3人

事業名：「遺言講座 おしえて遺言のこと」（2回シリーズ）
日 時：①平成28年10月5日（水）、②10月6日（木）いずれも午前10時～12時
場 所：関戸公民館 大会議室
講 師：多摩公証役場公証人 長久保守夫氏
目 的：市民を対象に遺言についての普及啓発を行う。
講演会を通じて権利擁護業務に必要な公証人との連携の充実を図る。
内 容：多摩公証役場の公証人より遺言の制度概要や、書き方・活用方法について連続して
講演を行った。
参加者：延べ34人

事業名：「失敗しないお墓の選び方と成年後見制度」
日 時：平成28年10月29日（土）午前10時～12時30分
場 所：ベルブ永山3階 講座室
講 師：日本エンディングサポート協会 直江花子氏
目 的：高齢者・障がい者の消費生活トラブルを防ぐための注意点、トラブルの対応方法や
権利擁護事業を用いた再発防止策について講演会を行う。
内 容：市民を対象に失敗しないお墓の選び方と成年後見制度について講演を行った。
参加者：13人

事業名：「成年後見人等懇談会」
日 時：平成28年11月11日（金）午後7時～9時
場 所：ベルブ永山3階 講座室
講 師：社会福祉士 井上修一氏
目 的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び受任
予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。
内 容：「一人暮らし認知症高齢者をささえる後見人の役割と意義」についての講演と情報交
換会を行った。
参加者：13人

事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」
日 時：平成29年1月13日（金）午前10時00分～12時00分
場 所：ベルブ永山3階 講座室
講 師：社会福祉士 大輪典子氏
目 的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、制
度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。
内 容：知的障がい者の成年後見活用について講演を行った。
参加者：13人

	<p>事業名：「市民のための成年後見講座」 日 時：平成29年2月4日（土）午前10時～12時 場 所：消費生活センター 講座室 講 師：弁護士 藤野大介氏 目 的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。 内 容：成年後見制度の活用（基礎編）について講演を行った。 参加者：16人</p> <p>事業名：「成年後見人等懇談会」 日 時：平成29年2月4日（土）午後2時～4時 場 所：ベルブ永山3階 講座室 発話者：元親族後見人 荒川紗雅恵氏 目 的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び受任 予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。 内 容：親族後見人からの後見活動の報告・体験談と情報交換会を行った。 参加者：7人</p>
<p>専門研修会</p>	<p>事業名：生活支援員研修会 「障害者差別解消法について」 日 時：平成28年6月30日（木） 午後1時30分～3時35分 場 所：総合福祉センター7階 研修室 説明者：障がい者支援係 職員 目 的：障害者差別解消法について学び、生活支援員、職員の知識の向上を図り、以て 福祉サービス利用援助事業の質を向上させる。 内 容：障害者差別解消法についての説明、障害をテーマとしたグループワー クを行った。 対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員15人、職員8人 計23人</p> <p>事業名：生活支援員研修会 「まちづくり推進系の事業について」「活動におけるヒヤリハット・ニヤリハット」 日 時：平成29年1月23日（月）午後1時30分～3時40分 場 所：総合福祉センター7階 研修室 説明者：権利擁護センター 職員 目 的：まちづくり推進係が行っている事業について学び、生活支援員、職員の知識の 向上を図り、以て福祉サービス利用援助事業の質を向上させる。 内 容：まちづくり推進系の事業を理解し、その後グループディスカッションによ り支援活動中の困りごとや良かったこと等を話し合い、リスクマネジ メントも含めながら対応策等の意見交換・情報交換を行った。 対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員21人、職員8人 計29人</p>
<p>他社協との 連携</p>	<p>地域福祉権利擁護事業・成年後見制度担当者会議 ① 平成28年8月17日（水）開催場所：町田社協</p>

11 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金（東京都社会福祉協議会受託事業）

単位：円

資金種別		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
相談総件数		1,172件	1,046件	952件	1,446件	1,628件
資金種別ごとの貸付内容	①福祉資金	2,147,000 (3件)	1,725,480 (3件)	3,748,360 (8件)	305,480 (4件)	3,330,000 (5件) ※辞退 2,023,000
	②緊急小口資金	400,000 (5件)	500,000 (5件)	200,000 (2件)	530,000 (7件)	200,000 (2件)
	③教育支援資金	11,840,000 (6件)	10,844,000 (13件) ※辞退 3,320,000	8,850,000 (8件) ※辞退 1,365,000	26,470,000 (23件) ※辞退 5,660,000	67,587,000 (44件) ※辞退 3,372,000
	④総合支援資金	2,302,000 (4件)	976,000 (3件) ※辞退 67,000	-	-	246,000 (1件)
	⑤要保護世帯向け 不動産担保型 生活福祉資金	-	-	-	-	-
	合計	16,689,000 (18件)	14,045,480 (24件)	12,798,360 (18件)	27,305,480 (34件)	71,363,000 (52件)

(2)小口資金（多摩市社会福祉協議会独自事業）

不慮の出来事で、その出費に急を要するものに2万円を限度に資金を貸し付ける。

単位：円

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
相談件数		566件	533件	579件	869件	764件
貸付金額		582,000 (32件)	454,000 (24件)	486,000 (26件)	644,000 (36件)	505,000 (26件)
償還状況	当年度貸付分償還金	438,000 (70件)	309,000 (47件)	292,000 (48件)	339,000 (55件)	372,000 (64件)
	過年度貸付分償還金	406,000 (74件)	401,000 (71件)	279,000 (51件)	506,000 (97件)	315,000 (82件)

(3)緊急援護事業（多摩市社会福祉協議会独自事業）

生活困窮者に対して、2,000円を限度に金品等を援助する。

単位：円

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
支給件数	15件	14件	19件	15件	10件
支給金額	8,000	1,500	10,500	1,500	2,000

※ 業務の一部は、多摩市健康福祉部生活福祉課に依頼して実施

※ 多摩市健康福祉部生活福祉課で、4件合計2,000円支給。残り6件は返還済。

(4)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

ひとり親の修学を支援し、資格取得と資格を活かした就職を促進して一人親家庭の自立を図る（平成28年12月開始）。

		28年度
相談件数		30件
貸付件数	① 入学準備金	1,000,000円 (2件)
	② 就職準備金	200,000円 (1件)
	合計	1,200,000円 (3件)

(5)その他（フードバンク事業）

生活困窮者に対して、食糧を配布する。

	27年度	28年度
支給件数	20件	19件

12 収益事業の実施

一本杉公園、多摩東公園、資源化センター建物内、多摩市シルバー人材センター敷地内に、自動販売機を設置している。

西都ヤクルト販売株が管理運営を行っており、売上の一部が収益金となる。

単位：円

設置場所	ロケーションマージン額				
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
一本杉公園（2台）	479,983	507,966	589,556	694,324	598,780
多摩東公園（1台）	265,328	269,015	372,756	419,400	395,752
資源化センター（1台）	181,170	155,708	260,348	238,296	240,648
福祉ショップ（4台）	1,244,430	1,220,467	-	-	-
シルバー人材センター(1台)	72,115	82,631	52,844	48,888	37,588
合計	2,243,026	2,235,787	1,275,504	1,400,908	1,272,768

※ ロケーションマージン額：平成26年度より販売品売上単価の40%を販売手数料としており、商品により1本当たり44円～60円の収益がある。

※ 平成26年度より資源化センター設置自動販売機は2台から1台に、福祉ショップ設置自動販売機は、福祉ショップ運営終了に伴い、設置も終了。

※ 平成26年度より西都ヤクルト販売株が全ての自動販売機の管理を担っている。(22年度～25年度は東京コカ・コーラボトリング株、ジャパンビバレッジホールディング株、サントリービバレッジサービス株、西都ヤクルト販売株が管理)

1 3 老人福祉センター事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目 的	市内在住の満60歳以上の方に、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなどの事業を実施するとともに、高齢者団体の活動を支援し、健康で明るい生活を過ごしていただく。
事業開始	平成9年4月1日（受託事業開始）
対 象	市内在住の満60歳以上の方（H29. 3. 31現在、49, 176人）
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内 容	<p>① 業務日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月曜日から土曜日[年末年始・日曜日・祝日・第2土曜日を除く日]の午前9時から午後5時まで <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●趣味、教養、健康増進などの教室・講座 陶芸 英会話 折り紙 書道 ペン字 料理、絵手紙 キーボード、ちぎり絵 オカリナ パソコン らくらく運動 からだのしくみと簡単体操 がんばりすぎない健康体操 ボイトレ健康法 3B体操 スポーツ吹矢 ラジオ体操 太極拳 健身気功 水中運動（ハツラツ・イキイキ教室） 等 ●行事等の開催 春の発表会 囲碁の日 カラオケの日 世代間交流事業 将棋大会 囲碁大会 南なん亭 元気チェック等

(2) 契約状況等

区 分	平成28年度		平成27年度	
	内 容	備 考	内 容	備 考
契約年月日	平成28年4月1日		平成27年4月1日	
概算契約金額	38,656,000円		37,457,000円	
契約変更年月日	平成29年1月6日		平成28年1月6日	
変更契約金額	38,256,000円		35,891,000円	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成28年度				平成27年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	38,256,000	37,084,288	1,171,712	96.9	35,891,000	34,196,459	1,694,541	95.3
参加費収入	435,000	411,100	23,900	94.5	100,000	115,800	△15,800	115.8
利用料収入	505,000	423,900	81,100	83.9	395,000	399,100	△4,100	101.0
受取利息配当金収入	15,000	280	14,720	1.9	15,000	6,071	8,929	40.5
合計	39,211,000	37,919,568	1,683,570	96.7	36,401,000	34,717,430	1,683,570	95.4

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成28年度				平成27年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	30,311,000	29,609,462	701,538	97.7	28,834,000	27,751,428	1,082,572	96.3
事業費	6,353,000	5,938,124	414,876	93.5	4,824,000	4,513,109	310,891	93.6
事務費	665,000	515,452	149,548	77.5	889,000	618,292	270,708	69.6
退職積立金	1,867,000	1,856,250	10,750	99.4	1,839,000	1,828,530	10,470	99.4
拠点区分間繰入金	15,000	280	14,720	1.9	15,000	6,071	8,929	40.5
合計	39,211,000	37,919,568	1,291,432	96.7	36,401,000	34,717,430	1,683,570	95.4

(4) 利用状況

①平成28年度実績

単位：人

	平成28年度（平成27年度）							月別合計
	利用登録者	寿大学 (文化・教養)	寿大学 (健康推進)	その他事業	同好会活動	老人クラブ	相談業務	
4月	4,323 (4,317)	0 (0)	86 (62)	21 (19)	2,880 (2,845)	268 (270)	0 (0)	7,578 (7,513)
5月	3,980 (4,025)	306 (288)	298 (341)	25 (15)	2,353 (2,329)	160 (173)	7 (5)	7,129 (7,176)
6月	4,499 (4,469)	355 (521)	359 (354)	24 (17)	2,779 (2,844)	160 (94)	5 (4)	8,181 (8,303)
7月	4,225 (4,301)	269 (393)	248 (344)	31 (17)	2,618 (2,689)	186 (67)	5 (5)	7,582 (7,816)
8月	4,192 (4,244)	217 (257)	248 (257)	65 (36)	1,901 (2,079)	81 (54)	5 (6)	6,709 (6,933)
9月	3,976 (3,806)	310 (421)	281 (264)	42 (14)	2,502 (2,379)	117 (136)	2 (3)	7,230 (7,023)

10月	4,163 (4,206)	480 (557)	425 (479)	136 (42)	2,555 (2,694)	85 (78)	2 (5)	7,846 (8,061)
11月	3,973 (3,734)	421 (379)	223 (274)	17 (91)	2,416 (2,426)	158 (124)	7 (6)	7,215 (7,034)
12月	3,795 (3,886)	254 (376)	299 (365)	48 (17)	2,430 (2,559)	91 (78)	2 (7)	6,919 (7,288)
1月	3,950 (3,840)	335 (324)	249 (289)	118 (65)	2,190 (2,275)	179 (191)	5 (2)	7,026 (6,986)
2月	4,013 (4,359)	281 (308)	192 (138)	2,418 (2,387)	2,112 (2,124)	298 (288)	6 (2)	9,320 (9,606)
3月	4,292 (4,428)	101 (63)	162 (109)	77 (16)	2,594 (2,585)	84 (76)	9 (5)	7,319 (7,282)
事業別 合計	49,381 (49,615)	3,329 (3,887)	3,061 (3,276)	3,022 (2,736)	29,330 (29,828)	1,867 (1,629)	55 (50)	90,054 (91,021)

②過去5年間の状況

単位：人

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用登録者	54,153	54,550	51,277	49,615	49,381
寿大学（文化・教養）	4,881	4,469	3,929	3,887	3,329
寿大学（健康推進事業）	3,348	3,016	3,060	3,276	3,070
その他事業	3,257	2,247	2,928	2,736	3,022
同好会活動	29,017	28,965	29,076	29,828	29,330
老人クラブ	1,725	1,488	1,471	1,629	1,867
相談業務	136	133	50	50	55
合計	96,517	95,018	91,791	91,021	90,054

③平成28年度事業詳細

事業	内容
寿大学	<p>(1) 文化・教養</p> <p>【通年】英会話入門、書道入門、キーボード（ピアノ）入門</p> <p>【前期】折り紙</p> <p>【後期】オカリナ</p> <p>【前期・後期】コンパクトデジタルカメラ入門、陶芸入門 ちぎり絵</p> <p>【短期】パソコン講座、(初めてのパソコン、ワード・エクセル初級)</p> <p>【世代間交流事業】</p> <p>ふれ愛折り紙教室（参加者21人）</p> <p>【生活に役立つ講座】</p> <p>認知症サポーター養成講座（参加者18人）</p>

	<p>(2) 健康推進</p> <p>【前期】 らくらく運動(自彊術)、太極拳、のびのびストレッチ体操</p> <p>【後期】 健身気功</p> <p>【前期・後期】 がんばりすぎない健康体操、広げよう!ラジオ体操の輪</p> <p>【短期】 ハツラツ・イキイキ教室 (水中運動・延べ554人が参加)</p> <p>【健康に関する講座】</p> <p>体幹ストレッチングを学ぼう! (参加者27人)</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 囲碁の日 (毎月第3月曜日・午後1時15分から3時30分) ・ 囲碁大会 (参加者23人) ・ 映画の日 (毎月第1・3火曜日・午後1時30分) ・ バリアフリー映画上映会 (来場者数 29人) ・ カラオケの日 (毎月第1金曜日・午前) ・ おしゃべりサロン (毎月第2木曜日・午前) ・ 元気チェックの実施 (合計7回実施 第4水曜日・午前) ・ 春の発表会 (来場者数 2,285人) ・ 将棋大会 (参加者24人) ・ 南なん亭 (合計5回実施 第4金曜日・午前)
同好会	<p>59団体 (うち1団体体会)</p> <p>①健康 18団体 (ダンス、体操、卓球、太極拳など)</p> <p>②文化 41団体 (英会話、編み物、キーボード、陶芸、カラオケなど)</p>

14 障がい者地域活動支援センター事業(多摩市受託事業)

(1)概要

目 的	市内在住の障がいのある方や家族等を対象とした事業の実施、情報提供、福祉サービス利用の援助を行い、障がいのある方の社会参加、自立への援助を図る。
事業開始	平成24年4月1日(受託事業開始)
対 象	市内在住の障害者手帳所持者(※)と家族、市内の障がい者団体 障害者手帳所持者数 6,694人 (身体4,236人 知的1,018人 精神1,440人) 平成29年3月末日現在
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内 容	<p>① 業務日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月曜日から土曜日まで[第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始を除く]の午前8時30分から午後5時まで <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎的事業 <ul style="list-style-type: none"> ・創作活動(陶芸) ・社会との交流促進(在宅障がい者デイサービス、体操教室、パソコン教室、カラオケの日、同好会活動、在宅生活支援事業/グループ活動・言語グループ) ●機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談事業(指定特定相談支援事業、在宅生活支援事業/リハビリ相談、パソコン相談、聞こえと補聴器の相談会、聞こえのこと言葉のこと相談会) ・地域ボランティア育成(水中運動ボランティア養成講座) ・普及啓発(福祉機器展示コーナー、総合福祉センターだより発行、講演講座、障がい者と共にひとときの和) ・機能訓練(水中機能訓練、親子水中運動教室、水浴訓練室個人・団体貸出し・障がい者水中運動体験教室) ・入浴サービス(通所入浴・訪問入浴) ●高次脳機能障害者支援促進事業(平成28年9月より事業開始) <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援 ・関係機関との連携 ・社会資源の把握・開拓 ・広報・普及啓発 ●その他(協力事業など) <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプカード等の配布、多摩中学校車椅子・疑似体験学習等

(2) 契約状況等

単位：円

	平成28年度				平成27年度		
区分	内容				内容		
契約年月日	平成28年4月1日				平成27年4月1日		
	地域活動支援センター				地域活動支援センター		
		基礎的事業	機能強化事業	高次脳機能障害者 支援促進事業		基礎的事業	機能強化事業
契約金額	87,858,000	27,631,000	56,125,000	4,102,000	84,416,000	32,268,000	52,148,000
契約変更日	平成29年1月17日				平成28年1月7日		
変更契約金	85,808,000	27,431,000	54,275,000	4,102,000	80,216,000	29,768,000	50,448,000

※平成28年度4月より高次脳機能障害者支援促進事業を受託開始。

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	平成28年度（高次脳含む）				平成27年度			
区分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	85,808,000	81,681,603	4,126,397	95.1	80,216,000	72,088,958	8,127,042	89.9
参加費収入	22,000	15,000	7,000	68.1	22,000	14,500	7,500	65.9
利用料収入	434,000	149,904	284,096	34.5	442,000	266,268	175,732	60.2
計画相談支援給付費	3,300,000	5,754,194	△2,454,194	174.3	4,000,000	4,674,180	△674,180	116.9
雑収入					48,000	7,680	40,320	16.0
合計	89,564,000	87,600,701	1,963,299	97.8	84,728,000	77,051,586	7,676,414	90.9

② 支出の状況

単位：円

	平成28年度（高次脳含む）				平成27年度			
区分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	69,722,000	68,044,291	1,677,709	97.5	68,135,000	64,346,462	3,788,538	94.4
事業費	14,128,000	11,688,470	2,439,530	82.7	11,830,000	8,998,036	2,831,964	76.1
事務費	1,901,000	1,602,341	298,659	84.2	1,482,000	997,668	484,332	67.3
退職積立金	2,603,000	2,601,405	1,595	99.9	3,281,000	2,709,420	571,580	82.6
拠点区分間繰入金	1,210,000	3,664,194	△2,454,194	300.2				
合計	89,564,000	87,600,701	1,963,299	97.8	84,728,000	77,051,586	7,676,414	90.9

(4) 利用登録状況

①登録者数(※平成27年度以降は重複有)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総人数	107人	116人	114人	200人	240人
(内訳)身体	84人	90人	83人	143人	161人
知的	14人	14人	5人	25人	29人
精神	5人	10人	14人	17人	25人
手帳無	4人	2人	12人	21人	41人

②利用延べ人数

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総人数	9,982人	9,034人	12,598人	12,289人	13,442人
(内訳)身体	6,508人	5,726人	6,059人	5,837人	5,508人
知的	217人	249人	219人	782人	1,084人
精神	661人	500人	1,167人	1,838人	2,151人
手帳無	311人	151人	805人	995人	739人
関係者	2,108人	2,388人	4,348人	2,837人	3,960人

※関係者とは、家族・ボランティア・関係機関の職員等。重複有。

(5) 実施状況

【基礎的事業】

① 教養講座等

講座名	実施日	参加延人数	その他
ア) パソコン教室 定員：各コース4人 全4回 場所：704研修室			
木曜コース	① H28.7.7～7.28	10人	身体、精神
	② H28.10.20～11.17	6人	
	③ H28.11.24～12.15	5人	
土曜コース	① H28.6.4～7.2	14人	身体、精神、知的
	② H28.9.24～10.22	12人	
	④ H28.11.26～12.24	11人	
視覚障がいコース	① H28.9.1～29	11人	身体(視覚障がいのみ)
	② H28.11.24～12.15	5人	
	③ H29.3.2～23	15人	
イ) 体操教室 定員：15人(親子体操15組) 各コース全10回 場所：多目的フロア			
体操教室<前期>	H28.5.19～9.29	122人	身体、精神
体操教室<後期>	H28.10.6～H29.3.2	113人	身体、精神
親子体操教室<前期>	H28.5.7～9.17	132人	発達障がい

親子体操教室<後期>	H28.10.1~H29.2.18	157人	
ウ) 在宅生活支援事業 (生活リハビリグループ) 場所: 機能訓練室/やまざくら			
脳トレ・体操等	H28.6~H28.10	30人	定員: 6人 全15回 ※身体・精神重複有

② 在宅障がい者デイサービス 毎週水・金曜日 定員: 8人

<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数 6人: 手帳所持者6人(身体4人、精神3人 ※重複有) 新規利用者2人(通所入浴より移行、相談員からの紹介) 利用終了者5人(施設入所・継続申請なし4人、就労移行支援利用開始1人) ・開設日数100日 延利用者数289人 			
内 容		回 数	詳 細
基本事業 (訓練等)	機能訓練	OT(機能訓練)	55回延138人
		歩行訓練	45回延60人
		その他(水浴含)	23人
	社会 適 応 訓 練	ST(言語訓練)	35回延55人
		外出訓練	3回延58人
		行事企画・実行	12回延57人
		記憶訓練	延22人
		パソコン	0人
		調理訓練	4回延10人
		個別訓練等	延42人
その他	延13人		
創作活動	作業(作品製作)	15回延40人	
	書画	12回延33人	
	その他	延1人	
アク ティ イ	カラオケ	12回延27人	
	ゲーム他	2回延4人	
	その他	延12人	
入浴	入浴サービス	57日延67人	
付 属	給食サービス	93日延262人	
	送迎サービス	100日延280人	
			【機能訓練】 ・その他 高次脳機能障がい者対象の水中運動(6回) 【社会適応訓練】 ・外出訓練(3回) ①多摩センター駅周辺 ②障がい者美術展見学 ③永山駅周辺 ・調理訓練(4回) ①そば打ち体験 ②利用終了者との同窓会交流 ③昼食会 ④交流企画/バレンタインメニュー 【創作活動】 ・季節の園芸/協力: 恵泉女学院大学 【健康指導】 ・歯科衛生士による口腔衛生指導 【その他】 ・ボランティアによるフルートアンサンブルコンサート ・個人面談23回 ・ケースカンファレンス4件

③ その他

事業名		実施日	参加延人数
同 好 会	花みずき体操クラブ	毎週火曜日 全38回 ※第5週を除く	344人
	憩書道	第1・3月曜日 全16回	177人
カラオケの日		第4土曜日午前	26人

【機能強化事業】

① 相談事業

ア) 指定特定相談支援事業 (福祉サービス等利用計画作成件数) ※ () は前年度 利用者状況：新規契約者 40 人 (内手帳所持者 38 人・身障 4 人、知的 24 人、精神 13 人※重複有)							
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期
契約件数	2 (6)	4 (4)	1 (3)	0 (6)	4 (7)	5 (3)	16 (29)
計画作成数 (新規、モニタリング)	27 (15)	33 (22)	31 (18)	17 (23)	34 (27)	24 (24)	166 (129)
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
契約件数	2 (7)	3 (6)	4 (9)	5 (5)	5 (9)	5 (2)	40 (67)
計画作成数 (新規、モニタリング)	27 (23)	31 (29)	27 (28)	36 (30)	32 (36)	26 (29)	345 (304)
イ) 一般相談 (電話、来所、訪問、その他による相談支援) ※ () は前年度 相談者状況 (延人数)：本人 546 人(身体 55 人、知的 41 人、精神 341 人、手帳等なし 109 人) 家族・関係機関等 355 人 相談内容：総合相談、福祉サービスについて、不安事の相談、家族の相談など							
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期
相談延人数	42 (121)	34 (63)	58 (98)	78 (94)	79 (74)	49 (59)	340 (509)
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
相談延人数	74 (59)	103 (73)	134 (43)	59 (63)	115 (64)	76 (45)	901 (856)
ウ) 各種相談会等							
相談会	実施日	来所延人数	内容			協力団体等	
パソコン相談会	第 1.3 火曜日	57 人	パソコンに関する個別相談			パソコンボランティア 多摩	
聞こえと補聴器の 相談会	年 3 回 6/25、10/22、1/28	38 人	言語聴覚士による ・聴力検査 ・補聴器や日常生活 用具等に関する相談			NPO 法人多摩市 聴覚障がい者情 報活動センター	
聞こえのこと ことばのこと相談	毎週水曜日	17 人					

② 地域ボランティア育成事業

定員：6 人 全 4 回

事業名	実施日	参加延人数	内容
水中運動ボランテ ィア養成講座	H28. 7. 6～8. 3	13 人	障がい者が安全に水中運動を行う ための見守りと運動サポートの方 法を学ぶ

③ 普及啓発事業

ア) 総合福祉センターだより発行状況 (月1回発行) ※老人福祉センター事業含む				
発行部数	総発行部数	設置・送付箇所	主な設置・送付箇所	
650部	7,800部	40箇所	市内公共施設(公民館、コミュニティセンター)、関係機関等	
イ) 多摩市福祉交流会「障がい者と共にひとときの和」				
実施日	開催校	参加人数	内容	参加協力団体
H28.9.12	諏訪小学校	207人 各種体験 4年生 39人	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者理解に関する話(体の話、目の話、耳の話) 各種体験(車いす、手話、点字、疑似体験、福祉車輪) 障がい者理解ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> NPO法人多摩市身体障害者福祉協会/アートひまわり 多摩市視覚障がい者福祉協会 多摩市聴覚障害者協会 多摩市点字サークルトータス 多摩市手話サークルクローバー 男性ボランティア会議
H28.10.11	永山小学校	424人 各種体験 4-6年生 213人		
ウ) 福祉機器展示コーナー				
<ul style="list-style-type: none"> 車いす、クッション、シルバーカー、杖、靴、シャワーチェア、すべり止めマット等の展示 福祉機器等に関する情報提供 看護師によるミニ健康相談 			来所・相談延人数 63人	
エ) 講演会				
H29.3.18 『発達障がいってどんな障がい?』 ～発達障がいについて正しく理解しましょう～ 講師：近藤 清美氏 (帝京大学教授)			参加者 49人	

④ 水浴事業

事業名	実施日	参加延人数	その他
水中機能訓練	火・木曜日 前期 各21回 後期 各20回	629人	<ul style="list-style-type: none"> 手帳所持者 脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、変形性股(膝)関節症、パーキンソン病等 送迎サービス有(448人)
水中機能訓練 フォローアップ	前期・後期 各2回	49人	水中機能訓練修了者が、自主訓練(個人貸し)移行後の再修正の機会を設ける
障がい者水中運動 体験教室	H28.11.2～30	12人	水中運動体験により日常的に体を動かす機会を設ける
中親 運子 水	親子コース	第1・3水曜日 前期10回・後期8回	<ul style="list-style-type: none"> 主に発達障がいなど *親子コース…3歳～就学前の親子 *子供コース…年長～小学生
	子供コース	第2・4水曜日 前期10回・後期8回	
室水 貸浴 出訓 練	個人貸出	月・金曜日 午前/午後	<ul style="list-style-type: none"> 手帳所持者 脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、変形性股(膝)関節症、パーキンソン病等
	団体貸出	土曜日	<ul style="list-style-type: none"> 団体登録 2団体

⑤ 入浴サービス事業

事業名	実施延回数	その他
通所入浴サービス	309 回	身体、知的 ※送迎サービス有・デイ利用者含む
訪問入浴サービス	303 回	身体、知的 ※訪問入浴事業者への再委託により実施

【高次脳機能障害者支援促進事業】

①相談事業	新規相談者数：22人 継続相談者（一般相談、計画相談）：12人 相談者内訳：本人、家族、医療機関、関係機関等から相談 相談内容（新規）家族が高次脳機能障害ではないか・退院後の生活について・障がい福祉サービスについて・就労について等 （継続）障がい福祉サービスの更新・関係機関調整・施設見学同行・介護保険ケアマネと連携等								
	相談件数/月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	実人数（新規）	5	3	3	4	3	0	4	22
	延人数（新規・継続）	26	42	36	25	23	23	42	217
②関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者連絡会 第1回 H28.12.12 12団体22名 第2回 H29.3.14 12団体20名 ・市障害福祉課との打合せ 10回 ・南多摩高次脳機能障害者支援普及事業協力施設会議への参加 7回 ・南多摩保健所/多摩市医師会訪問 ・支援促進事業実施機関への訪問（町田市、稲城市） ・家族会への参加（らーふの会・こだま）延べ 7回 ・退院や地域生活支援における医療機関との連携 4機関 								
③社会資源の把握・開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートによる情報収集 H28.8実施 13団体 ・障がいデイサービスでの受入れ 利用者4名 グループ活動（失語症会話・高次脳機能障害）それぞれ数名 ・日中活動系事業所、就労移行支援事業所の見学（市外5箇所、市内3箇所） ・市内教養活動参加への支援（恵泉土曜園芸クラブ） 								
④広報・普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニング講演会 H28.10.2 参加107名 「高次脳機能障害を知っていますか」 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座ゲスト・新天本病院非常勤医師 坪井麻里桂氏 家族の立場から 「日々コウジ中」著者 柴本 礼氏 南多摩高次脳機能障害者支援センター 共催/医療法人財団天翁会 協力 ・社協広報誌への掲載（ふくしだより/総合福祉センターだより/リーフレット） ・ケアマネ部会/民生委員協議会/社協各種イベント（福祉フェスタ、バザー）/福祉なんでも相談での周知 ・図書情報コーナーへの関連書籍の設置と貸出し 								

【その他】

①ヘルプカードの配布 (配布数)

	配布場所	配布数	配布者内訳
1	多摩市役所障害福祉課	336	・身障 74 (視覚/聴覚/言語/肢体/内部) ・知的 47 ・精神 50 ・難病 9 ・その他 150 特別支援学校、疾病、高齢者、その他
2	社協：総合福祉センター3階 多摩ボランティア・市民活動支援センター	41	
合 計		377	

②協力事業

	事業名	実施日	実施団体・内容
1	多摩中学校宿泊防災訓練	H28. 5. 6	・車椅子体験 ・避難所を想定した視覚障がい者へのガイドヘルプ体験 ・当事者による講話「視覚障がいってどういうこと？」
2	失語症会話パートナー養成講座	H28. 11 ~ H29. 2	・多摩市主催 ・失語症グループ活動への実習生受入れ ・人数 8人

15 同行援護事業

(1) 概要

目的	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者等に対し、同行援護従事者を派遣し、移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報の支援（代読、代筆を含む）を行う。外出先において必要な移動の援護や排泄等必要な介助を行うことにより、社会参加、及び自立支援を行うことを目的とする。
対象者	多摩市より障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者。 ※多摩市における視覚障がい者 253 人（平成 29 年 3 月末現在） 内契約者 41 人（16.2%）（平成 29 年 3 月末現在）
同行援護従事者	同行援護従業者養成研修（一般過程）を修了した者。 居宅介護の従事者要件を満たす者については特例措置あり。 ※登録者数 27 人（平成 29 年 3 月末現在）

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成 28 年度				平成 27 年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
介護給付費	13,124,000	12,940,924	183,076	98.6	13,000,000	13,630,656	△630,656	104.9
利用料負担金	139,000	180,467	△41,467	129.8	123,000	192,932	△69,932	156.9
受取利息配当金	2,000	47	1,953	2.35	2,000	2,583	△583	129.2
合計	13,265,000	13,121,438	143,562	98.9	13,125,000	13,826,171	△701,171	105.3

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成 28 年度				平成 27 年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	3,183,000	2,661,204	521,796	83.6	3,443,000	3,061,273	381,727	88.9
事業費	9,309,000	8,185,630	1,123,370	87.9	9,016,000	8,598,432	417,568	95.4
事務費	773,000	521,199	251,801	67.4	666,000	419,495	246,505	63.0
合計	13,265,000	11,368,033	1,896,967	85.7	13,125,000	12,079,200	1,045,800	92.0

(3) 同行援護活動実績

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
契約者数 (うち身体介護有)	47 人 (4 人)	46 人 (4 人)	42 人 (5 人)	44 人 (9 人)	41 人 (8 人)
利用人数	374 人 (月平均)	358 人 (月平均)	350 人 (月平均)	353 人 (月平均)	325 人 (月平均)

	31.6人)	29.8人)	29.1人)	29.4人)	27.1人)
派遣回数	2,406回 (月平均 200.6回)	2,248回 (月平均 187.3回)	2,404回 (月平均 200.3回)	2,239回 (月平均 186.6回)	2,035回 (月平均 169.6回)
派遣時間	7,005.5時間 (月平均 583.7時間)	6,930時間 (月平均 577.5時間)	7,288時間 (月平均 607.3時間)	7,234時間 (月平均 602.8時間)	6598.5時間 (月平均 549.9時間)
活動者数	233人 (月平均 19.4人)	222人 (月平均 18.5人)	256人 (月平均 21.3人)	289人 (月平均 24.1人)	299人 (月平均 24.9人)
同行援護登録従事者	25人	27人	29人	30人	27人

16 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目 的	聴覚障がい者及び言語障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）が、他者との意思疎通を円滑にするため、手話通訳を必要とする場合に、手話通訳者を派遣すること及び手話通訳に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対 象 者	<p>① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。</p> <p>② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。</p> <p>③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者</p> <p>④ その他市長が特に認めた者。</p> <p>※多摩市における聴覚障害者・平衡機能障害者手帳所持者数409人（平成29年3月末現在） 内利用登録者数104人（25.4%）</p>
利用時間の制限	手話通訳者等の派遣・・・・・・・・原則月20時間
手話通訳者	<p>①多摩市登録手話通訳者…手話通訳士又は手話通訳者全国統一試験に合格した市内在住の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。※登録者数34人（平成29年3月末現在）</p> <p>②東京手話通訳等派遣センター登録手話通訳者</p> <p>※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。</p>

(2) 契約状況等

区 分	平成28年度		平成27年度	
	内 容	備 考	内 容	備 考
契約年月日	平成28年4月1日		平成27年4月1日	
概算契約金額	9,502,000円		9,512,000円	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位:円

区 分	平成28年度				平成27年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	9,502,000	8,594,788	907,212	90.4	9,421,000	8,269,989	1,151,011	87.8
受取利息配当金収入	1,000	23	977	2.3	1,000	478	522	47.8
合計	9,503,000	8,594,811	908,189	90.4	9,422,000	8,270,467	1,151,533	87.8

② 支出の状況

単位:円

区 分	平成28年度				平成27年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	4,021,000	3,929,246	91,754	97.7	4,000,000	3,880,335	119,665	97.0
事業費	4,907,000	4,166,450	740,550	84.9	4,803,000	3,837,687	965,313	79.9
事務費	574,000	499,092	74,908	86.9	618,000	551,967	66,033	89.3
拠点区分間繰入金	1,000	23	977	2.3	1,000	478	522	47.8
合計	9,503,000	8,594,811	908,189	90.4	9,422,000	8,270,467	1,151,533	87.8

(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用登録者	109人	107人	103人	104人	104人
登録手話通訳者	30人	30人	34人	36人	34人
派遣件数(市・都)	1,072件	1,096件	1,228件	1,160件	1,048件
派遣時間(市)	2,022時間	2,254時間 45分	2,011時間 53分	1,692時間 59分	1,888時間 47分
派遣者活動人数(市)	215人	212人	242人	241人	246人

17 意思疎通支援（要約筆記者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目 的	聴覚障がい者等が、他者との意思疎通を円滑にするため、要約筆記を必要とする場合に、要約筆記者を派遣すること及び要約筆記に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対 象 者	<p>① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。</p> <p>② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。</p> <p>③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者</p> <p>④ その他市長が特に認めた者。</p> <p>※多摩市における聴覚障害者・平衡機能障害者手帳所持者数409人（平成29年3月末現在） 内利用登録者数104人（25.4%）</p>
利用時間の制限	要約筆記者の派遣・・・・・・・・原則月20時間
要約筆記者	<p>①多摩市登録要約筆記者…東京都要約筆記者養成講習会を終了または同程度の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。 ※登録者数24人（平成29年3月末現在）</p> <p>②東京手話通訳等派遣センター登録要約筆記者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。</p>

(2) 契約状況等

単位：円

区 分	平成28年度		平成27年度	
	内 容	備 考	内 容	備 考
契約年月日	平成28年4月1日		平成27年4月1日	
概算契約金額	1,179,000		940,000	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位:円

区 分	平成28年度				平成27年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	1,179,000	1,158,155	20,845	98.2	1,031,000	984,525	46,475	95.5

② 支出の状況

単位:円

区 分	平成28年度				平成27年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
事業費	1,092,000	1,072,135	19,865	98.1	945,000	898,697	46,303	95.1
事務費	87,000	86,020	980	98.8	86,000	85,828	172	99.8
合計	1,179,000	1,158,155	20,845	98.2	1,031,000	984,525	46,475	95.5

(4) 要約筆記者の活動実績

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用登録者	109人	107人	103人	104人	104人
登録要約筆記者	16人	18人	23人	23人	24人
派遣件数(市・都)	76件	49件	74件	246件	80件
のべ派遣時間(市)	471時間	350時間 53分	521時間 58分	627時間 52分	738時間 12分
のべ派遣活動人数(市)	91人	90人	124人	121人	118人

18 共同募金関係

(1) 赤い羽根共同募金

※東京都共同募金会多摩地区協力会として実施

単位：円

種別	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
街頭募金	364,222 (8 団体)	223,024 (13 団体)	268,873 (12 団体)	527,612 (8 団体)	452,114 (16 団体)
自治会・ 住宅管理組合	672,320 (50 団体)	548,824 (46 団体)	548,044 (53 団体)	492,102 (37 団体)	508,588 (41 団体)
職域募金	137,196 (16 団体)	168,852 (12 団体)	171,180 (10 団体)	167,199 (14 団体)	139,469 (16 団体)
募金箱	33,406 (16 団体)	36,852 (26 団体)	47,431 (29 団体)	61,262 (31 団体)	57,309 (40 団体)
プリペイドカード による募金	99,768	112,800	96,944 (14 団体)	118,825 (15 団体)	132,232 (17 団体)
個人	2,500	5,000	12,074	2,479	0
合計	1,309,412	1,090,052	1,144,546	1,369,484	1,289,712

※()内は、協力等団体数

(2) 歳末たすけあい運動募金 (平成27年12月1日～12月31日まで)

種別	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
街頭募金	127,995 (9 団体)	171,650 (9 団体)	173,555 (13 団体)	296,032 (14 団体)	231,555 (9 団体)
自治会・住宅管理組合	1,085,644 (86 団体)	1,157,690 (85 団体)	1,065,257 (74 団体)	1,126,404 (77 団体)	964,845 (67 団体)
法人(団体)募金	417,480 (15 団体)	339,414 (19 団体)	307,466 (14 団体)	347,375 (15 団体)	320,397 (18 団体)
個人募金	37,957	14,062	16,368	40,129	13,660
その他の募金	27,249	25,838	42,469	39,362	39,620
預金利息	40	45	131	46	56
合計	1,696,365	1,708,699	1,605,246	1,849,348	1,570,133
見舞金(③3,000円/人を 身体障がい者等に交付)	156,000	309,000 (103人)	282,000 (94人)	H27年度 より廃止	
都共募納付額 ※翌年配分金額	1,472,204	1,328,250	1,252,899	1,741,023	1,496,383

単位：円

※()内の団体数は、協力団体数。()内の人数は、見舞金交付人数

19 その他の事業

(1) 車椅子貸出事業

①概要

目的	日常生活において一時的又は短期的に車椅子を必要とする方に車椅子を貸し出し、地域福祉の向上に寄与する。
対象	市内に住所を有する方で、下記のいずれかに該当する方又は使用者を介助する方 (1) 歩行困難な高齢者 (2) 身体障がい者 (3) 疾病、傷病等により一時的に歩行困難な者 (4) その他会長が特に必要と認めたもの
貸出期間	1回 1ヶ月以内
貸出料金	無料

②過去5年間の状況

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
貸出件数	35	31	57	57	87

(2) 東日本大震災復興支援事業

①多摩市災害復興支援ボランティアの会活動協力

平成23年度本会が実施した、石巻市復興支援活動に参加した市民ボランティアの有志が発起人となり、平成24年4月に「多摩市災害復興支援ボランティアの会」を立ち上げた。以降、多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体となり、多摩市社会福祉協議会ボランティア活動等振興助成金を交付し支援している。

②東日本大震災復興支援フェアの開催

(単位：円)

実施日	名称	実施場所	体制	売上額	支援金額
H28.5.3 ～5	ガーデンシティ多摩 センターこどもまつり 2016	多摩センターパ ルテノン大通り	V 16人 役員 7人 職員 16人	155,880	572,848

※ 体制の「V」は、「ボランティア」

(3) その他復興支援活動

①平成 28 年熊本地震義援金（平成 28 年 4 月 15 日～9 月 30 日）
（単位：円）

種別	金額	備考
街頭募金	1,890,235	10 回実施
募金箱	231,778	6 箇所設置
窓口受付	191,178	
合計	2,313,191	

②平成 28 年台風 10 号等災害義援金（平成 28 年 9 月 6 日～10 月 31 日）
（単位：円）

種別	金額	備考
募金箱	59,155	3 箇所設置
窓口受付	2,049	
合計	61,204	

③平成 28 年鳥取県中部地震災害義援金（平成 28 年 10 月 25 日～12 月 26 日）
（単位：円）

種別	金額	備考
街頭募金	2,523	2 回実施
募金箱	100	3 箇所設置
合計	2,623	

④平成 28 年新潟県糸魚川市における大規模火災義援金（平成 29 年 1 月 5 日～2 月 28 日）
（単位：円）

種別	金額	備考
募金箱	4,063	3 箇所設置
合計	4,063	